

正誤表

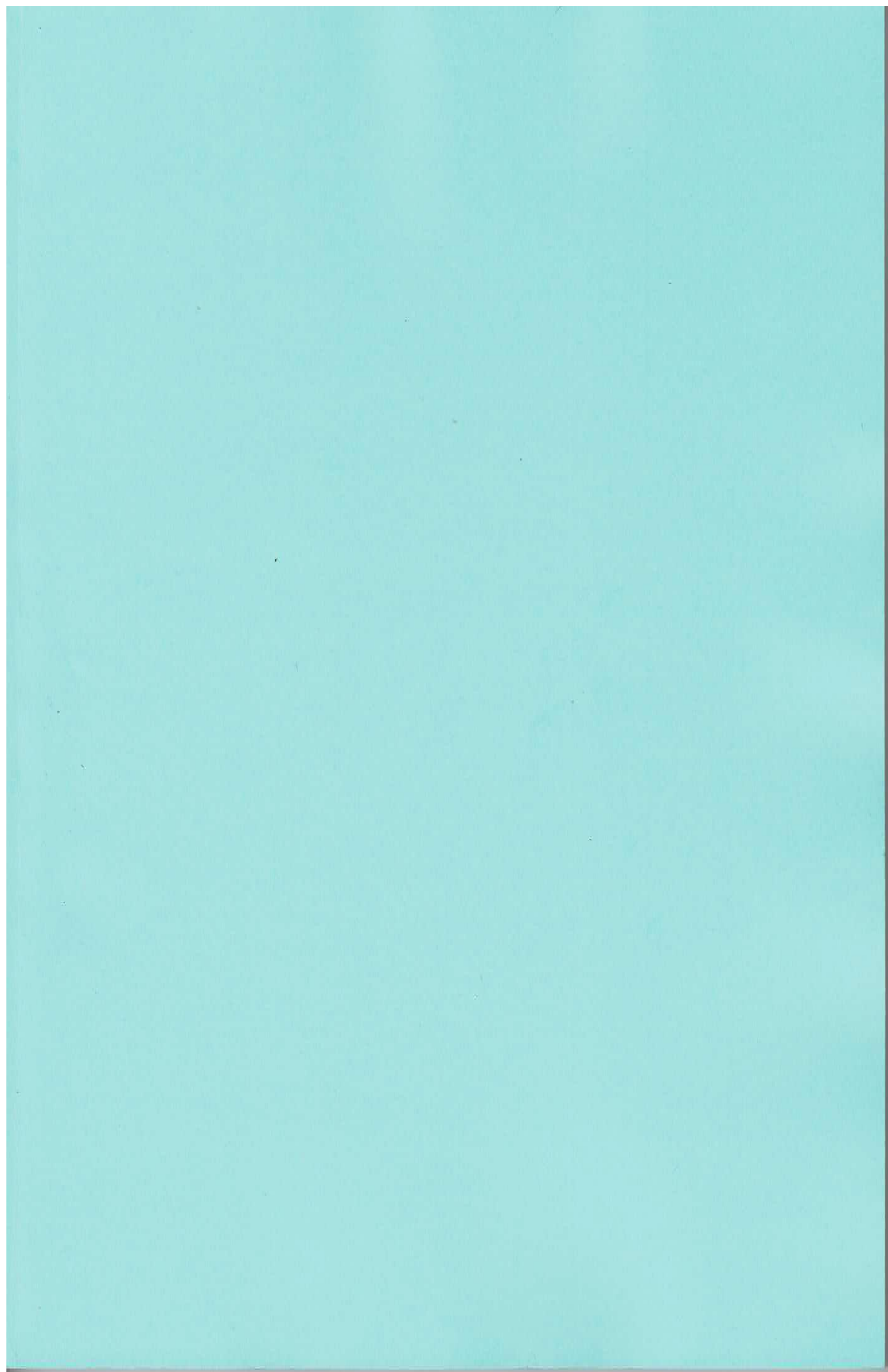
「弓弦」第六十一号の目次に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 弓弦第六十号 → (正) 弓弦第六十一号

(誤) 第六十三代主将 → (正) 第六十四代主将

弓弦

九州大学弓道部
九州大学松韻弓友会
第六十一号



常々の

けい志をしめて

する人は

晴なるときも

心まどはず



岡 村 耕 二 部 長



中 村 幸 一 師範



久 恒 政 雄 名譽師範



例会を終えて

吉見順正

射法訓

射法は、弓を射ずして骨を射ること最も肝要なり。

心を総体の中央に置き、而して弓手三分の二弦を推し、

妻手めて三分の一弓を引き、而して心を納む是れ和合なり。

然る後胸の中筋に従い、宜しく左右に分かるる如くこれ

を離つべし。書に曰く鉄石相剋して火の出ずる事急なり。

即ち金体白色、西半月の位なり。

弓弦第六十号 目次

はじめに 第六十三代主将 兵藤凌央 1
 令和五年度 幹部役員紹介 2

第一部 寄稿文

指導書で振り返る 師範 中村幸一 5
 第90回 九州学生弓道選手権大会 部長 岡村耕二 6

二〇二二年度 関東支部活動報告 7
 九州大学松韻弓友会 会員投稿 10
 松韻弓友会の発展に向けて 松韻弓友会会長 山口政俊 12

先輩通信 13
 新年射会を終えて 15

第二部 試合報告

令和四年度試合報告 17
 令和四年度例会記録 66
 令和四年度行事表 69

第三部 現役生投稿

卒業生所感・送る言葉 71
 部員投稿 92
 九州大学弓道部 会計報告 109
 九州大学松韻弓友会 会則 111
 九州大学松韻弓友会 役員紹介 114
 九州大学松韻弓友会 監査報告・会計報告 115
 九州大学弓道部 部則 118
 部員名簿 122
 編集後記 124
 《題字及扉》 久恒名誉師範 124

はじめに

第六十四代主将 兵藤凌央

「はじめに」と題しまして、第六十四代主将の兵藤より、拙筆ながら挨拶をさせていただきます。まずは本誌に寄稿をしてくださった先生方や先輩方、本誌の作成および編集に携わってくださった文書局の方々、また本誌の発行に際して広告を協賛してくださったお店の方々、その他本誌に関わってくださったすべての方々に、この場をお借りして感謝の意を表させていただきます。誠にありがとうございます。

さて、九州大学弓道部は我々で六十四代を迎えましたが、ただその数字の増加のうちにあるだけではなく、積み重ねられてきた伝統の中で、ある種よい変化が訪れたとも考えています。正確にはかつての環境に戻りつつある、という意味でよい変化と表現しましたが、つまりここ数年の新型コロナウイルス感染症による様々な規制や自粛が解除されつつあり、「普通」の活動が行えるようになってきているということです。六十余年の長い歴史で考えるとその災禍は些細なものにみえるかもしれませんが、我々としては、九州大学弓道部に所属できる三、四年のうちのおよそ半分に横たわったそれはいよいよ解決の気配がみえたことは、やはり嬉しく感じます。

では、具体的にどのような変化があったかという点、やはりもつとも大きなことは、大会や練習試合が対面で行えるようになったと

いうことでしょう。私が一年生のころに経験した試合はほとんどがオンライン形式のものでした。これ自体が悪いというのではなく、むしろ学生弓道という競技の特性を最大限活かして試合の機会をつくっていただけたことに感謝すべきなのですが、そのときの私の心こそ悪というべきものが棲まっていました。すなわち、ほとんど練習時と同じ環境で弓を引けるということに、気のゆるみという形で甘えていたのです。しかし、対面での試合が増えてくると、やはりそれまでの空気とは異なり、改めて緊張感というものを味わうことになりました。試合となると普段と違う道場で引くことが多くなり、そのうえで普段通りに行射をするということに大きなギャップを感じることもありました。

以上を踏まえて、我々が今後すべきこと、求められることは、いつでも「普通」の射を行えるようになること、あるいはその「普通」の水準を高めることだと考えています。もちろんこの競技の性格上、的中させた矢の数が勝敗に直結するため、上振れやラッキーを考慮しないわけにもいきません。しかし、環境や精神状態のいかにかわらぬかの感覚を一定に持てるだとか、いつも矢所が一定の範囲に集まるだとかの方が、見ていて安心できるし重宝されると思います。我々はこれを実現するべく、普段自分がどのような射をしているのか、いざ他所の道場で引いたときどのような射であったのかなどを客観的に観察し、部員同士で互いに切磋琢磨していく所存です。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。

令和五年度幹部役員紹介

主将

兵藤

凌央

男子副将

和田

宏之介

女子副将

大下

佳穂

主務

前田

宗伯

内務

松山

実音

会計

渡部

功大

文書局長

吉野

竜平

OB局長

吉田

琢

一、二年責任者 外山

裕基

一、二年女子副将

一、二年男子副将 松下

飛海

副務

下地

恭太

會計補佐

高瀬

圭哉

中島

啓輔

第一部 寄稿文

指導書で振り返る

師範 中村 幸一

久恒名誉師範の要請を受け、2013年春合宿から本格的に指導という形で、再び弓道部のお世話になることになった。2018年からは、師範の大役を引き継がせていただくことになった。

コロナの三年はやむを得ないが、2022年5月、突然に福岡県弓道連盟の事務局長という慣れない多忙な役員に指名され、指導にほとんどかわれなくなってしまった。学生諸君には大変申し訳ない天井に取り付けてもらった上面と正面からのビデオ画像を拝見しながらのリモート指導を数名の方に実施した程度であった。

春合宿を久々に大川弓道場で行なうとの案内をいただき、日帰りで（過去は一泊二日）指導に伺った。春合宿は秋までの目標設定を明確にし、取り組み方を決めていく大切な行事だと思っている。

部の目標は秋の全九州大会に男女優勝の高い設定である。達成のための射技目標は①両肩の入った会、②意味のある残心（伸びの延長線）が設定された。イメージがしやすい、良い目標だと思う。

この目標をどんな方法で達成していくか、が重要となる。

指導の内容を明確にするために「指導書」を作ってGoogleドライブで共有利用できるようにしてもらっている。作成した順番で振り返ってみると、そのとき課題としていたことがわかる。

① 指導書番号「002―改」は「八節の大切にすべきところ」、基本

中の基本を、なぜ大切なのか、という視点で示した。

射法八節は基本体型（縦横十文字）を作り上げる法則である、と教本のP-100-101に記されている。一節ごとに十文字を正しく積み上げていくことが大事。

② 「004」「八角形の弓構え―両肩の入った会を作る」

今年の射技目標である。引用したイラストで目標とする会相の「イメージ」を明確に持つ。左右矢線の離れ・必中のカタチ。

③ 「005」「肩線の組み上げ方」【肩線関連の骨格図を知る】両肩の入った会が強く受けられる理由を知る。肩甲骨の動きを鎖骨で知る。肩甲骨を動かすトレーニング方法を示す。

④ 「006」「呼吸―息合い」*会から離れは吐く息。吸う息では力は発揮できない。*呼吸で気持ちをコントロールする。吐く息で過度の緊張を抑える。↓発揮能力を高める。

⑤ 「007」「大三の取り方」縦横十文字の正しい会に至るには無理のない「弦道Ⅱ引分けの道筋」がとれる大三の位置がある。矢は的線に平行、水平に。体に近く（拳一つ）

指導書は相互に関連付けて使っていたかと良い。

十文字とはカタチのうえでの直角ではない。弓力を体の芯で受け止める合理的な力の働きの十文字である。矢線Ⅱ弓力のチカラの線とそれを受け止める肩関節（肩甲上腕関節）の距離は近い方が有利で楽に引ける。離れの弓の動きも小さくて良い。安定した高的中が期待できる所以である。

第60回九州学生弓道選手権大会

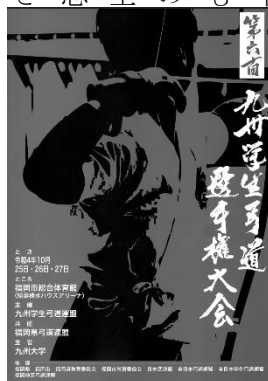
部長 岡村耕二

2022年十月二十五日から三日間にわたって九州学生弓道選手権大会(全九)が、アイランドシティにある福岡市総合体育館にて開催されました。この大会は九州大学が主管でした。大会委員長を務められた第六二代主将の國久保さんには、2022年の一月には九州大学石橋総長先生に大会会長就任、大会への御出席の依頼について打診をされていたのですが、日程がまだ確定していなかったことと大人の事情(総長先生以外の大学執行部の第一期の任期が2023年九月三〇日で、定期的に微妙だったので、とりあえず、全九の日程が確定する連絡を待っていました。しかし、時は早く流れ、気が付けば八月になり、スケジュール的には少し厳しくなってきたため、部活動の窓口である学生支援課経由で総長支援室に大会会長大会への御出席等の依頼をしたところ、一筋縄にはいかず、まさかの不発に終わってしまいました。九月になって、私は引き続き副学長で執行部に残ることから、副学長の肩書で私が大会会長を務めることになりました。その後、角印などの問題なども発生しましたが、無事に大会開催となりました。福岡市総合体育館には2022年の七月に福岡市の中学校校体育大会(中総体)開会式で足を踏み入れていたのですが、改めて、広いと感じました。昨年は、Youtubeでしか観ていなかったのですが、実際にこれほど広いとは思いませんでした。第一射場の大会会長、審判委員席からでは肉眼で、第二射場の看的の○

×がよく見えないというところと広がりがわかっていただけのかなと思います。私は自分の大学での用務の関係もあって、会場に足を運べたのは初日の開会式と、最終日(三日目)の競射の終盤、閉会式のみで

したが、國久保さんから当初依頼された開会式でのあいさつと、閉会式での主管校からの賞状等の授与の役割は果たしました。また、私自身、生で弓道を見たのもすごく久しぶりでした。さらに、九大弓道部の「まこと」旗を再び見る機会があるとは思いませんでした。さて、全九はこの大学も三年生が

主たるメンバーだと思いますが、三年生は新型コロナウイルスの影響を最も受けた学年で、高校の卒業式も大学の入学式も無く、一年、二年の時の大学生活も制限が多く非常に苦労されたと思います。このような状況で、最後、大きな大会に出場され、また、立派な成績を残されたことに敬意を表したいと思います。大会の運営にご尽力された九大弓道部の部員のみなさんもありがとうございました。本当によい大会だったと思います。



二〇二二年度 関東支部活動報告

角山正典(平成11年卒)

昨年度は二〇二〇年から始まったコロナ禍がアフターコロナと言われる状態へ移行し始めた過渡期にあたりと考えられ、関東支部の活動としても支部総会の会場・オンラインでのハイブリッド開催、感染対策をした上での射会・懇親会の開催など、コロナ前の対面での活動を取り戻すことを模索しながらの活動となりました。中でも支部総会を初めて会場・オンラインでハイブリッド同時開催し、会場・オンライン参加者で意見交換を行えたことは、アフターコロナにおける松韻弓友会の活動内容を考える上で一定の成果と言えるのではないかと考えています。

昨年度、関東支部は吉田隆一支部長(昭和48年卒)、西村会計監査(昭和61年卒)、岩崎先輩(昭和62年卒)、宮前先輩(昭和62年卒)、中本先輩(平成元年卒)、本谷先輩(平成8年卒)、水野さん(平成24年九大ビジネススクール修了)、角山の8名の役員で運営を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった二〇二〇年は、支部総会は中止し、弓友会メンバーとの情報共有としては校友会ホームページに掲載した活動報告書・会計監査資料を見ていただくだけにとどまりました。二〇二一年は支部総会をオンラインのみ開催し、現役生や海外卒業

生を含む二七名が参加し、卒業生の近況報告や現役の抱える課題の議論などを行うことができました。二〇二二年はウィズコロナ・アフターコロナという単語が世間で話題となる中、会場での支部総会の音声・映像をオンラインで配信しながら、オンライン参加者からも発言を可能とするハイブリッド開催を試みることにしました。

今回も校友会のメーリングリストを使って開催を案内したところ、会場で二二名、オンラインで八名の方に参加いただけることになりました。会場では岡村弓道部長に参加いただき、オンラインでは福岡から現役の玉島主将と新田OB局長にも参加してもらえることがとなりました。

六月一日の当日、まず会場では一二時から四〇分程度、感染対策をした上で食事を行いました。三年ぶりの会場開催となる今回は昭和四十一年卒の伊東先輩に乾杯のご挨拶をいただきました。その後、食事が一段落した後、オンライン接続した支部総会を開始しました。これまで通常の支部総会では私が司会を務めていましたが、今回はハイブリッド開催ということで、当日のカメラ・マイク操作やオンライン接続等の運用を私が担当し、支部役員の中本先輩に司会を担当いただくことにしました。ハイブリッド開催では、会場・オンライン両方での運営が必要となるため、準備や当日の運営で通常開催とは異なる対応が必要となりました。また、今回一部のオンライン参加予定だ

った方が正常に会議に接続できず参加できなかったことや、会場の音声聞き取りにくいことがあるなどの技術的トラブルが発生しました。ご迷惑をおかけしたオンライン参加者の皆様にはお詫びするとともに、今回の経験を今後の運営に活かしていきたいと思えます。

総会議事としては、まず例年通り支部活動と会計の内容を報告し、次に「卒業生が松韻弓友会・そのイベントに参加するために」と題して、近年大きな課題となっている会費納入を含め、多くの卒業生に弓友会の活動に参加してもらうために何ができるか参加者で議論しました。ここでは「弓道に限らず現役生が卒業生に様々なことを直接相談できる場など、現役生と卒業生の接点を増やす」「弓友会の活動を持続可能なものとするため、若手の各年代の一定人数は、会費を低く抑えた上でイベントへの参加を必須にしてもよいのではないか」というアイデアが出ました。また「関東で現役生の試合が行われる際には卒業生はできる限り応援に行く」という意見もありました。

加えて、現役の玉島主将と新田OB局長から弓道部の現況を紹介してもらい「現在倉庫に保管している卒業生の木製の名札を昔のように道場の壁に掛けるよう検討

しており、費用などの面で卒業生の支援が必要となる可能性がある」との情報共有をしてもらいました。現役生のこのような話を聞き、卒業生として金銭的なことにとどまら

ず、現役生を支援していきたいという思いを新たにしました。稽古や学業で忙しい中、今回参加して弓道部の現況を説明してくれた玉島主将と新田OB局長に感謝したいと思います。

その後、弓道部岡村部長から弓道部の現況を紹介いただきました。TwitterなどのSNSや試合のオンライン中継などの新たな取組みを通じ、九大弓道部の活動を現役生とともに発信しておられることを説明いただきました。また、引き続き現役生を支援するよう関東支部への期待の言葉をいただきました。吉田支部長からは今後も関東支部として卒業生の親睦を深める活動を進めていく旨、挨拶をいただきました。最後に恒例の「松原に」を全員で合唱して支部総会を締めくくりました。

今回初めて会場・オンラインのハイブリッド開催を行いました。感染対策という意味だけでなく、希望者が会場で対面交流できるだけでなく、福岡・海外など関東から遠く離れた地区の卒業生や現役生も支部総会に参加できるという利点があります。関東支部では技術的課題などを解決していきたいながら今後も是非活用していきたいと考えています。

例年10月に開催している定例射会は全日本弓道連盟や利用道場である巢鴨スポーツセンター思斉館のガイドラインを参考に、次の感染防止対策を講じて10月9

日に開催しました。

- 体調不良、体温37度以上の方の参加は遠慮いただく
- 密を避けるため通常は5、6個の的を4つに減らす
- 行射中以外はマスク着用
- 手指、弓具のアルコール消毒徹底

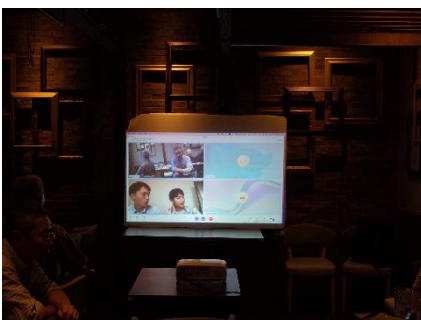
当日は9名が参加し、久しぶりの射会を楽しみました。支部射会には卒業後も弓を引き続けている方、定年をきっかけに弓を再開した方、毎年この射会でしか弓を引かない方など様々な方が参加しています。弓具の貸出も行っており、巻藁での練習も可能な立派な道場でマイペースに弓を引くよい機会ですので是非ご参加ください。なおご家族同伴でお越しいただくことも可能で、お子様に初めて弓を引く姿を見せることができたと喜ばれる卒業生もいます。今回の射会後には有志で、巢鴨駅前の居酒屋でささやかな懇親を行い、六本松や箱崎での学生時代の昔話や仕事や家族のことなど近況を語り合いました。これからも弓友会として弓道を通じた交流の場を大切にしていききたいと思えます。

松韻弓友会 関東支部 事務局 角山正典

関東支部では行事案内や活動報告に九大校友会のシステムを活用しています。校友会のWebページやメール

配信システムを利用することで、情報共有と名簿管理の効率化を図っています。まだ校友会への登録がお済みでない皆さん、是非校友会システムと松韻弓友会への登録をお願いいたします。

・九大校友会Webサイト：<http://koyukai.kyushu-u.ac.jp>



私の弓道人生

向江富士夫

こんにちは。弓道部昭和55年卒業の向江と申します。私は歯学部ですので本当の卒業は昭和57年です。高校一年から弓道を始めました。小倉高校入学後夏休み前に、後ろの席の百合野君から「1ヶ月後の弓道大会団体戦にメンツが一人足りないので弓道始めませんか？」と言われたのがきっかけでした。その前にラグビー部に誘われて体験入部したのですが練習で死ぬ目に遭いまして早々に退散したので、弓道は頭も体もキツくないから、と気軽に始めました。1ヶ月で中るはずもなくダラダラと部活をしていました。一年ぐらいして知ったのですが、私に声をかけた百合野君のお爺ちゃんはその当時の全日本弓道連盟会長の百合野稔範士十段ということで驚きました。審査はコネも活かせず、高校時代初段に合格はしませんでした。3年生の最後のインターハイの県大会で8射皆中しましたが射詰めで負け全国大会出場を逃しました。大学行ったら弓道と縁を切つて遊ぼうと思っていたら、医学部2年生から大会に出るのに「メンツが足りないので入部して」と誘われまた始めてしまいました。最初の医学部の大会で13連中して目立ってしまい、それを見ていた高校の同級生（現熊本医学部教授）から次の広島大会で歯学部とチクられ失格となっていました。それで辞めればよかったのに、なぜか全学の弓道部に入っていました。ふてくされていた私は一年生なのに先輩の応援には行かず、当時の主将から

「お前は永久に試合に出さない。」と通告されました。しかし、学年が上がり主将交代になると試合に出ることが可能になりました。戦績は七帝で個人3位、全九州で個人二位が最高でそれ以外は悲惨な結果でした。同期の主将の結果が思わしくないとヒラ部員の私が「交代」と自分が落になったこともありました。本当に悪党でした。卒業して3年後に今の熊本の中で歯医者をはじめました。そこでも地元の方から「部員が少ないので入部してくれ」と頼まれてまた弓道を始めました。思えば自主性のない弓道人生だったように思います。田舎でのんびりと弓を引いていたら先輩から「審査でも受ける」と言われ、学生で五段頂いていたので肌脱ぎだけ習って錬士を受けたら一次合格して大変でした。面接があるのを知らない、肌入れ知らない、持ち的射礼知らない、で面接では答えられず、森永範士から「君は何しに来たのか？」と言われ、二次の持ち的の落ちの方から火の出るように怒られました。別府での審査では弦が切れて矢と弓を落とすどれから拾って良いのか分からず弓と矢と弦の間をぐるぐる回って、家族は別府温泉の地獄めぐりをしている間に私は道場で地獄めぐりをしていました。そんな失敗を数多くして五段から錬士を頂くのに18年もかかりました。審査での失敗のエピソードは数え切れません。下手な鉄砲も数撃ちや中る方式で運よく七段まで頂きました。今は山の中で娯楽もないので朝仕事前、昼休み、夜と弓道漬けです。歯科医院で9人のスタッフを養いながら、子供の一人が学生で脛を齧られ、田舎は人材不足で地元歯科医師会の会長もしています。今度ロータリークラブの幹事を引き受け、弓

スープオムライスとパフェとお酒の店

ビバーチェ食堂

VVACE PRODUCED BYIKKYU

TEL・FAX 092-407-4030

営業時間 11:30～14:00

18:00～22:00

※オーダーストップ30分前

定休日 毎週水曜日

平日月曜日の夜

福岡市西区九大新町1-5 九大
伊都キャンパス近く
定食あります

道では県の教錬士会の会長の依頼も来ています。中村先輩も県事務局長をされているので、私も断るわけにはいきません。肺動脈高血圧症という難病も抱えて、もう少ししたら永久に休めるので、今は与えられた道を全力で突っ走るつもりです。面白くもない身の上話を綴ってすみませんでした。

焼鳥・居酒屋

天 翔

〒819-0373

福岡市西区周船寺2丁目18-49 シェルウォール1F

TEL: 807-7246

店休日 月曜(祝日の前・当日変更有)

営業時間 18:00～24:00

「松韻弓友会の発展に向けて」

松韻弓友会会長

山口政俊

この度、松韻弓友会の会長の大役を仰せつかりました昭和56年卒の山口政俊です。よろしくお願いいたします。

この数年、新型コロナウイルス禍の影響でクラブ活動など様々な分野での活動が制限を余儀なくされました。松韻弓友会においても、その活動が停滞気味であったと聞いております。最近では、そのコロナ禍も少しずつ沈静化し、コロナ禍による制限も緩和されつつあります。松韻弓友会活動もこれを機に積極的に運営する予定です。

さて、松韻弓友会は「会員相互の親睦交流及び母校弓道部の援助後援を図る」ことを目的としています。この目的達成に注力します。

松韻弓友会員相互の交流については、各卒業年度の代表者を選出し、学年ごとの横と縦の交流を図る。そして、東京支部と本部の交流、さらに関西支部の創設も考慮しつつ、地域と本部の連携の活性化を図ります。弓道部の援助後援については、現役部員とのコミュニケーションを密にとりながら、九州大学弓道部の現部員が安心してクラブ活動に専念できる環境を確立すべく努力したいと思えます。

私見ですが、本来、松韻弓友会はより若い方を中心に運営されるべきと思っています。我々役員は、次の世代へのスムーズな橋渡しを念頭に置きつつ、当会の体制強化・改善に向けて努力していきたいと思っています。皆様方のご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い

申し上げます。

外科 消化器内科 人工透析(送迎あり) リハビリテーション科

医療法人 英慶会

三愛クリニック

診療時間

月～金 午前9:00～12:30 午後2:00～6:00
土 午前9:00～12:30
休診日 日曜・祝日

周船寺2丁目12-39 ☎806-1020

アカデミアはらだ内科・消化器科

診察時間：月曜日～金曜日午前9:00～12:30
午後16:00～18:30
(受付17:30まで)

木曜日、土曜日午前9:00～12:30
休診日：木曜午後・日曜・祝祭日

TEL 092-805-6880



【先輩通信】

S 4 1 年 卒 吉田敦紀

試合がリモート大会とはびっくりしました。コロナに負けず頑張ってください。

H 4 年 卒 新屋俣雄

ウイズコロナの部活動、大変だと思いますが、学生の皆さん、頑張ってください。陰ながら応援しています。

S 4 1 年 卒 新屋俣雄

松韻弓友会のみずみずの発展と九大弓道部のみずみずの発展を祈念します。

H 2 3 年 卒 中村伊伸

遅くなり申し訳ありません。転居し住所が変わりました。

S 5 3 年 卒 市川正隆

終身会員になることを希望します。

S 5 4 年 卒 森 和彦

元気しております。皆様のご活躍を祈念いたします。

H 4 年 卒 新屋俣雄

弓弦を拝見しながら30年前の学生生活を思い出しています。現役の皆さん、頑張ってください。

S 5 9 年 卒 吉本広志

「弓弦」を有難うございます。社会に負けずに頑張ってください。

S 5 3 年 卒 関千鶴

弓弦有難うございました。「孚」の旗を背にした若い皆さんのすがすがしい表情に元気もらいました。ご活躍を祈念します。

S 5 1 年 卒 日和佐章一

皆さんの活躍を祈っております。

S 5 4 年 卒 西山裕治

転居しました。

S 4 9 年 卒 土橋和之

2年半前に完全リタイヤとなり、弓を再開しました。ようやく8月に5段になることが出来ました。

S 6 2 年 卒 岩崎誠司

三菱グループの会社に就職して関東で暮らし始める方、または既に働いている方、三菱弓道部と一緒に引きましょ、巢鴨の道場でお待ちしています。

S 4 1 年 卒 原田勝史

松韻弓友会のますますの活性化と弓道部のますますの活躍を祈念しています。

H 1 0 年 卒 金子歩

会費忘れがちなのでちよつとだけ多めに入れていきます。

ケーキショップヤマモト
092-806-6228 今宿1-7-6
今宿交差点かど

手作りケーキ・お菓子のお店



山本洋菓子店

今宿1-7-6
今宿交差点かど ☎092-806-6228

TEL 092-806-2000
診療時間9:30~18:30 休診 日曜・祝祭日

快適な環境で、
最良な歯科医療を。



K
KISHI TETSUYA
Dental Clinic

歯医 士 哲也 歯科 医院



新年射会を終えて

第二部

試合報告

北部リーグ練習試合

(4月23日 於：九州大学弓道場 (リモート))

<成績>

男子団体

上間(4)	〇〇〇×	〇〇〇〇	〇〇××	×〇〇〇	〇〇〇〇	16
梶村(3)	〇〇〇×	×〇×〇	×〇××	〇〇〇×	××〇〇	11
吉光(3)	〇×〇〇	〇×××	〇××〇	××〇〇	×〇〇×	10
吉田(2)	〇〇〇〇	〇×〇〇	〇〇〇〇	〇〇×〇	〇〇〇〇	18
佐藤 (鳴) (3)	〇〇〇×	〇〇×〇	〇〇〇〇	〇〇〇×	〇〇×〇	16
計	16	13/29	13/42	14/56	15/71	71

選手交代 四立目より二的 梶村(3)→玉島(3)
五立目より中 吉光(3)→千綿(3)

女子団体

仲築間(3)	〇××〇	〇×××	〇〇〇〇	〇〇×〇	〇〇〇×	13
大久保(3)	〇〇〇×	〇〇××	〇××〇	××〇×	〇×××	9
北山(3)	×〇〇×	××〇×	××〇×	×〇〇×	〇〇××	8
渡邊(3)	〇××〇	〇〇〇〇	×〇〇〇	××〇×	〇×〇×	12
計	9	8/17	10/27	7/34	8/42	42

選手交代 四立目より二的 大久保(3)→大下(2)
四立目より落前 北山(3)→島津(3)

<結果>

男子団体 1位

女子団体 1位

<講評>

今回の練習試合では、交代を何回か行った上で、男子が71%、女子が65%とかなりいい成績を残すことができた。これは全九での目標の男子78%、女子70%にむけて保有能力が徐々に上がっていているといえる。しかし、これはあくまで九大で行われた練習試合であるので、他の大学、対面の時でも常的中を出せるように発揮能力も高めていきたい。

玉島光士郎

福岡県女子北部リーグ戦 I 部
(5月1日 於：西南学院大学)

<成績>

対 九州産業大学

大下(2)	〇〇〇×	××××	×〇〇〇	6
仲築間(3)	××××	×〇××	××〇×	2
大久保(3)	××〇〇	××××	××××	2
渡邊(3)	×〇〇×	××××	〇×〇×	4
計	7	1/8	6/14	14
相手	7	3/10	6/16	⑬

選手交代 二立目より二的 仲築間(3)→北山(3)
三立目より落前 大久保(3)→松山(2)
→よって、九州大学の負け。

対 福岡大学

大下(2)	××××	〇×〇×	×××〇	3
仲築間(3)	××〇×	〇〇〇〇	×××〇	6
大久保(3)	××××	××〇×	××〇×	2
渡邊(3)	×〇〇〇	〇×〇×	〇×〇×	7
計	4	9/13	5/18	18
相手	10	9/19	13/32	⑳

選手交代 二立目より大前 大下(2)→北山(3)
二立目より落前 大久保(3)→島津(3)
三立目より二的 仲築間(3)→大下(2)
三立目より落前 島津(3)→松山(2)
→よって、九州大学の負け。

対 西南学院大学

大下(2)	〇〇×〇	〇××〇	×〇×〇	7
北山(3)	×××〇	×〇×〇	××〇〇	5
大久保(3)	××〇×	××〇×	〇×××	3
渡邊(3)	×××〇	〇×××	〇×××	3
計	6	6/12	6/18	18
相手	9	11/20	11/31	③1

選手交代 二立目より二的 北山(3)→仲築間(3)
 二立目より落前 大久保(3)→島津(3)
 →よって、九州大学の負け。

対 九州歯科大学

大下(2)	×××〇	××××	×〇××	2
北山(3)	×〇××	××〇×	×××〇	3
大久保(3)	×〇〇×	××〇×	×〇〇×	5
渡邊(3)	〇×〇×	××〇×	〇×××	4
計	6	3/9	5/14	14
相手	5	8/13	5/18	①8

選手交代 二立目より二的 北山(3)→仲築間(3)
 二立目より落前 大久保(3)→岐部(2)
 三立目より落前 岐部(2)→北山(3)
 →よって、九州大学の負け。

リーグ表

	A	B	C	D	E	勝敗	総的	順位
A		〇31	〇31	〇32	×25	3勝1負	119	2
B	×18		×14	×14	×18	0勝4負	64	5
C	×23	〇18		〇17	×21	2勝2負	79	3
D	×10	〇17	×10		×15	1勝3負	52	4
E	〇26	〇32	〇34	〇24		4勝0負	116	1

A:西南学院大学 B:九州大学 C:九州歯科大学
 D:九州産業大学 E:福岡大学

<結果>

入賞なし

<講評>

I 部内 5 位という、非常に悔しい結果となってしまった。的中率で見ても 33%で 4 位と低く、上位校(優勝校 62%)と大きな差がついてしまった。総的中が半矢以下にとどまる立がほとんどであったが、これは各自が残念や 1 中を出すことが多かったこと、的中の流れを繋げられなかったことが原因であると考えられる。今後、半矢を切らないチームになるために、各自の射技向上に加え、団体で引くことについて考え直し、対戦相手を意識した練習を取り入れるなどの工夫をしていきたい。

北山玲衣

おかげさまで 焼鳥しもい今宿店 は30周年

創業 昭和45年

元祖炭火焼鳥 しもい

焼鳥しもい

〒815-0134 福岡市西区今宿駅前1-3-28 ☎ 092-507-9083

The advertisement features a bright orange background. At the top, it reads 'おかげさまで 焼鳥しもい今宿店 は30周年' (Thank you for 30 years of Yakitori Shimo). Below this, on the left, it says '創業 昭和45年' (Founded in Showa 45). In the center is a circular logo with a stylized diamond shape. To the right of the logo, it says '元祖炭火焼鳥 しもい' (Original Charcoal Fire Yakitori Shimo). Below the text are three images: a cartoon character, a plate of yakitori, and several bottles of sake. At the bottom, it provides the address '〒815-0134 福岡市西区今宿駅前1-3-28' and phone number '☎ 092-507-9083'.

福岡県男子北部リーグ戦Ⅰ部
(5月4日、5日 於：西南学院大学)

<成績>

対 西日本工業大学

上間(4)	〇〇×〇	〇〇〇〇	〇〇××	××××	×〇〇〇	12
吉田(2)	×〇×〇	〇〇××	〇×〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	15
吉光(3)	〇〇×〇	××〇〇	〇×××	〇×××	〇〇〇×	10
佐藤(魁)(3)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇×××	〇〇〇×	〇×〇×	14
佐藤(鳴)(3)	×〇〇×	〇××〇	〇〇×〇	×〇〇〇	〇〇〇〇	14
計	14	14/28	10/38	11/49	16/65	65
相手	13	15/28	12/40	14/54	11/65	65

→よって引き分け。

対 福岡工業大学

上間(4)	〇〇××	〇〇〇〇	×〇×〇	××〇×	〇××〇	11
吉田(2)	〇〇〇〇	〇×〇〇	××〇×	×〇××	〇〇〇〇	13
吉光(3)	〇×〇×	〇〇〇〇	〇××〇	〇〇〇×	〇××〇	13
佐藤(魁)(3)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	×〇〇×	×〇〇〇	×〇〇〇	16
佐藤(鳴)(3)	〇〇〇×	〇〇〇〇	×〇××	×〇×〇	〇×〇〇	13
計	15	19/34	8/42	10/52	14/66	66
相手	12	14/26	10/36	12/48	12/60	60

選手交代 三立目より中 吉光(3)→千綿(3)
 四立目より大前 上間(4)→和田(2)
 四立目より中 千綿(3)→吉光(3)
 五立目より大前 和田(2)→上間(4)

→よって九州大学の勝ち。

対 西南学院大学

上間(4)	〇〇×〇	×〇〇×	×〇〇〇	〇×〇×	×〇〇〇	13
吉田(2)	〇〇〇×	〇×〇〇	〇〇〇〇	×〇〇〇	〇〇〇〇	17
吉光(3)	×〇〇〇	〇××〇	××〇〇	〇〇〇×	〇〇〇〇	14
佐藤 (魁) (3)	〇×〇〇	〇×〇〇	〇〇〇〇	〇×〇×	〇〇××	14
佐藤 (鳴) (3)	〇×〇〇	〇〇〇×	×〇〇〇	〇×〇〇	〇〇〇×	15
計	15	13/28	16/44	13/57	16/73	(73)
相手	14	10/24	14/38	11/49	9/58	58

選手交代 三立目より中 吉光(3)→千綿(3)
 四立目より中 千綿(3)→吉光(3)
 →よって九州大学の勝ち。

対 福岡大学

上間(4)	〇〇×〇	〇〇×〇	××〇×	〇〇〇×	〇×〇×	12
吉田(2)	〇××〇	〇〇〇〇	××〇〇	×〇〇×	×〇×〇	12
吉光(3)	〇××〇	〇〇×〇	×〇×〇	〇〇×〇	〇××〇	12
佐藤 (魁) (3)	×〇〇〇	×〇〇〇	××〇〇	〇〇〇×	〇〇〇〇	15
佐藤 (鳴) (3)	〇×〇×	×〇××	〇×〇〇	×〇×〇	〇〇〇〇	12
計	12	14/26	10/36	13/49	14/63	63
相手	18	15/33	13/46	15/61	17/78	(78)

選手交代 三立目より中 吉光(3)→千綿(3)
 四立目より中 千綿(3)→吉光(3)
 →よって九州大学の負け。

対 九州産業大学

上間(4)	〇〇〇×	〇×〇×	×〇〇〇	×〇××	〇×〇×	11
吉田(2)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	×〇×〇	〇×〇〇	×〇×〇	15
吉光(3)	×〇〇〇	××〇×	〇×××	〇〇〇〇	〇×〇×	11
佐藤 (魁) (3)	〇×〇〇	×〇〇×	〇×〇〇	〇×××	〇〇〇〇	13
佐藤 (鳴) (3)	〇××〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	×〇〇〇	17
計	15	13/28	13/41	13/54	13/67	(67)
相手	8	12/20	10/30	7/37	10/47	47

選手交代 三立目より中 吉光(3)→千綿(3)
 四立目より中 千綿(3)→吉光(3)
 →よって九州大学の勝ち。

リーグ表

	A	B	C	D	E	F	勝敗	総的	順位
A		○67	×63	○73	○66	△65	3勝1負1分	334	2
B	×47		×50	×51	○61	×64	1勝4負0分	273	6
C	○78	○73		○76	○77	○74	5勝0負0分	378	1
D	×58	○64	×54		○61	×59	2勝3負0分	296	4
E	×60	×53	×62	×60		○64	1勝4負0分	299	5
F	△65	○70	×68	○63	×62		2勝2負1分	328	3

A:九州大学 B:九州産業大学 C:福岡大学 D:西南学院大学
E:福岡工業大学 F:西日本工業大学

<結果>

男子団体 準優勝

<講評>

今回の試合では、練習の時と同じように、13～15中を安定して出すことができ、2位という結果を残すことができた。しかし、1位とはまだ、6.8ポイントほどの的中率差がある。この原因として考えられるのは1日目の3巡目の的中が伸び悩んだことだと思う。今回の試合はとても長く、目に見えて疲れが出てきていた。これを解決するには、スタートメンバーの5人だけではなく、控えの2～5人が全員とも練習から高的中を出し、いつでも交代できるような状態を作ることが必要になる。

これから、インカレ大会や全九など、選手自体の人数が多い大会が増えるため、チーム全体での的中率の底上げをはかりたい。

玉島光士郎

第 36 回福岡県大学弓道選手権大会
(5 月 15 日 於：福岡県武道館弓道場)

<成績>

女子団体 予選

仲築間(3)	××○×	○××○	3
北山(3)	××××	×○××	1
渡邊(3)	×××○	××××	1
計	2	3/5	5

→よって、決勝トーナメント進出

個人予選通過ライン4中 よって、個人戦出場者はなし

決勝トーナメント 一回戦

対 福岡工業大学

仲築間(3)	×○××	1
北山(3)	××××	0
渡邊(3)	○××○	2
計	3	3
相手	4	④

→よって、九州大学の負け

男子団体 予選

上間(4)	○○○○	×○○○	7
梶村(3)	×○×○	×××○	3
吉田(2)	○○○○	×○○○	7
計	10	7/17	17

→よって、決勝トーナメント進出

個人予選通過ライン6中 上間(4)、吉田(2)が個人戦出場

決勝トーナメント 一回戦

対 福岡教育大学

上間(4)	○○○○	4
梶村(3)	○××○	2
吉田(2)	○○○○	4
計	10	⑩
相手	9	9

→よって、九州大学の勝ち

決勝トーナメント 二回戦

対 福岡大学

上間(4)	○○×○	3
梶村(3)	○×○○	3
吉田(2)	○○○○	4
計	10	⑩
相手	8	8

→よって、九州大学の勝ち

個人優勝決定射詰

上間(4)	×
吉田(2)	×

個人 2～4 位決定遠近競射

上間(4)	○
吉田(2)	○

→よって、吉田(2)が 2 位、上間(4)が 4 位に決定

<結果>

女子団体 3 位

男子団体 優勝

男子個人 2 位 吉田(2)

4 位 上間(4)

<講評>

今回の試合では、男子は優勝、女子は3位と言う結果を収めた。男女共に3人という普段よりも少ない人数であり、一人一人の的中の重みが上がった。そんな中でも結果を残せたのは成長を感じられた。また、選手によっては試合での的中が練習よりも下がってしまうことがあった。緊張しても中る射を作るため、今一度、自分たちの射がこのままでいいのかと考えるいいきっかけになったと思う。

玉島光士郎



第 66 回西日本学生弓道選手権大会
(5 月 28 日、29 日 於：岡山県総合グラウンド)

<成績>

男子団体 予選

上間(4)	××××	×○××	1
吉光(3)	×○××	○×○○	4
佐藤（魁）(3)	○×○×	○○○×	5
吉田(2)	○××○	○×○○	5
千綿(3)	××○×	×○×○	3
佐藤（鳴）(3)	××○×	○××○	3
計	7	14/21	21

選手交代 二立目より大前 上間(4)→村上(3)
 →予選通過ライン 31 中 よって、予選通過ならず

女子団体 予選

仲築間(3)	○○××	×××○	3
岐部(2)	○×○×	××××	2
北山(3)	××××	○×××	1
大久保(3)	○××○	○×○○	5
計	6	5/11	11

選手交代 二立目より落前 北山(3)→大下(2)
 →予選通過ライン 14 中 よって、予選通過ならず

<結果>

入賞なし

<講評>

今回の試合は、初の団体での遠征であったからかあまりいい結果を残せなかった。しかし、慣れ親しんでいない道場であったとしても、試合となれば1立ち目の一本目から中てなければならぬ。緊張しても中るような両肩の入った会や詰め合い、会の深さなどを九大全体を通して見直さなければいけないと感じる試合であった。

玉島光士郎

第 72 回西日本弓道選手権大会
(5 月 29 日 於：博多の森弓道場)

<成績>

和田(2)	×××○	1
松山(2)	××××	0
劉(2)	○××○	2
渡部(2)	××○×	1
吉野(2)	××○○	2
計	6	6

<結果>

入賞なし

<講評>

この試合は2年生から5人選び、戦ってもらった。まだ、試合経験も浅く、慣れない対外試合であったが、入賞の13中以上を狙っていった試合だと思う。各自、試合の雰囲気や自分の射癖を省みるいい機会になったと思う。まだ、2年生とこれから多くの試合が控えていると思うので、自分の射を見直してさらに的中を伸ばして行って欲しいと思う。

玉島光士郎

第70回全日本学生弓道選手権大会(近的大会)

(8月10～12日 於：日本武道館)

<成績>

男子団体予選

上間(4)	×○×○	2
吉田(2)	○××○	2
吉光(3)	○○○×	3
佐藤(魁)(3)	×××○	1
佐藤(鳴)(3)	○×○○	3
計	11	11

→よって、予選通過ならず

女子団体予選

仲築間(3)	○○×○	3
岐部(2)	○○×○	3
北山(3)	○○×○	3
計	9	9

→よって、決勝トーナメント進出(シード権獲得)

女子団体決勝トーナメント二回戦

対 東海大学

仲築間(3)	○××○	2
岐部(2)	○○×○	3
北山(3)	×○××	1
計	6	6
相手	9	⑨

→よって、九州大学の負け

<結果>

男子団体 入賞なし

女子団体 入賞なし

<講評>

近的の部、男子は予選を 11 中で敗退、女子は 9 中で通過した。男子はやはり 13 中か 14 中を出す必要があり、全体で 70% という壁を越えなければならないということを痛感させられる試合であった。この目標を越えるためには一人一人の的中はもちろんのこと、5 人全体での的中の底上げを図る必要があると思った。

女子も予選通過したものの、初戦で敗退してしまった。九大女子の特徴として、1 立でたくさん中てる爆発力もつが、それを持続する力が足りていないため、コンスタントに自分の力を出し続ける力、集中を途切らせない力を高める必要があると思った。

玉島光士郎




R BIKE SHOP RIZE
バイクのことならバイクショッププライズ!
九大伊都キャンパスすぐそば!

★ 新車も!
★ 中古車も!

★ 学生様限定
★ ロードサービス
★ 1年間無料!

★ 40台以上のバイクを展示販売中!
★ T-PINT 使える! 貯まる!


営業時間 10時~19時
福岡市西区元浜 1-27-3 スパランサ 1F
<http://bike-rizenet/>
☎092-407-1139



パンとめし屋
コバコ
COBACO

facebook / <https://m.facebook.com/pan.cobaco>
instagram / www.instagram.com/co_ba_co/

救急指定・開放型病院



誠心会 井上病院

【診療科目】
外科(消化器・乳腺・肛門)
内科(消化器・循環器・糖尿病)
整形外科・リハビリテーション科
緩和ケア内科

通所リハビリテーション
 訪問リハビリテーション
 訪問看護ステーション
 ケアプランセンター

〒819-1104
糸島市波多江 699 番地 1
TEL:092-322-3437

創作居酒屋
もっこり2号店

福岡県糸島市波多江駅北4-5-6
波多江駅から徒歩3分
TEL 092-323-3027

糸島で採れた食材を使用した焼き鳥や刺身が楽しめます



TEL 092-323-3027
月~日、祝日、祝前日: 17:00~翌3:00
(料理L.O. 20:30 ドリンクL.O. 20:30)
定休日: 無休

第53回全日本学生弓道遠的大会

(8月13日 於：全日本弓道連盟中央道場(明治神宮至誠館第二弓道場))

<成績>

男子個人予選

外山(1)	××	0
佐藤(鳴)(3)	○○	2
佐藤(魁)(3)	○○	2
上間(4)	××	0

→よって、佐藤(鳴)、佐藤(魁)の決勝進出

女子個人予選

大下(2)	○×	1
松山(2)	××	0
北山(3)	××	0
小泉(3)	×○	1

→よって、決勝進出者なし

男子個人決勝射詰め

佐藤(鳴)(3)	○×
佐藤(魁)(3)	○×

→よって、入賞なし

<結果>

男子個人 入賞なし

女子個人 入賞なし

<講評>

遠的の部は、希望者のみが参加した。惜しくも、入賞することができなかったが、決勝射詰めへと駒を進める選手もいたため、かなり善戦できていたのではないかと思う。団体ではなく、個人競技であったことも含めて考えると、個々の力を見つめるいい機会だったと思う。

玉島光士郎

全国七大学弓道総合体育大会(女子の部)
(8月23、24日 於：宮城県第二総合運動場)

<成績>

女子の部 団体

対 京都大学

仲築間(3)	×○○○	×××○	4
北山(3)	××××	○××○	2
渡邊(3)	×○××	○××○	3
計	4	5/9	9
相手	4	10/14	⑭

選手交代 二立目より中 北山(3)→島津(3)
 →よって、九州大学の負け

対 大阪大学

仲築間(3)	○×○○	○○×○	6
島津(3)	××○×	○×○×	3
渡邊(3)	○○○○	×○××	5
計	8	6/14	⑭
相手	6	7/13	11

→よって、九州大学の勝ち

対 東北大学

仲築間(3)	×○○×	○○○×	5
島津(3)	○×××	○×○×	3
渡邊(3)	×○○×	××○○	4
計	5	7/12	⑫
相手	5	6/11	11

→よって、九州大学の勝ち

対 東京大学

仲築間(3)	×○×○	○○○○	6
北山(3)	○×○×	×○○×	4
渡邊(3)	×××○	×○○○	4
計	5	9/14	⑭
相手	4	7/11	11

→よって、九州大学の勝ち

対 北海道大学

仲築間(3)	×○○○	○×××	4
北山(3)	××××	×○○○	3
渡邊(3)	○○○×	××××	3
計	6	4/10	10
相手	7	7/14	⑭

選手交代 二立目より中 北山(3)→島津(3)

→よって、九州大学の負け

対 名古屋大学

仲築間(3)	××○○	○○××	4
島津(3)	××××	○×××	1
渡邊(3)	○○×○	×○○×	5
計	5	5/10	10
相手	7	4/11	⑪

選手交代 二立目より中 島津(3)→北山(3)

→よって、九州大学の負け

	北海道	東北	東京	名古屋	京都	大阪	九州	勝敗	総的中数	順位
北海道		×14	○13	×15(2)	○13	○18	○14	4勝2負	87	1
東北	○20		○15	○11	○13	×11	×11	4勝2負	81	2
東京	×9	×8		○12	○10	×7	×11	2勝4負	57	7
名古屋	○15(4)	×9	×9		×14(1)	×12	○11	2勝4負	70	5
京都	×10	×9	×8	○14(3)		×10	○14	2勝4負	65	6
大阪	×13	○15	○9	○13	○12		×11	4勝2負	73	3
九州	×10	○12	○14	×10	×9	○14		3勝3負	69	4

女子の部 個人 3位決定射詰

仲築間(3)	○○
--------	----

→よって、仲築間(3)の個人戦3位が決定

<結果>

女子団体 4位

女子個人 3位 仲築間未歩(3年)...29中/48射

<講評>

七大会としては初の対面開催ができたが、部活動停止の中で試合に臨む形となった。個人入賞者がいる一方で、団体戦では最後の試合に1中差で負けたことにより、優勝決定競射に食い込むことができず、団体4位という非常に悔しい結果となってしまった。10月の練習試合等を通して、緊張する場面でも、大事な1本をあてられるチームを目指したい。

北山玲衣

全国七大学弓道総合体育大会(男子の部)
(8月25、26日 於：宮城県第二総合運動場)

<成績>

男子の部 団体

対 京都大学

上間(4)	○○×○	×○××	4
吉田(2)	○○○○	○×○×	6
吉光(3)	×○○○	○○○○	7
佐藤(魁)(3)	○○○×	○○○○	7
佐藤(鳴)(3)	○○○○	○○○○	8
計	17	15/32	32
相手	10	14/24	24

→よって、九州大学の勝ち

対 大阪大学

上間(4)	×○○○	○○○○	7
吉田(2)	×○○×	×○×○	4
吉光(3)	○○○○	×○○○	7
佐藤(魁)(3)	○○○×	××××	3
佐藤(鳴)(3)	○○×○	○○○○	7
計	15	13/28	28
相手	7	13/20	20

選手交代 二立目より二的 吉田(2)→外山(1)

→よって、九州大学の勝ち

対 東北大学

上間(4)	×○○○	××○○	5
吉田(2)	○○○○	○○×○	7
吉光(3)	×○○×	○○××	4
劉(2)	○×○×	×○○×	4
佐藤 (鳴) (3)	○××○	××○○	4
計	13	11/24	24
相手	11	12/23	23

選手交代 二立目より四的 劉(2)→千綿(3)
→よって、九州大学の勝ち

対 東京大学

上間(4)	○×○○	○×○×	5
吉田(2)	○○○×	×○○○	6
吉光(3)	××○○	×○×○	4
佐藤 (魁) (3)	×○○×	○×○○	5
佐藤 (鳴) (3)	○○○○	○○○○	8
計	14	14/28	28
相手	14	15/29	29

→よって、九州大学の負け

対 北海道大学

上間(4)	×○○○	×○○×	5
吉田(2)	××○×	○○○○	5
吉光(3)	○○○×	○××○	5
佐藤 (魁) (3)	○○○○	×○○○	7
佐藤 (鳴) (3)	○○○×	○○○○	7
計	14	15/29	29
相手	12	13/25	25

→よって、九州大学の勝ち

対 名古屋大学

上間(4)	○×××	○○○○(○○)	5+2
吉田(2)	×○○×	○○×○(○○)	5+2
吉光(3)	○○○○	××○○(○○)	6+2
佐藤 (魁) (3)	○×○○	○××○(×○)	5+1
佐藤 (鳴) (3)	○○××	××××(×○)	2+1
計	12	11+8/23	23+8
相手	13	10+4/23	23+4

→よって、九州大学の勝ち

	北海道	東北	東京	名古屋	京都	大阪	九州	勝敗	総的中数	順位
北海道		○28	○31	×25	○27	○31	×25	4勝2負	167	3
東北	×26		×24	×30	○24	○27	×23	2勝4負	154	5
東京	×26	○32		○31	○25	×25	○29	4勝2負	168	2
名古屋	○28	○31	×30		×21	×22	×23(4)	2勝4負	155	4
京都	×26	×20	×24	○23		○20	×24	2勝4負	137	7
大阪	×27	×23	○26	○26	×19		×20	2勝4負	141	6
九州	○29	○24	×28	○23(8)	○32	○28		5勝1負	164	1

<結果>

男子団体 優勝

<講評>

この度、男子は七大戦で優勝することができた。しかし、総的中数は三位であり、的中数一位の東京大学とは4本の差となった。九大の勝負強さが垣間見えた試合であったとも言えるが、実際には他校の試合結果次第で優勝以外もあり得た。結果的には喜ばしいことではあるが、勝負強さだけでなく、安定して高的中を出し続けること。また、全九では8人の選手となるため、厚い選手層を育成していくことがこの夏の課題となると思う。

玉島光士郎

福岡大学・九州大学練習試合
(10月1日 於：福岡大学弓道場)

<成績>

男子団体前立

対 九州大学男子後立

上間(4)	×○○○	3
梶村(3)	×○××	1
吉野(2)	×○××	1
和田(2)	×○○×	2
計	7	7
相手	10	⑩

→よって、九州大学男子前立の負け

対 九州大学女子

上間(4)	○○×○	3
吉光(3)	××○×	1
吉野(2)	○×○×	2
和田(2)	○×○×	2
計	8	8
相手	8	8

→よって、引き分け

対 福岡大学男子後立

上間(4)	××○×	1
吉光(3)	×○○○	3
吉野(2)	×○○○	3
和田(2)	×○○○	3
計	10	10
相手	10	10

→よって、引き分け

対 福岡大学男子前立

宇都宮(1)	〇〇××	2
吉光(3)	〇×〇〇	3
高瀬(1)	〇×××	1
和田(2)	〇〇〇〇	4
計	10	10
相手	11	⑪

→よって、九州大学男子前立の負け

対 福岡大学女子

玉島(3)	〇×〇×	2
吉野(2)	〇×〇〇	3
高瀬(1)	×〇××	1
和田(2)	〇〇〇〇	4
計	10	⑩
相手	9	9

→よって、九州大学男子前立の勝ち

男子団体後立

対 九州大学男子前立

外山(1)	〇××〇	2
高瀬(1)	××××	0
千綿(3)	〇〇〇〇	4
佐藤 (鳴) (3)	〇〇〇〇	4
計	10	⑩
相手	7	7

→よって、九州大学男子後立の勝ち

対 福岡大学男子後立

外山(1)	〇〇×〇	3
渡部(2)	×〇〇×	2
千綿(3)	〇×〇×	2
佐藤 (鳴) (3)	〇×〇〇	3
計	10	10
相手	10	10

→よって、引き分け

対 福岡大学男子前立

外山(1)	〇〇〇×	3
渡部(2)	〇〇〇×	3
千綿(3)	〇×〇〇	3
佐藤 (鳴) (3)	〇〇〇〇	4
計	13	13
相手	9	9

→よって、九州大学男子後立の勝ち

対 福岡大学女子

外山(1)	〇〇〇〇	4
渡部(2)	〇××〇	2
千綿(3)	××〇×	1
佐藤 (鳴) (3)	〇〇×〇	3
計	10	10
相手	7	7

→よって、九州大学男子後立の勝ち

対 九州大学女子

外山(1)	〇〇〇〇	4
上間(4)	×××〇	1
千綿(3)	〇×〇〇	3
佐藤（鳴）(3)	〇〇〇〇	4
計	12	12
相手	13	⑬

→よって、九州大学男子前立の負け

女子団体

対 福岡大学男子前立

仲築間(3)	×〇×〇	2
北山(3)	〇×××	1
大久保(3)	〇×〇×	2
渡邊(3)	×〇〇〇	3
計	8	8
相手	11	⑪

→よって、九州大学女子の負け

対 九州大学男子前立

仲築間(3)	〇×〇〇	3
北山(3)	×〇××	1
大久保(3)	×××〇	1
渡邊(3)	〇×〇〇	3
計	8	8
相手	8	8

→よって、引き分け

対 福岡大学女子

仲築間(3)	×○○○	3
松山(2)	××××	0
大久保(3)	○×○○	3
渡邊(3)	○○×○	3
計	9	9
相手	14	⑭

→よって、九州大学女子の負け

対 福岡大学男子後立

仲築間(3)	○○×○	3
北山(3)	×○××	1
大久保(3)	×××○	1
渡邊(3)	×○○×	2
計	7	7
相手	8	⑧

→よって、九州大学女子の負け

対 九州大学男子後立

仲築間(3)	○×○○	3
北山(3)	○○○×	3
大久保(3)	○○○○	4
渡邊(3)	○○○×	3
計	13	⑬
相手	12	12

→よって、九州大学女子の勝ち

男子控え

梶村(3)	○×××	○○××	×○×○	5
吉光(3)	○○××	○○×○	×○○×	7
宇都宮(1)	×○○×	×○×○	○○○×	7
玉島(3)	○×××	××××	××○○	3
計	6	7/13	9/22	22

選手交代 三立目より二的 吉光(3)→上間(4)

女子控え

北山(3)	××○×	×○○×	××○×	4
松山(2)	×○××	×○○○	××××	4
大久保(3)	○××○	××××	○××○	4
小泉(3)	××××	○×××	××××	1
計	4	6/10	3/13	13

選手交代 二立目より大前 北山(3)→渡邊(3)

二立目より落前 大久保(3)→北山(3)

三立目より落前 北山(3)→仲築間(3)

リーグ表

	A	B	C	D	E	F	勝敗	総的	順位
A		×7	△8	×10	△10	○10	1勝2敗	45	4
B	○10		×12	○13	△10	○10	3勝1敗	55	2
C	△8	○13		×8	×7	×9	1勝3敗	45	5
D	○11	×9	○11		○14	○13	4勝1敗	58	1
E	△10	△10	○8	×7		○11	2勝1敗	46	3
F	×9	×7	○14	×11	×7		1勝4敗	48	6

A:九州大学男子前立 B:九州大学男子後立 C:九州大学女子

D:福岡大学男子前立 E:福岡大学男子後立 F:福岡大学女子

<結果>

男子団体後立 2位

<講評>

今回の練習試合では福岡大学と4人ずつのチーム同士でリーグ戦を行った。全九の決勝リーグと同じく、毎回毎回の試合で12中以上を出さなければ勝ち続けることができないような試合で、かなり貴重な経験になった。男子、女子共に、13中を出す実力を持ちつつも、その能力を出し続けることが出来なかったのが敗因であると思う。誰かが調子を崩しても他のメンバーでカバーしあうようなチームになる練習、また、一試合の中で一本抜いてしまってもすぐに修正して次の一本から中てていけるような各個人の練習が必要だと思った。

玉島光士郎



令和四年度全九練習試合
(10月9日 於：福岡大学弓道場)

<成績>

男子団体 予選

吉光(3)	〇〇〇〇	〇×〇〇	7
劉(2)	×〇〇×	×〇〇×	4
松下(1)	〇〇×〇	〇〇××	5
和田(2)	×〇〇×	〇〇×〇	5
外山(1)	〇〇〇×	〇〇〇×	6
佐藤 (魁) (3)	〇〇〇×	〇〇〇×	6
千綿(3)	〇×〇×	〇××〇	4
佐藤 (鳴) (3)	〇〇〇〇	××〇〇	6
計	23	20/43	43

女子団体 予選

仲築間(3)	×〇〇×	×××〇	3
北山(3)	××××	〇〇××	2
大久保(3)	〇××〇	××〇〇	4
渡邊(3)	×××〇	〇××〇	3
計	5	7/12	12

選手交代 二立目より二的 北山(3)→大下(2)

男子控え

上間(4)	〇〇×〇	〇×〇×	5
吉田(2)	〇〇〇〇	×〇〇〇	7
玉島(3)	〇×〇×	〇〇×〇	5
前田(2)	××〇×	〇〇〇〇	5
計	10	12/22	22

女子控え

大下(2)	××××	×○××	1
島津(3)	××○○	××○×	3
松山(2)	○××○	×○××	3
計	4	3/7	7

選手交代 二立目より二的 大下(2)→北山(3)

男子団体 決勝リーグ

対 福岡大学

吉光(3)	○×○×	2
劉(2)	○○○○	4
松下(1)	××○×	1
和田(2)	○×○○	3
外山(1)	○○○×	3
佐藤 (魁) (3)	○○○×	3
千綿(3)	×○××	1
佐藤 (鳴) (3)	○○○×	3
計	20	20
相手	22	22

→よって、九州大学の負け

対 西南学院大学

吉光(3)	○×○○	3
劉(2)	○○○×	3
上間(4)	××××	0
和田(2)	○×○×	2
外山(1)	○○○○	4
佐藤 (魁) (3)	○×××	1
吉田(2)	×××○	1
佐藤 (鳴)(3)	○○×○	3
計	17	17
相手	14	14

→よって、九州大学の勝ち

対 西日本工業大学

吉光(3)	×○○×(×)	2+0
劉(2)	○○○○(×)	4+0
玉島(3)	××××(○)	0+1
和田(2)	×××○(○)	1+1
外山(1)	○○×○(○)	3+1
佐藤 (魁) (3)	○×○×(○)	2+1
吉田(2)	××○○(○)	2+1
佐藤 (鳴) (3)	○○○○(○)	4+1
計	18+6	18+6
相手	18+6	18+6

→よって、引き分け

対 鹿児島大学

吉光(3)	○○○○(○)	4+1
劉(2)	○○×○(×)	3+0
前田(2)	○○○○(×)	4+0
和田(2)	×○○×(○)	2+1
外山(1)	○○○×(×)	3+0
佐藤 (魁) (3)	○×○○(×)	3+0
吉田(2)	×○×○(×)	2+0
佐藤 (鳴) (3)	○○○○(○)	4+1
計	25+3	25+3
相手	25+6	25+6

→よって、九州大学の負け

	A	B	C	D	E	勝敗	総的	順位
A		×24	×21	△18+6	○24	1勝2敗	87	3
B	○25		×24+6	○25+6	○26	3勝1敗	100	2
C	○24	○24+7		○22	○21+7	4勝0敗	91	1
D	△18+6	×25+3	×20		○17	1勝2敗	80	4
E	×14	×16	×21+4	×14		0勝4敗	65	5

A:西日本工業大学 B:鹿児島大学 C:福岡大学

D:九州大学 E:西南学院大学

女子団体 決勝リーグ

対 鹿児島大学

仲築間(3)	××○×	1
大下(2)	××○○	2
大久保(3)	○○○○	4
渡邊(3)	×○×○	2
計	9	⑨
相手	7	7

→よって、九州大学の勝ち

対 西南学院大学

仲築間(3)	○×○×	2
大下(2)	×××○	1
大久保(3)	○○○×	3
渡邊(3)	×○○○	3
計	9	9
相手	10	⑩

→よって、九州大学の負け

対 福岡大学

仲築間(3)	××××	0
大下(2)	××○×	1
大久保(3)	○×××	1
渡邊(3)	○○○×	3
計	5	5
相手	9	⑨

→よって、九州大学の負け

対 西日本工業大学

仲築間(3)	×○○×	2
大下(2)	○×××	1
大久保(3)	○○○×	3
渡邊(3)	×○××	1
計	7	⑦
相手	6	6

→よって、九州大学の勝ち

	a	b	c	d	e	勝敗	総的	順位
a		○8	○12	○9	○11+8	4勝0敗	40	1
b	×7		○10	×6	○9	2勝2敗	32	3
c	×9	×9		×7	×6	0勝4敗	31	5
d	×5	○7	○9		×9	2勝2敗	30	4
e	×11+4	○7	×7	○10		2勝2敗	35	2

a:福岡大学 b:西日本工業大学 c:鹿児島大学

d:九州大学 e:西南学院大学

<結果>

男子団体 4位

女子団体 4位

<講評>

今回の練習試合では、西日本工業大学や鹿児島大学等の九州各地の大学と試合ができた貴重な機会であった。試合結果からも分かる通り、勝つためには目標である男子は78%、女子は70%を出し続けることが必要であることを思い知る試合となった。九州の強豪校という大きな壁を知り、全九に向けてその差を詰めていかなければいけないと、あらためて気を引き締めるいい機会になったと思う。

玉島光士郎

九州学生弓道選手権大会
(10月25~27日 於：福岡市総合体育館)

<成績>

男子団体 予選

吉光(3)	○××○	×××○	3
劉(2)	○○○○	○○×○	7
松下(1)	○○×○	○××○	5
和田(2)	×○×○	××○×	3
外山(1)	○○○○	○○○×	7
玉島(3)	××○○	○○×○	5
千綿(3)	○×○○	××○○	5
佐藤(鳴)(3)	○○○○	×○○×	6
計	24	17/41	41

→ボーダー39中より、決勝リーグ進出

女子団体 予選

大下(2)	××○○	××○×(○○)(××)	3+2+0
北山(3)	×○○○	○×××(××)(×○)	4+0+1
大久保(3)	×××○	○○○○(×○)(○○)	5+1+2
渡邊(3)	××××	×××○(○○)(××)	1+2+0
計	6	7+5+3/13	13+5+3

選手交代 二立目より落 渡邊(3)→仲築間(3)

→ボーダー13中より、同中競射

同中競射一立目ボーダー5中より、再び同中競射

同中競射二立目ボーダー6中より、予選通過ならず

男子個人 予選

上間(4)	○○○○	4
佐藤(魁)(3)	×○○○	3
前田(2)	××○○	2
吉田(2)	××○○	2

→よって、上間(4)、佐藤(魁)(3)が決勝進出

女子個人 予選

島津(3)	○×××	1
松山(2)	×○××	1

→よって、決勝進出者なし

男子個人 決勝

劉(2)	×
松下(1)	×
外山(1)	×
千綿(3)	○×
佐藤 (鳴) (3)	○○○×
上間(4)	×
佐藤 (魁)(3)	○○○○×

→よって、佐藤 (魁) (3)の順位決定遠近競射への進出が決定

男子個人 順位決定遠近競射

佐藤 (魁) (3)	×
------------	---

→よって、佐藤 (魁) (3)の 10 位入賞が決定

女子個人 決勝

大下(2)	○×
北山(3)	×

→よって、入賞者なし

男子団体 決勝
対 西南学院大学

吉光(3)	〇〇〇〇	4
劉(2)	〇×〇×	2
松下(1)	〇××〇	2
和田(2)	×××〇	1
外山(1)	〇〇〇×	3
玉島(3)	×〇×〇	2
千綿(3)	〇×〇〇	3
佐藤 (鳴) (3)	〇〇〇×	3
計	20	20
相手	16	16

→よって、九州大学の勝ち

対 鹿児島国際大学

吉光(3)	×〇〇〇	3
劉(2)	××〇×	1
松下(1)	〇〇×〇	3
上間(4)	×〇〇×	2
外山(1)	××〇〇	2
玉島(3)	××××	0
千綿(3)	〇〇〇〇	4
佐藤 (鳴) (3)	××〇〇	2
計	17	17
相手	27	27

→よって、九州大学の負け

対 九州産業大学

吉光(3)	〇〇×〇	3
劉(2)	×××〇	1
松下(1)	〇〇〇〇	4
上間(4)	×〇〇×	2
外山(1)	〇××〇	2
佐藤 (魁) (3)	××××	0
千綿(3)	〇×〇×	2
佐藤 (鳴) (3)	〇×××	1
計	15	15
相手	12	12

→よって、九州大学の勝ち

対 福岡工業大学

吉光(3)	×〇××	1
吉田(2)	〇×〇×	2
松下(1)	〇〇〇〇	4
上間(4)	〇〇〇×	3
外山(1)	〇〇〇×	3
和田(2)	〇〇×〇	3
千綿(3)	〇〇×〇	3
佐藤 (鳴) (3)	×〇〇×	2
計	21	21
相手	23	23

→よって、九州大学の負け

対 鹿児島大学

吉光(3)	○××○	2
劉(2)	××○○	2
松下(1)	○○○○	4
上間(4)	××××	0
外山(1)	○○○×	3
和田(2)	○×○○	3
千綿(3)	○○××	2
佐藤 (鳴) (3)	○○×○	3
計	19	19
相手	24	24

→よって、九州大学の負け

対 崇城大学

吉光(3)	○×○○	3
劉(2)	○○○○	4
松下(1)	○○○○	4
玉島(3)	××××	0
外山(1)	○○×○	3
和田(2)	○○××	2
千綿(3)	○×○○	3
佐藤 (鳴) (3)	○○○○	4
計	23	23
相手	21	21

→よって、九州大学の勝ち

対 西日本工業大学

吉光(3)	×○○×	2
劉(2)	○○○○	4
松下(1)	○○○○	4
玉島(3)	×××○	1
外山(1)	×××○	1
和田(2)	○○×○	3
千綿(3)	×○××	1
佐藤 (鳴) (3)	○○○○	4
計	20	20
相手	24	24

→よって、九州大学の負け

	A	B	C	D	E	F	G	H	勝敗	総的	順位
A		×19	×17	×18	○23	○25	×22	○25	3勝4敗	149	5
B	○27		×23	○24	○24	○26	×19	○25	5勝2敗	168	3
C	○24	○24		○24	○23	○22	×27	○24	6勝1敗	168	2
D	○25	×21	×19		×21	○22	○23	○24	4勝3敗	155	4
E	×21	×20	×19	○23		○20	×17	○15	3勝4負	135	6
F	×21	×21	×20	×17	×16		×21	○17	1勝6負	133	7
G	○25	○23	○26	×22	○27	○24		○22	6勝1負	171	1
H	×18	×19	×18	×16	×12	×15	×15		0勝7敗	113	8

A:福岡工業大学 B:西日本工業大学 C:鹿児島大学 D:崇城大学

E:九州大学 F:西南学院大学 G:鹿児島国際大学 H:九州産業大学

東西対抗戦九州地区代表決定戦 (男子の部)

松下(1)	○○×○	○○○×	○○○×	9+30
-------	------	------	------	------

→よって、東西対抗戦出場選手ボーダー43 中につき、該当選手

無し

<結果>

男子団体 6位 (3勝4敗)
女子団体 入賞なし
男子個人 10位 佐藤魁帥(3年)
女子個人 入賞なし

<講評>

本大会は言わずと知れた、1年間目標に位置付けていた王座進出のための試合であった。

女子はなかなか立ち上がりから調子が振るわず、決勝リーグに行くための競射を行うこととなった。競射ではかなりいい雰囲気で行うことができたものの、最後の競り合いに勝てず、残念な結果となってしまった。どんなに苦しい場面でもチーム全体で半矢を出す、簡単なようで難しいことを試合でやりきる能力が必要だと思った。

男子は予選1立目に練習同等のかなりいい立ができたため2立目に不安を少し抱えつつも決勝リーグに進出することができた。決勝リーグでは、前立、後立で支え合うような良いチームの雰囲気で行っていたものの、九州各地の強豪、鹿児島国際大学や鹿児島大学、西日本工業大学といった鬼門の試合にて勝ち切る的中には及ばなかったことが敗因と言える。

男女共に、強豪校を打ち倒し、優勝を目指すには、個人だけでなくチーム全体の底上げを本当に高いレベルで行うこと、男子は12人、女子は7人みんながエースであることの必要さを改めて知った。この試合に立ち会うことのできた後輩には、この試合経験を活かしてまた次の1年間頑張っていってほしいと思う。

玉島光士郎

第58回九州学生弓道新人戦指宿大会
(12月3,4日 於：指宿市総合体育館)

<成績>

男子団体 予選

外山(1)	×××○	×○×○	3
劉(2)	○○○○	○○○○	8
吉田(2)	○○○×	×○○×	5
松下(1)	×○○×	×○××	3
和田(2)	○×○○	○○○○	7
計	13	13/26	26

→ボーダー22中より、決勝リーグ進出

女子団体 予選

仲築間(3)	×○×○	××××	2
松山(2)	○×××	××××	1
大下(2)	××××	×××○	1
計	3	1/4	4

→ボーダー12中より、予選通過ならず

→よって、仲築間(3)が個人戦決勝進出

男子個人 予選

斎藤(2)	○○○○	4
前田(2)	○×○○	3
吉野(2)	○○×○	3
高瀬(1)	×○××	1

→よって、斎藤(2)、前田(2)、吉野(2)が個人戦決勝進出

男子個人 決勝

斎藤(2)	〇〇〇〇×
前田(2)	×
吉田(2)	×
吉野(2)	×
和田(2)	〇〇〇〇×
劉(2)	〇〇〇×

→よって、斎藤(2)、和田(2)の順位決定遠近競射への進出が決定

男子個人 順位決定遠近競射

斎藤(2)	〇
和田(2)	×

→よって、斎藤(2)の6位入賞が決定

女子個人 決勝

仲築間(3)	×
--------	---

→よって、入賞なし

男子団体 決勝

対 西日本工業大学

外山(1)	〇×××	1
劉(2)	〇〇〇〇	4
吉田(2)	××〇×	1
松下(1)	〇×××	1
和田(2)	〇〇〇×	3
計	10	10
相手	15	15

→よって、九州大学の負け

対 熊本大学

外山(1)	○○×○	3
劉(2)	×○○○	3
吉田(2)	×○○×	2
吉野(2)	○×○○	3
和田(2)	○○○○	4
計	15	15
相手	10	10

→よって、九州大学の勝ち

対 鹿児島大学

外山(1)	○○○○(×)	4+0
劉(2)	○○○○(○)	4+1
吉田(2)	×○××(○)	1+1
吉野(2)	×○××(×)	1+0
和田(2)	×○××(×)	1+0
計	11+2	11+2
相手	11+3	11+3

→よって、九州大学の負け

対 鹿児島国際大学

外山(1)	○○××	2
劉(2)	○○○○	4
吉田(2)	○×○○	3
吉野(2)	○××○	2
和田(2)	××××	0
計	11	11
相手	19	19

→よって、九州大学の負け

対 福岡大学

外山(1)	〇〇〇〇	4
劉(2)	×××〇	1
吉田(2)	×〇〇×	2
吉野(2)	××〇〇	2
和田(2)	〇〇×〇	3
計	12	12
相手	13	⑬

→よって、九州大学の負け

対 九州工業大学工学部

外山(1)	×〇〇〇	3
劉(2)	〇×〇×	2
吉田(2)	××〇〇	2
吉野(2)	××××	0
和田(2)	〇×〇〇	3
計	10	10
相手	12	⑫

→よって、九州大学の負け

対 崇城大学

外山(1)	〇〇〇〇	4
劉(2)	〇〇××	2
吉田(2)	××××	0
斎藤(2)	〇〇〇〇	4
和田(2)	〇〇〇〇	4
計	14	⑭
相手	12	12

→よって、九州大学の勝ち

	A	B	C	D	E	F	G	H	勝敗	総的	順位
A		×9	×10	×12	×9	×10	〇10	〇12	2勝5敗	72	7
B	〇12		〇13	×14	×10	×15	×12	×13	2勝5敗	89	5
C	〇15	×12		×10	〇14	×11	×10	×11+2	2勝5敗	83	6
D	〇13	〇17	〇15		〇14+4	×12	〇15	〇17	6勝1敗	103	2
E	〇11	〇15	×12	×14+3		×17+2	〇15	×10	3勝4敗	94	4
F	〇14	〇18	〇19	〇15	〇17+3		〇16	〇19	7勝0敗	118	1
G	×8	〇15	〇12	×8	×12	×9		×7	2勝5敗	71	8
H	×10	〇16	〇11+3	×15	〇13	×15	〇17		4勝3敗	97	3

A:熊本大学 B:福岡大学 C:九州大学 D:西日本工業大学

E:崇城大学 F:鹿児島国際大学 G:九州工業大学工学部 H:鹿児島大学

<結果>

男子団体 6位

女子団体 入賞なし

男子個人 6位 斎藤悠真(2年)

女子個人 入賞なし

<講評>

しばらくぶりの開催となった本大会は、代替わり後はじめての大会という意味でも大きな挑戦であった。

女子は初立からなかなか調子が振るわず、団体で決勝リーグに進出することはできなかった。個人戦に進出した選手はいたが、その後勝ち上がっていくことは難しく、団体・個人ともに入賞なしという結果だった。選手層が薄いという大きな不利を持っているので、ひとりひとりが普段の練習での実力をはじめから出せるようにしたいと感じた。

男子は練習通りの、あるいはそれ以上の的中をあげた者が多く、団体で決勝リーグに進出することができた。しかし、ほとんどの大学に我々以上の的中を出され、団体での入賞はかなわなかった。日頃の練習から今以上の的中を出せるようにしなければ、本番で他の強豪校に食らいつくことは難しいと感じた。個人戦予選は6人もの選手が勝ち上がり、その後の射詰めも落ち着いて的中させる選手が多くいたことは誇らしかった。5位以下を決める遠近競射までに2人が残り、うち1人は6位に入賞することができた。また、団体として射技優秀校の表彰を頂くことができた。入退場だけでなく、各人の丁寧な行射が評価された結果だろう。今後もこれに慢心することなく、選手として出場していない部員も射技の向上を心がけた練習を行っていく。

男女ともにほとんどが1、2年生によるチームで挑んだが、やはりこれまで先輩方に大きく頼っていたことを認識させられた。しかし、その中でも記録を残すことができたのはひとつ自信につながる点だと思う。現役部員一同、あらためて気を引き締める機会になった。

兵藤凌央

第 60 回福岡県女子弓道大会
(12 月 10 日 於：西南学院大学弓道場)

<成績>

女子団体

大下(2)	×○○×	×××○	○×○×	5
松山(2)	○○○○	○×○○	×××○	8
北山(3)	○×○×	○×××	××○×	4
大久保(3)	○○○○	×○○○	○××○	9
仲築間(3)	○○○○	○×○○	××××	7
計	16	11/27	6/33	33

<結果>

女子団体 準優勝

女子個人 3位 大久保朱音(3年)…9中/12射

<講評>

2位という結果で、悔しい所もあったが新チームの最初としては良い結果に終わった。しかし、後半の的中の伸びなさや、個人の立中での修正力等、課題も多く見つかった試合であった。今一度各々の射を見つめ直し、少数精鋭で勝てるチームを作らなければならないと思う。この結果を無駄にしないよう、秋五定やオフシーズンの練習に活かしていきたい。

大下佳穂

令和4年度秋季五大学定期戦
(12月17日 於：九州産業大学弓道場)

<成績>

男子団体 A チーム

外山(1)	×○○○	○×○○	○××○	8
佐藤(鳴)(3)	××○○	○○×○	○×○×	7
高瀬(1)	××○○	○○○×	×○○×	7
佐藤(魁)(3)	××○○	×○×○	○○××	6
和田(2)	○○○×	××○○	○○○○	9
計	12	13/25	12/37	37

男子団体 B チーム

吉光(3)	○○○×	○○○○	×○××	8
中島(1)	××××	○×××	○×××	2
小島(2)	×○×○	○○×○	×○○×	7
宇都宮(1)	○○○○	××○○	××××	6
菅田(1)	×○×○	××××	○×○○	5
計	11	10/21	7/28	28

男子団体 C チーム

渡部(2)	××○○	××○×	×××○	4
下地(1)	×××○	××××	××××	1
松下(1)	○○××	××○×	×○××	4
吉野(2)	○○○×	○×○×	○○×○	8
吉田(2)	×××○	○××○	○××○	5
計	9	6/15	7/22	22

女子団体 A チーム

大下(2)	○×××	××○×	○××○	4
松山(2)	××××	××××	×○○×	2
北山(3)	××××	×××○	××××	1
仲築間(3)	××○×	○×○×	○×○○	6
計	2	4/6	7/13	13

男子個人

兵藤(2)	○×○○	××××	○○×○	6
前田(2)	××○×	××××	○×○○	4
中島(3)	—	×××○	○×○×	3

男子個人 順位決定競射

和田(2)	×
-------	---

→よって、入賞者なし

<結果>

男子団体 A チーム 優勝

<講評>

本大会は、福岡県内の 5 大学で例年行われる交流試合である。女子は A チームのみで、男子は A、B、C の 3 チームおよび個人戦 3 名に分かれて試合に臨んだ。

女子は普段の練習以上の力をうまく発揮することができず、団体・個人ともに入賞無しという結果だった。部の体制が変わってからまだ数度目の大会なので、団体としての競技力を磨く必要があると感じた。

男子は 3 チームとも練習から大きく記録が悪くなることはなく、とくに A チームは 3 立の平均が 12 中を超える記録を出した。比較的高い水準で安定した的中を出すことができ、結果として A チームは団体優勝を果たすことができた。個人の入賞はなかったものの、団体で結果を残せたことは日頃の立練習の成果と言えるだろう。

女子は個人の実力は十分あるものの、団体として結束力や流れをつくる力にまだ伸びしろが見えるように思う。立練習を積極的に行い、それらを磨いていきたい。男子はこれから個人の実力を各自で磨いていくことにも気を払い、団体でも個人でも立ち向かえるようにしていきたい。

兵藤凌央

令和四年度 例会記録

	団体優勝	団体二位	個人優勝	最多の中	備考
四月 20射	國久保 兵藤 劉 北山 佐藤(鳴) 的中率 0.540	大下 中谷 齋藤 佐藤(魁) 大久保 村上 的中率 0.533	吉光	上間 16/20	
五月 16射	中島(Ⅲ) 齋藤 吉野 前田 上間 的中率 0.550	和田 佐藤(鳴) 新田 佐藤(魁) 的中率 0.500	上原	吉光 15/16	
六月 20射	大下 劉 北山 上間 吉野 的中率 0.520	佐藤(魁) 玉島 安藤 上原 渡邊 的中率 0.510	吉光	若口 19/20	
七月 12射	渡部 大久保 仲築間 國久保 中谷 的中率 0.517	兵藤 岐部 北山 齋藤 佐藤(鳴) 的中率 0.467	北山	佐藤 (鳴) 10/12	一年生 デビュー
十月 16射	若口 北山 吉野 吉田 村上 高瀬 仲築間 羽月 有村 渡邊 的中率 0.550	劉 川副 新田 前田 永野 小島 吉光 外山 小泉 佐藤(魁) 的中率 0.442	有村	佐藤 (鳴) 14/16	前後立
十一月 16射	濱元 中島(Ⅰ) 千綿 上原 北山 下地 和田 的中率 0.563	中島(Ⅲ) 新田 佐藤(鳴) 劉 中谷 島津 吉野 的中率 0.545	上原	和田 16/16	前後立
十二月 -射	/	/	/	/	雷雨の ため 中止
一月 18射	劉 松山 齋藤 渡部 前田 的中率 0.533	北山 佐藤(鳴) 新田 仲築間 千綿 吉光 的中率 0.509	佐藤(鳴)	佐藤 (鳴) 16/18	学年別 対抗、 一手有

年間最多の中

- 1位 吉光俊介 91/126
- 2位 上間日向 89/126
- 3位 劉殉楷 80/126

例会の記録

	4月 (20射)	5月 (16射)	6月 (20射)	7月 (12射)	10月 (16射)	11月 (16射)	12月 (8射)	1月 (18射)	総的中 (126射)
1年生									
宇都宮				1	5	7	3	3	19
下地				0	6	6	1	5	18
菅田				3	3	5	2	6	19
高瀬				1	10	4	1	11	27
外山					8	11	3		22
鳥越				3	8	0			11
中島				1	2	6	1	10	20
松下				2	10	11	4	4	31
2年生									
大下	16	7	7	3		6	2		41
小原	0								0
岐部	7	4	7	3					21
小島	7	9	8	3	2	5		8	42
斎藤	4	7	6	0	7		5	9	38
兵藤	7	1	7	4	3	6	3	7	38
前田	6	9	7	7	5	3	4	8	49
松山	4	3	3	2	3	4	2	4	25
吉田	10	14	7	7	11	6		8	63
吉野	11	8	6	5	9	10	5	11	65
劉	11	6	12	4	12	13	6	16	80
渡部	11	13	11	3	8	16	5	7	74
和田	10	7	10	2	6		2	11	48

	4月 (20射)	5月 (16射)	6月 (20射)	7月 (12射)	10月 (16射)	11月 (16射)	12月 (16射)	1月 (10射)	総的中 (126射)
3年生									
大久保	9	3	13	7	11	2	3	7	55
梶村	6	4	4	3		8	5		30
川副	8	6	8	3	6	6	2		39
北山	14	5	10	7	10	5	2	6	59
小泉	7		3		0	3	1	3	17
佐藤(魁)	14	12	12	8	7	12	5	9	79
佐藤(鳴)	15	4		10	14	12	5	16	76
島津	7	2	12	2		6	0	1	30
田中	1	4		2	5				12
玉島	7	4	9	3	8	9	2	5	47
千綿	11	15	10	8	6	11	4	6	71
中島	5	12		6	8	9	6		46
仲築間		5	12	9	7		3	12	48
新田	4	10	4	4	4	7	1	6	40
羽月	9	6		2	2		6		25
村上	14	3			11		3	12	43
山本	4				8		2		14
吉光	16	15	14	7	11	14	5	9	91
渡邊	8	6	8	6	11		1		40

4年生									
有村	8	6	7		7	5		5	38
上間	16	12	17	9	8	12	4	11	89
國久保	7	1	10	8	8	7	2	7	50
齋藤	4	3	2	4		4	2	1	20
中谷	7	1	1	5		4	3	1	22
濱本	5		6	4		5	0	4	24
山本	1	5							6

令和4年度 行事表

月	日	行事	場所
4	16	四月例会	九州大学弓道場
	23	練習試合	九州大学弓道場
5	1	福岡県女子北部リーグ戦 I 部	西南学院大学弓道場
	4～5	福岡県男子北部リーグ戦 I 部	西南学院大学弓道場
	14	五月例会	九州大学
	15	第36回福岡県大学弓道選手権大会	福岡県武道館弓道場
	28～29	西日本弓道選手権大会	博多の森弓道場
6	19	六月例会	九州大学弓道場
7	2～3	全日本学生弓道選手権大会個人予選	九州大学（オンライン開催）
	9	練習試合	九州大学弓道場
	17	七月例会	九州大学弓道場
8	10～13	全日本学生弓道選手権大会	日本武道館 全日本弓道連盟中央道場
	23～26	全国七大学総合体育大会	宮城県第二総合運動場
8、9	30～1	夏合宿代替練習	九州大学
10	1	練習試合	福岡大学
	2	十月例会	九州大学弓道場
	9	練習試合	福岡大学
	25～27	九州学生弓道選手権大会	福岡市総合体育館
11	13	十一月例会	九州大学
12	3～4	九州学生弓道新人戦指宿大会	指宿市総合体育館
	10	第60回福岡県女子弓道大会	西南学院大学弓道場
	17	秋季五大学定期戦	九州産業大学弓道場
	18	十二月例会 新幹部披露コンパ	九州大学弓道場
1	2	新年射会	九州大学弓道場
	22	一月例会	九州大学弓道場
3、4	28～1	春合宿	大川市弓道場

第三部

現役生投稿

所感

國久保透真

私の大学生活に潤いを与えてくれたのは紛れもなく弓道であった。

弓道部には迷うことなく入部し、大学一年生の頃は毎日道場に通う日々を送っていた。講義中にも関わらず自分の射の動画を見返し、課題を見つけ、空きコマの時間になるとすぐに長い道場までの坂を元氣よく漕いでいた。的中もみるみる上昇していき、スタメンに入るまで時間はかからなかった。初めて出場した七大戰では初立で皆中し、団体優勝に大きく貢献することができた。その後もひたすら練習を続け、合宿での競射会では、T5/T6を出すことができた。

その後からだった。突然的中率が落ち、どんなに練習しても以前のような射をすることができなくなった。練習しても伸び悩む的心中が蝕まれ、ついに弓道に初めて嫌気が差した。

そんなときにある言葉に出会った。「継続は維持か衰退しか生まない」である。目から鱗であった。また、それと同時に東西戦の動画を見る中で四ツ磔に魅せられ、憧れを持つようになった。適度の中る中を捨て、四ツ磔に変更することは決死の覚悟であった。しかし、先述の言葉を胸に刻み、磔を変え、射を一から見直すことにした。

ここからは、茨の道であった。的中は半矢までさらに落ち、毎日の立練習に恐怖を感じた。大学二年生になると、専攻実験で忙しく

なり、思うように弓道に時間を割けなくなった。この忙しさを理由にして少しずつ自主練習を疎かにするようになった。その結果、歯痒い大会結果ばかりが残ってしまった、この練習に取り組む姿勢を見直さなければ上達することはできないと悟った。

大学三年生になり、主将の責務が私に重くのしかかった。さらに忙しくなったが、去年の反省を生かし、少しでも空いた時間があれば、弓道に時間を注ぐようにした。弟子たちに示しを付けるため、大会で必ず結果を残さなければならぬと心に誓い、その一心で毎日筋トレにも励んだ。

そして臨んだ九州学生弓道選手権大会、引退試合ということもあり、ひどく緊張した。しかし、練習の日々を走馬灯のように思い返し、緊張を寧ろ楽しむことによつて、思い通りの行射をすることができた。そして念願の個人入賞を達成することができた。感無量、一生の思い出である。

長々と自分の経験談を綴って申し訳ない。ただ、自分の経験を通して後輩に伝えたいことがある。まず、周りの人に感謝してほしい。私がここまで弓道が続けることができたのは紛れもなく師匠、弟子をはじめ、いろいろな人に支えてもらったからである。次に、変化を恐れないでほしい。今の中を捨て、新たな射にすることは確かに怖い。時には、的中が低迷するかもしれないが、それは進化ではなく進化の過程である。最後に、純粹に弓道を楽しんでほしい。結果がなかなか出ず、努力が実らないことが多いのが弓道である。精神的にきつくなることもあるかもしれないが、弓で矢を飛ばすこと

私は、大学に入学する前から、弓道部に入ろうと決めていました。そこで、オンラインガイドランスに参加したところ、國久保先輩が登場し、ガイドランスを明るく進行していました。その姿を見て変わらぬ元気で活躍されているな、と感じたのを覚えています。國久保先輩に入部の手続きをお願いして、スムーズに入部できました。

先輩は、一、二年責任者として、また、主将として人数の多い私たちの代をまとめ、ひっぱってくださいました。練習中、弟子に熱心に指導するだけではなく、弟子以外のたくさんの部員にも指導をしてくださっていた姿を覚えています。その姿を見て、そして、國久保先輩のような粘り強い会と安定感のある射をしたい、という思いから、二年生の夏頃に弟子入りしました。弟子入りしたい旨を伝えると、前から私の射も見えてくださったとのこと、とても嬉しかったです。

それから、國久保先輩からたくさんのご指導をいただきました。國久保先輩は、私の射の問題点をはつきりと言い、そして「ここをこうする！」と体を動かして解決策を教えてくださいましたので、感覚が鈍い私もすぐに分かり実践することができました。

しかし、私は、最後の全九も含め試合で活躍することはほぼ無く、先輩に活躍する弟子の姿をお見せすることができませんでした。申し訳ありません。それでも、私が三年生の全九の個人戦に出場する際、國久保先輩が「後悔のない射をしておいで」とおっしゃいました。本番は、その言葉を信じ精一杯の射をできたと思っています。また、私が、引退するか迷ったときにもとても親身に相談ののって

くださりました。この他にも、先輩のたくさんの温かいお言葉に、何度も励まされました。本当にありがとうございます。私も、國久保先輩のように、周りを明るく照らす思いやりを持った人間になれるよう精進していきたいと思えます。

最後になりますが、これまで本当にお世話になりました。これからも例会等でお会いできたらと思います。また、今後もし指導いただきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いします。

所感

有村寛太

大学に入学し早四年、長いようで短い学生弓道生活がもうすぐ終わろうとしている。自分が弓道を始めたのは中学生のころなのでもうすぐ十年目に突入するわけである。大学弓道を振り返ると、右も左もわからなかった一年目、コロナで何もできなかった二年目、副将として迷惑をかけてしまった三年目、そして弓道から離れた四年目とじつにさまざまなことがあった。大学での弓道生活は今までの学生弓道と比較してかなり充実していた気がする。大学までの自分の弓道観とは全く異なる弓道感を持った人と出会い、自分の中の弓道に対する考え方が大きく変化し、今まで培った技術を磨き直すうちにさらに新しい発見をするなどかなりためになったと思う。何より一番大きいのは自分の中で弓道とは何かの考え方が固まったこ

とだ。大学で学んださまざまなことを生かして今後の人生に活かそうと思う。それはさておき本当に楽しかった四年間だった。まあ途中原付で四回くらいコケたり例会の仕切りをミスりまくったり女装やら徹夜でじゃがバター作って腐らせたりと色々あったし、結構色々な人にご迷惑をおかけしたりお叱りを受けることもあったりしたけど本当に楽しい四年間だった。多分次に弓を引くのは数年か十数年か数十年か後になるとは思うけどいつかその時にまた楽しめるよう道具はきちんと整備しておこうと思う。最後に自分の中の学生弓道の結論でも書いて締めにしたと思う。十年間の中で一番試合の中での的を出せたのは試合中にワクワクしていた時だったと思う。自分は緊張しいなのでそんな試合は十試合に一試合あるかないかだったが。大体そんな試合は前日まで練習しきって開き直れる状況の時か自分の射の状態を正確に把握できていた時だった。だから今後一から弓道をするのであれば道具や体捌き、視線や重心など隅の隅まで理由づけをして自分の体を正確に把握するように努めようと思う。正直射法八節もその一環であろうと思うし、的中のみを求めるのであれば正射より定射を目指すべきだとは思う。このように取り留めもないことを書いたが結局言いたいことは後悔しないよう死ぬほど準備しろということだ。まあ自分は大学弓道で一才それができていかなかったわけだが。今後弓を引くなら今度こそ取り組もうと思う。最後までこんな駄文を読んでくださる方がいるのであればありがたいことである。

本当に最後になりますが、大学弓道でお世話になった中村先生をは

じめ五十九代から六十一代の先輩方、六十三代から六十五代の後輩、そして六十二代の素晴らしい同期に対して感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

有村先輩へ

佐藤鳴海

有村先輩、この度はご卒業おめでとうございます。

先輩には先輩が引退した後もずっとお世話になりっぱなしだった気がします。先輩から副将兼配監視員としての引継ぎが全て終わり、正式に九大弓道部の副将となった時には、自分が副将であるという実感は全く湧きませんでした、さらに、副将の座を後輩に譲った今でも、自分が副将としての務めを果たしていたのかもわかりません。何かあるたびに先輩に頼り切っており、いつまでも先輩が副将で、私はあくまでも次期副将なのだと思っていました。それほどまでに有村先輩は、私にとって偉大な副将であり、尊敬できる先輩です。

そんな先輩ですが、私にとつてこれを語らずに有村先輩を語ることはできないと思う出来事があります。それは「有村先輩、原付でファミマに突っ込む事件」です。これは私自身が直接見たわけではなく、他の先輩から聞いた話になります。ある夜、ファミマから帰宅しようと颯爽と原付にまたがった先輩は、エンジンを

かけてそのまま帰るのかと思つたらファミマの壁に突っ込み、まるで何事もなかったかのように帰られたとのことです。この話を最初に聞いた時は、そんな馬鹿な(笑)、まさか先輩が原付でファミマにぶつかるだなんて、プリウスじゃあるまいし、と思つていました。しかし、私は見てしまったのです。弓道場に来る直前の坂を爆速で上がり、自販機の前を鈴鹿サーキットのレーサーもびつくりな角度で原付を倒してカーブしてくる有村先輩を、あの時に、あのファミマに突っ込んだ話は本当だったのかもしれない、と考えさせられました。

有村先輩にもそんなファンキーな一面もあるのかと驚いたものです。私が副将として例会や合宿の相談などでなよなよしていた時も、「鳴海ならできる。なんとかななる。」と言つてくださったこと、今でも励みにしています。

最後になりますが、このようなエピソードを使うことを快諾していただき、誠にありがとうございます。また、有村先輩の頼りになる姿やファンキーな部分はかつこよくて、今でも尊敬しております。今後、大きな壁が立ち塞がったとしても、原付でファミマの壁をぶち壊すように困難を越えていってください。

末筆ながら、先輩のご多幸とさらなる活躍を心よりお祈り申し上げます。

いちばん有り難かったことを思い出す

梶村泰生

有村先輩が卒業するまでもう一月余りになろうとしています。先輩は院に進まれるのでまた会う機会もあるでしょうが、どこかこれまでとは違う感じがしてしまいます。有村先輩はわたしが約三年の弓道部生活を送るにあたって、ご指導と部活動生活の両面から最もお世話になった先輩の一人でした。

わたしが弓道というものを始めたてだった頃、同学年に初心者は陳君しかおらず、周りの弓道談義にも加わりにくかったことがありました。もちろん諸先輩方や同級生たちも教えてくれることがあったのですが、その頃の初心者指導に当たつてくださったのが有村先輩と中谷先輩でした。それを頼りに陳君とわたしの二人が正気練習の射込みの時間に、いきなり指導のお願いをしたこともありました。ゴム弓のときも素引きや巻藁のときも初めの頃はいつも頼んでいた覚えがあります。そんなときは例えご自身が弓を引く準備をされている時でもそれが当然のように承諾してくださいました。これが本当に嬉しかったです。少しも嫌な顔も見せずに、投げやりにされず、真剣な指導を受けられるのがこれほど嬉しいものかと、かつてラグビーをしていた頃感じていたような気持ちを感じていました。味わった気がしたものでした。また、技術面だけでなく、普段の部活動では冗談を交えつつ話しかけていただいたり、また道場内の決まり事を丁寧に教えて下さいましたことも忘れません。

以上は私の糧となった大切な思い出です。しかしながら、コロナウイルスの流行がなければ、長期間の部活動の休止もなく、合宿等も行えただろうにと思うと残念でしかありません。

それでは最後に、大学生活4年間お疲れさまでした。ご卒業おめでとうございます。

有村先輩へ

小泉真凜

有村先輩、ご卒業おめでとうございます。

男子副将としての体配指導だけでなく、班練習で同じ班になった際には練習中の指導やファミコンにも呼んでくださるなど、様々な場面でお世話になりました。

男子副将という最も後輩の指導に関わる立場であったと思いますが、有村先輩は指導する、注意するというよりは、先輩自身の態度で後輩に見せるというような印象があり、その立ち振る舞いや練習に取り組む姿勢はとてまかつこよく、尊敬していましたし、行動で示してくださる先輩のことをとても信頼していました。このような尊敬、信頼の思いがあり、私は困ったこと、わからないことがあったときは有村先輩にお聞きしたり、頼らせていただいたりすることが多かったと思います。どのような時でも丁寧に教えてくださったこと、本当に感謝しています。それだけでなく、有村先輩は常に

周りのことを気にかけてくださって、困っているときは先輩のほうから声をかけてくださり、すごくありがたかったです。

私が有村先輩を尊敬していることに、集団のバランスをとる役割ができるということもあります。先輩自身が意識されているかはわかりませんが、部全体のとき、六十二代の先輩方というとき、六十二代、六十三代というとき、少数数の先輩、後輩というとき等で有村先輩の立ち振る舞い方は少しずつ変わっており、ビシビシ指摘しているときもあれば、誰かをなだめているときもあり、先輩がいらっしゃるときは集団がともスムーズに動いていたと思います。特に、私が六十三代に怒鳴り散らしているときになだめていただきたいことが印象に残っています。弓道部は良くも悪くも個性的な人が集まっていますが、この集団が部としてまとまれたのは有村先輩のお力が大きかったと感じました。

先輩と過ごしたこの二年半は、とても身の引き締まる時間であり、また、安心感の大きな時間でした。また機会がありましたら弓道部だけでなく理学部棟でお会いしたときもお話できたら嬉しいです。最後になります。二年半、本当にありがとうございます。先輩のご多幸と、更なるご活躍をお祈り申し上げます。

所感

中谷聡江

今振り返ると、コロナ禍で二年ほど記憶のない大学生活の中で弓道部として過ごした時間は一番密度の大きい、濃いものであったと感じています。

弓道部に入部したのは、もともと武道が好きで大学でも武道をしたいと思っていたからでした。武道は個人競技のものが多くですが、弓道は対人競技ではなく本当に一人でする競技という点でこれまで経験してきた柔道や剣道とは違つたため最初は新鮮でした。初めて離れを出せるようになってから、同じ動きを繰り返すだけなのにこんなに楽しく飽きないのは面白いと思い、自主練に積極的に参加するようになりました。一年の頃は週四日の練習のほかに、授業の合間や放課後の時間に道場まで弓を引きに行くことが習慣でした。昼間でも人がいることが多かったですが、たまに誰もいないときもあり、一人しかいない道場で練習している時間が非常に貴重で気持ちのいいものであったことを覚えています。その頃は弓道が生活の中心で、四限終わりと部活終わりで毎日二回夜ごはんを食べていました。その甲斐あつてか、一年の十月に初めて参加した全九の個人戦で初めての皆中からの個人戦三位という結果を残すことができました。その日は運よくゾーンに入れていたのだと思います。その後その結果を超えることはできず悔しい引退となりましたが、全部含めて私にとっては後悔のない弓道部生活でした。

私が弓道に関することで言えることはあまりないですが、推しは推せる時に推せという言葉にもあるように、弓道も打ち込めるときにことん打ち込むのがいいと思います。私の場合一年がやる気のピークであり、また二年からはコロナ禍の影響で部活が停止になったため、一年がその時期だったのだと思います。環境は変わるものなので、弓道に打ち込めている今をチャンスだと思つてとことん頑張るのをお勧めします。

最後になりますが、この四年間で弓道部の方々とは学部の友人より長い時間を過ごしました。弓道部で関わった方々はこだわりが強く、いい意味で癖のある方が多く刺激的な日々を過ごしていました。お世話になった方々に心から感謝します。ありがとうございます。現役生の方々はこれからも頑張ってください。応援しています。

中谷先輩へ

北山玲衣

この度は、ご卒業おめでとうございます。そして、第六十二代女子副将のお仕事、本当にお疲れ様でした。

私たちが、中谷先輩と初めてお会いしたのは、すでに暑さの和らいできた頃でした。先輩方と私たち第六十三代が一緒に活動できるはずだった期間のうちの多くはコロナ禍となつてしまい、例年のようなお酒の場がしばらく開催できなかったことが特に悔やまれます。

す。なぜなら、中谷先輩は第六十二代の先輩方の中でも一番の酒豪であると噂されているからです。今後の女子コンパや忘年会などにも、ご都合が合えば、ぜひ足を運んでくださると嬉しい限りです。

中谷先輩は、選手選考を含め、試合のときにはいつも選手や団体のことを第一に考えて行動されており、私自身が女子副将という立場になってはじめて、それがとても難しいことなのだ実感しました。また、幹部のお仕事、練習、学業などを、弱音や愚痴を吐くことなくこなされているお姿は、かつこよかったです。そのタフさばかりと、中谷先輩がこれまでに剣道、柔道、弓道と、武道を極められてきた中で、築き上げられたものだろうと尊敬しています。

また、私が役職を引き継いでは、このような立場に慣れないもので不安も大きかったです。いつでも頼ってねと言ってくださり、とても心強かったです。そのお言葉に甘えて、女子コンパの準備などの際には多くの相談をさせていただき、先輩からいただいた数々のアドバイスのおかげで、先輩方にも来ていただき、無事に楽しい会を開催することができました。本当にお世話になりました。私も中谷先輩のように、後輩たちを支えられる、頼れる先輩でいられるよう頑張ります。

末筆ながら、中谷先輩のさらなるご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

中谷先輩へ

大久保朱音

この度は、ご卒業おめでとうございます。中谷先輩には、入部した当初から大変お世話になりました。もともと私は引つ込み思案で、かつ、入部が他の同級生よりも遅めだったために、先輩方に積極的に話しかけに行くことができていませんでした。先輩方同士や他の同級生と先輩方がしゃべっているのを見ていただけで話しかけるのをためらっていることや、自分一人と先輩方が部室にいる際に話しかけるきっかけがつかめなくて黙ったままになってしまうことがよくありました。そのようなときに、先輩は、話を振って会話に入る手助けをしてくださったり、私一人でいる時に「調子はどう？」などの声掛けをしてくださったりしました。そのおかげで、弓道部に早くなじむことができ、練習も楽しく感じることができました。

また、普段の練習などでも大変お世話になりました。普段の練習後に、「調子どう？」、「最近よく当たっているね。」などの声掛けをしてくださったり、大会前に調子が悪いときは、「自分で自分の調子どんな感じって考えてる？」というように自分の射を振り返るきっかけになるような言葉をかけてくださったりしました。私は、自分の射の癖などを自分から言葉にする習慣がなかったので、そのような声をかけてくださったことにとっても感謝しています。大会の選手になれなかった際にも、とても丁寧に説明してくださったため、今回できていなかった○○を直していこう、というようなとても前

向きで建設的な考えで練習に臨むことができませんでした。

最後に、自身の結果を残しているだけでなく、女子副将として部や女子部員をまとめ、結果に向かつて一丸となっていけるように心配している先輩を、非常に尊敬しています。これからお体に気を付けてお過ごしください。ありがとうございます。

所感

濱元克宣

私の部活動生活4年間を振り返ると、なかなか恥の多いものだったとしみじみ感じる。射しかり、役職の仕事しかり、多くの人に迷惑を掛けてしまったり支えてもらったりしたことばかりだった。だが私が感じることは、反省はしているが後悔はしていないというような、どこかさっぱりとした気持ちである。

反省したことはきりがなが、中でも強く思ったのはもつと弓道に向き合うべきだったという気持ちである。主務という役職に就いたとき私は、選手ではなく後ろから皆を支える役割であり続けようという決意をした(まだまだ仕事も練習もできただろうという指摘はさておかせてもらう)。これは一年の頃の七大戦で、國久保君の介添えをさせてもらったころからも考えていたことであった。そんな考えを盾に、自分の射から目を背ける日々を過ごしていたのだが、幸いなことに九大の弓道部には、先輩、同級生、後輩のどこを見て

もひたむきに努力する人がいてくれた。特に地獄のような体配練習や主将の責務、そして多忙な学業をこなして尚努力できる國久保君、そして初めてする弓道であっても目標を高く持ち、食欲に取り組んでいた上間君は特に印象的だった。いつも練習に来はするが最後まで残ることもなく、そして自分の射に誠実に向き合いきれなかった私は、彼らにどこか憧れのような気持ちを抱くようになったし、今でも誠実に取り組みなかつたことを反省している。後輩たちはまだ間に合うのでぜひ反面教師にしてほしい。

さて、ここまで見るとどう見ても後悔しているように見えるだろうが、私は全く気にしていない。というのも、ひたむきに努力する人たちを眩しく思い、自分もそうなりたかつたと思えることに自らの成長を感じたからである。入部したての私は全く志がなく、受験先もなんとなく選んだし、入部も高校の頃の惰性で決めたに過ぎなかつた(当時はかなり後悔していた)。そんな私が目標を目指し努力する人たちから刺激を受け、自分もそうあるべきだつたと思うようになったのは、私にとつて大きな実りだつたと強く感じるのだ。結局のところ何が言いたいかというと、私は弓道部生活を通し、自省を繰り返す中で、後悔を上回るような成長・学びを得られたということである。この弓道部にはそうさせてくれるようなかけがえのない経験や機会があり、そして何より素晴らしい仲間がいることを覚えておいてほしい。

何度も自虐的に書く通り、私はなかなか手本となれる先輩ではなかつたと思うが、そんな私でも最後に伝えたいことは、どうか悔い

のない大学弓道生活を送ってほしいということである。弓道部の皆が私と同じように、最後には弓道部に入っていてよかったと思う、そんな日々を過ごせることを強く願っている。4年間、大変お世話になりました。関わってくれた皆さん、本当にありがとうございます。

先輩方との三年間を振り返って

羽月脩人

濱元先輩ならびに九州大学弓道部四年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。私にとつての先輩方との三年間は、時にやさしく時に厳しく指導を受け楽しく過ごせたものであったと感じています。

特に濱元先輩との縁はかなり強かったと記憶しています。部の運営という点では、次代主務の村上が経済学部であったということで、我々経済学部は濱元先輩のもとで雑務をこなすということも少なくありませんでした。雑務の内容を丁寧に説明していただいたため、私たちも気分よく速やかに動き、仕事を遂行することができました。3年生になってからの村上の主務としての仕事ぶりを見るに、主務の仕事というのは相当に大変なものであったと推察できますが、大量の仕事を抱えていてもその辛さを表に出さずに主務として部の運営にあたっていただいたことについては感謝しています。

また、主務としてだけでなく、部の選手としてもお世話になったことも多くあります。春合宿の代替班練習の時は、新2年生であった我々のまとまりのない班を実質的なリーダーとしてまとめ上げ、班を全体優勝に押し上げてくださったと感じています。

私は様々な点で濱元先輩に感謝や尊敬の念を抱いていますが、中でも濱元先輩に対し最も尊敬できると感じる点はそのような時も平常心で、いつも通りでいられる点であると感じています。人間、調子のよいとき、上手くいっているときに明るく気丈に振る舞うことは誰にでもできるでしょうが、結果の出ない時期や他にやるべきことを抱えているときに同じように振る舞うことは難しいものです。その点で、結果があまり出ず控えに回った一昨年の全九で正選手のサポートをしつかり行う一方で交代後に控えとして試合で結果を出したことが、かなり窮屈であろうスケジュールで就活を同時並行で進めながら運営を行っていた去年の全九で苦労を表に出さない点は精神的な強さを感じ取れました。

全体への献身性と平常心を保つタフさを武器として社会での益々の活躍を祈っております。改めて、ご卒業おめでとうございます。

濱元先輩へ

川副春翔

この度はご卒業おめでとうございます。月日が経つのは早いもので、二年間一緒に部活動をしてきた先輩がもう卒業するのだという実感が未だに湧いていません。濱元先輩には部活動からプライベートまで、色々な面でお世話になりました。

部活動での先輩の印象は、頼りになる主務の先輩、でした。毎日の体温管理や、練習試合の運営などの仕事をされている姿を射場で日々目撃する一方で、書類の管理も先輩の仕事の管轄内であると思った時は自分だったら早々に音を上げているだろうなと思った記憶があります。そうやって主務の仕事はとて大変だということも噂に聞いていた上、その片鱗を何度か見たこともあったのですが、同期が主務になってひいこら言いながら実際に仕事をしているのを見て、これを平然とこなしていた先輩は凄かったんだなと改めて思いました。大変な、そして大事な役職を一年間担っていただき、ありがとうございます。

そして、先輩との思い出はやはり某ゲームでの印象がかなり強く残っています。最初に話題に上がった時、僕がそのゲームを一番やりこんでいた時期だったのですが、周りに同じくらいそのゲームをやっていた知人が高校の同期ぐらいしかいなかったもので、大学に入って初めて本気で対戦できる先輩に巡り合えたことですごく昂ったことを覚えています。それから定期的に対戦する機会もあり、と

ても楽しかったです。これからも先輩の気が向いた時でいいので、ぜひ誘ってもらえると嬉しいです。

三年間、短いようであつという間でした。先輩方と過ごした部活動はとて楽しかったです。本当にありがとうございます。

濱元先輩へ

村上一希

濱元先輩、ご卒業おめでとうございます。また第六十二代主務としてのお努め、本当にお疲れさまでした。濱元先輩には主務の仕事に関して助言をいただくなど、お世話になることが多々ありました。濱元先輩のような頼れる先輩と一緒に弓道ができたこと、本当に嬉しく思います。

思えば濱元先輩との関りは、先輩から副務を務めるようLINEで頼まれたことから始まったと記憶しております。当時の僕は、副務を務めた後になる主務の大変さを理解しておらず、あまり深く考えずに承諾してしまいました。しかし僕にとって主務の仕事は荷が重く、あの日の濱元先輩からのLINEに返信してしまったことを何度も後悔しました。それでもなお僕が主務を務めることができたのは、濱元先輩のご助力があったからだと思えます。仕事を面倒くさがったり、USBの使い方が分からなかったりなど、何かと手のかかる後輩だったとは思いますが、これまでお世話していただき

ありがとうございました。

さて、主務の仕事は濱元先輩のおかげでなんとか終えることができましたが、まだ県学連の仕事が残っています。この弓弦原稿を書いている二月二十八日現在、県学連委員長としての進捗はほぼゼロです。最近また、あの日の濱元先輩からのLINEに返信してしまつたことを後悔することがあります。濱元先輩が卒業された後も、何かと助けを乞うことがあるかと思いますが、その時は何卒よろしくお願い致します。

最後になりますが、濱元先輩、4年間本当にお疲れさまでした。これからもどうかお体にお気をつけて、元気に頑張ってください。濱元先輩のご多幸と、更なるご活躍を心からお祈り申し上げます。改めまして、ご卒業おめでとうございました。

所感

山本結貴

私が弓道部に入つたのは大学一年生の十月だった。弓道部に入るまではバスケ、バレエ、テニスなど色々なサークルを行ったり来たりしていた。放課後や休日には酒を飲んで集まったり、ゲームをしたり映画を見たり同じような日々を繰り返していた。当時の私はそんな日々どこか物足りなくなっていた。そんなとき、目に飛び込んできたのが弓道部の後期入部の案内であった。地元大阪の中学や

高校には弓道部がほとんどなかったが、母親が弓道部だったのでだけ話を聞いたことがあった。また、高校の友達も弓道部に入つたことを聞いていたので自分も入りたいと思うようになった。そんな理由が合わさつて弓道部に入部することとなった。入部してからすぐに弓を引いて矢を放つというのではなく、射法八節というものを体で覚える必要があるということが分かつた。一連の動作のいずれか所を正確に論理的に体現する弓道という武道は習得や慣れ、維持にかなりの時間を要することが分かつた。高年次に通えなくなるのが分かつていた私は入部直後からたくさん練習した。しかし、新型コロナウイルスが原因で一年の一月から二年の十月まで部活が活動停止したため、一番弓道ができる時にできなくなつてしまつた。特に入部前に楽しみにしていた合宿に行けなかつたことが残念だった。ただ、コロナによって三十三間堂の通し矢の開催が遅れ、その間に初段を取得し、通し矢に参加できたこと、高校の友達と弓道部員として写真を撮れたことは嬉しかった。研究室に配属された一月からは毎日が忙しくなり、弓道をする機会が無くなつてしまった。習慣として取り組む必要がある弓道を今する余裕はないが、いつかまた弓道をする時間を確保できる時が来れば再開したいと考えている。弓道に携わつた期間は二年と短かつたが、その中で出会つた人たちや、得た知識・経験を今後の人生に何か活かせるようにしたいと思う。

山本先輩へ

佐藤魁師

山本先輩、ご卒業おめでとうございます。山本先輩とのお別れがもう来てしまったのかと思うと少し寂しいです。この原稿を書く前に少しお昼寝をしておりますのでちょうど山本先輩と遭遇いたしました。山本先輩とは引退されてからなかなかお会いする機会がありませんでしたし、実際に部活動でかかわる機会が少なかつたように思われているかもしれませんが、夢に出てくるくらい山本先輩については鮮明に覚えております。

山本先輩を思い、まず出てくるのは引かれていた弓です。山本先輩は「特作弘心」を引かれていましたね。今や私は一文字シリーズの弓を引いています。元は私も弘心を引いていたのでその時のことを思い出して非常に懐かしく感じておりました。山本先輩が弘心から放つ矢はとてまかつこよかつたです。

山本先輩には特に文書局で大変お世話になりました。例会報の校閲から弓弦の作成に至るまで様々なアドバイスをいただき、第六十号の弓弦は大変良いものになりました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。弓弦を作成し終えた今よく考えてみると第六十三代では文書局員が四人もいたのに対して第六十二代では山本先輩お一人で文書局を回されていたことに驚きます。文書局の仕事の全貌は表に出ることはあまりないですが、四人でも相当大変だった文書局の業務をおひとりでごなしていたの

はずごいなと感じます。お疲れ様でした。

さてここまで山本先輩との思い出についていろいろ湧き出てきました。やはり一番すごいなと感じるのは薬学部であるにもかかわらず馬出から伊都道場に足を運ばれていたことでしょうか。仮に馬出に道場があつて私が伊都キャンパスから道場に通うことになつていたらバイクを持っていたとしても無理だったでしょう。山本先輩は風の強い日も雨の日でも関わらず練習の日は必ず道場にお越しになつていたと記憶しております。山本先輩が道場にいらつしやるその姿を見て私ももつと道場に來て練習しなければならぬなと思つた時が何度もあります。そのおかげで今の私があるといつても過言ではありません。本当にお疲れ様でした。

今年には山本先輩と道場でお会いすることがほとんどありませんでしたが、私は山本先輩と道場でお会いするのをいつでも楽しみにお待ちしております。ぜひまた道場に遊びにお越しください。最後になりましたが山本先輩のご多幸とさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

山本先輩へ

渡邊響

山本先輩、この度はご卒業おめでとうございます。

先輩と初めてお話ししたのは、部活後にご飯に連れて行って頂いた

時でした。入部したてでも緊張していましたが、山本先輩は話を振るのが本当に上手く、ご飯を食べ終えた時には同じテーブルに居た同期や先輩方とかなり馴染むことが出来ました。先輩のコミュニケーション力に圧倒された私は、その日以来先輩がどうやって後輩に話題をふっているか、密かに観察させて頂いていました。しかし、いざ自分が先輩とご飯に行くと話題をふるのは難しく、山本先輩のコミュニケーション力の高さを日々痛感しております。

また、先輩は薬学部に所属されていて、病院キャンパスから伊都キャンパスまで通うのは非常に大変だったと思います。そのような中でも、練習に行くだけでなく自主練習もされていて、先輩の弓道への熱意を感じておりました。後期入部ではありましたが、弟子入りもされ、真摯に弓道と向き合っている姿はとても印象的で、私も見習いたいと思っておりました。

二・三年生以降は文書局の仕事でも大変お世話になりました。二年生の時に例会報の業務を引き継いで以降、校正をしても気づけなかったミス指摘して頂いたことが何度もあり、本当に助かりました。弓弦作成を行うようになってからも、先輩には度々お世話になりました。私は文書局長として後輩を含め多くの文書局員に何度も助けて貰いながら、何とか弓弦を發行することが出来ました。弓弦を發行するまで、日々送られてくるメールや締切に常に追われている状態でした。これら大量の業務を一人でこなしていた山本先輩を思い、日々尊敬の念を募らせておりました。五十九号を發行してから、私の分なりにくい質問にいつも迅速に対応して頂き、本

当に助かりました。私も山本先輩のように、文書局の後輩に頼りにしてもらえように頑張りたいと思います。

末筆にはなりますが、山本先輩のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

山本先輩へ

仲築間未歩

山本先輩、この度はご卒業おめでとうございます。私が入部した際は二年生として紹介を受けました。私が入部した際、お会いしたのは十月頃だったかと思っております。毎日慣れないことの繰り返しで戸惑う私たちに、先輩は笑顔で優しく接してくださいました。先輩方と一緒に、ご飯に行つた時は、山本先輩がいる卓はいつも笑いに溢れていて、まるでこのように会話を弾ませる先輩の姿に感服したことを覚えております。道場でも先輩は、周囲の雰囲気をも明るくしてくださいました。新幹部披露コンパでは、私が少し丁寧に描けばよかったと後悔したものです。

そんな明るい先輩ですが、練習時はとてもひたむきに弓に向き合

っている姿が印象的でした。学業の合間を縫って練習されているにも関わらず、後輩にも同期にも熱心にご指導されているのを見て、私もこのような先輩にならなくてはと気が引き締まる思いでした。また、内務と文書局長、二つの役職を担い様々な苦勞があったかと思いますが、先輩は私たち後輩に大変そうな様子など少しも見せることなく、部のためにご尽力くださいました。先輩方の引退後は、前幹部の偉大さを実感する一年でした。私たちが先輩方のような幹部になれたとはお世辞にも言えません。先輩たちが築き上げたこの弓道部が、後輩たちによってより良い部となればいいと思います。三年間多くのことをご指導くださりありがとうございました。末筆ながら、山本先輩の今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

所感

齋藤瑠斗

四年間振り返るとあつという間で、多くの後悔や反省もありました。下記に後悔した事等を書いております。しかし先に述べさせていただきますと、楽しかった、充実していたという想いの方が強く、素敵な日々を過ごすことができたと思っております。関わってくださった方々に感謝しております。

小学生から高校生まで剣道をしていたため、大学でも武道をしたいと思いい、部活を探しました。それまでの人生でまったく縁のなか

った弓道が大学で出来ることを知り、剣道のような人を通して自分を磨いていく武道ではなく、的を通して自分を磨く弓道を経験するべく入部させていただきました。

初心者ということもあり、学ぶことは多く、毎日新しいことを知る日々が多かったです。先輩や同級生、後輩たちから教わる日々はとても楽しかったです。また練習を重ね、慣れていかなかったことに少しずつ慣れていくようになり、師匠や同級生たちの教えを実行できるようになっていく過程が楽しく、さらに頑張ろうという気持ちになりました。本当に仲間にも恵まれたと実感しています。私に指導してください、ありがとうございます。

3年生では、早気と的を見ずに離してしまうような射になってしまったことがとても残念でなりません。師匠や先輩方、同級生から教えていただいたことを最後まで成し遂げることができなかったことが心残りと同時に、師匠や先輩方、同級生に申し訳ない気持ちでいっぱいです。またコロナによる部活動停止や活動時間の縮小に伴って、会計としての対応が遅れたことは反省しております。活動がない中でも部員たちに部費を払わせることになってしまい、懸念を抱かれたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

上記のことを踏まえても、後輩たちに何かを残せるような立派な先輩ではありませんでしたが、私自身は先輩たちや同級生をはじめ、後輩たちと楽しく、真剣に弓道に取り組むことができて楽しかったと感じております。後輩の皆さんはコロナの影響を強く受けた学年

であり、合宿や遠征も思うようにできず、初めてのことばかりになつてしまいかもしれません。ですが、後ろから拝見していた私としては部員全員とても優秀な方達だと知っております。上から目線になつてしまつてすみませんが、ぜひ、お互い助け合いながら素敵な部活動生活を送ってください。部活の後に仲間たちと食べるご飯はさこいです。たくさん食べましょう。▲年間お世話になりました。素敵な学校生活を過ごすことができました。ありがとうございます。これからもどうか後悔のない素敵な学生生活を送ってください。応援しております。

齋藤先輩へ

吉光俊輔

齋藤先輩、この度はご卒業おめでとございます。

私が大学一年生の時から、齋藤先輩はとにかく優しい先輩という印象があります。私が大学一年生だった頃は、みなさんがご存知の通り性格面に難を抱え、かなりの問題児でしたが、そのような中でも齋藤先輩は私の事を優しく見守ってくださいました。この場を借りて過去の自分の行いについて謝罪をするともに、感謝の念を申し上げます。

また、齋藤先輩は六十二代の会計として、弓道部を裏から支えてくださっていたことにも感謝しております。例会で配られる会計報

告を見るたびに、弓道部の経費として動くお金の量に驚くと共に、そのお金の動きをきっちり与管理する会計の仕事につきましても、ただただ頭が上がりない気持ちでいます。齋藤先輩は理学部数学科にご所属でしたので、まさに先輩の得意とするところかと思えます。私は事務仕事や数学が非常に苦手ですので、この二つの分野をうまくこなすことが出来る先輩はとても羨ましく、憧れておりました。弓道部の活動以外のところでは、先輩方と行ったAmong usが記憶に残っています。ここでも齋藤先輩は優しさ全開の立ち回りをしておられ、六二代の先輩方と私たち六三代の交流が盛んになり、更に仲良くなるための一助となったことと思います。私も齋藤先輩の優しさを大いに見習い、人間として更に成長するために鋭意努力をしていく所存です。卒業された後も、もし時間ございましたら弓道部に顔を出していただけると幸いです。部員一同で心から歓迎いたします。

最後になりますが、齋藤先輩の今後のさらなる活躍を心からお祈り申し上げます。結びの言葉と致します。ご卒業、本当におめでとございます。

齋藤先輩へ

山本陽基

齋藤先輩、この度はご卒業おめでとうございます。また第六十二代会計としてのお努め、本当にお疲れ様でした。

「寒さに強い」、これが私が齋藤先輩に対して抱いた、最初の、そして最大の印象です。私は後期から部活動を始めましたが、その時から齋藤先輩は半袖だったと記憶しております。そして、そのまな年が暮れ、明けても、更衣室で半袖姿の齋藤先輩をお見かけした記憶がございます。私や周囲の人間などは、長袖を着るだけでは足らず、重ね着や重ね履きをしておりました。その一方での齋藤先輩のお姿は、非常に印象的でした。いつも自転車で道場まで通われていたこともあり、「風の子」とでも呼ぶべき齋藤先輩の元気さ、体の強さに感服しておりました。

また齋藤先輩は第六十二代会計として、コロナ禍での活動というイレギュラーの中でも、丁寧かつ柔軟にお仕事をされておりました。私は度々部費を滞納してしまっており、申し訳ないと思うと同時に、常に丁寧に報告や部費の回収をこなす齋藤先輩のお姿を拝見して、敬服していた次第であります。さらに齋藤先輩が達成された特筆すべき偉業として、部費の引き下げを挙げさせていただきたく存じます。具体的には、当時ひと月当たり二千円だった部費を、千五百円に引き下げることが齋藤先輩が提案され、それが見事受け入れられたという出来事です。齋藤先輩はコロナ禍における弓道部のキャッ

シユフローを注意深く観察され、そこから五百円であれば部費を引き下げても部の活動に支障はないという判断をされました。私が感銘を受けましたのは、前任者が経験していないことでも対応する柔軟性と、部員の懐事情を思いやる齋藤先輩の真心です。こうした能力や思いやり、先に述べました体の強さは、齋藤先輩の魅力であり、また大きな武器でもあると感じております。

最後にはなりますが、私は齋藤先輩が大学を卒業された後も、人から必要とされ、社会で成功されると確信しております。どうかご自愛くださいませ。四年間、本当にお疲れ様でした。

齋藤先輩へ

千綿晃史郎

齋藤先輩、この度はご卒業おめでとうございます。

私が齋藤先輩に抱いた初めての印象は、「クレヨンしんちゃん先輩」でした。私がまだ道場を訪れて数回目のときに、当時の二年生・三年生の先輩方に初めてご飯に連れて行っていただきました。今は無きジョイフル福岡田尻店にて、同席した齋藤先輩はその時もクレヨンしんちゃんの洋服を着ながらアニメを視聴していて、今思えば出しても大変インパクトのある出会いだったと感じております。そんな齋藤先輩には一年生で会計補佐に任命されてから、大変面倒を見ていただくようになりました。仕事の相談をすることも多く、

特に会計になってから、春の各種提出資料の作成の際や、会計報告の時期などは多くの質問をさせていただきました。就活等でお忙しい時期だったと思いますが、毎回丁寧で気遣いのある返答をしていただいたおかげで、そうした会計の山場も乗り越えることができました。と思っております。また、例会後の部費等の回収の際も、手伝いや困ったことがないかといつも声をかけてくださり、実際に何度もご助力していただきました。何気ないことだったのかもしれませんが、こうしてご自分の仕事もある中で他人にも気を遣える先輩はともかくこいと思っておりますし、尊敬しています。

私はクレヨンしんちゃんを愛する齋藤先輩も、私のような後輩へ気遣いのできる齋藤等先輩も好きです。卒業後、社会人となり新たな環境に身を置くことと存じますが、ご多忙な中でも齋藤先輩らしい趣味と思いやりを大事にしてください。

末筆ながら、齋藤先輩の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

所感

上間日那向

2020年の一月頃のことである。大変奇妙な時期に九州大学弓道部に入部した私は馴染むことができるか不安を大きく抱えていたが、同期をはじめとして先輩方は快く私を受け入れてくれた。この場を借りて同期と先輩方には感謝の意を申し上げます。私が入部し

てすぐに新型コロナウイルスが流行したために、学内の道場は使うことができず、一年次に参加できた練習はわずか数回であった。その貴重な回数のうち一回、自主練習に道場へ足を運んだ際には当時は親しくもなかった田中晴仁先輩と二人きりになり、お互いに無言のまま練習を続けた気まずくてカオスな状況も今となってはいい思い出なのかもしれない。

二年次になっても道場が使用できない状況は変わらず、博多の森弓道場まで國久保君と足を運んでいた。体配もままならなかった当時の私は、一歩歩くたびに博多の森弓道場のご年配の方から”多くの”指導を賜り、射場内の数メートルを進むのに30分以上かかったものである。

2022年度は状況も回復に向かい、対面試合が再び多く開催されるようになった。幸いにも、福岡県学生弓道大会団体優勝・七大戦団体優勝に微力ながらも貢献することができ、段位参段取得・県個人4位(母数が少ないのは内緒)、とまあ辛うじて「何の成果も!!!得られませんでした!!!」とはならない大学弓道生活であった。今だから言えることだが、最高学年としてのプレッシャーはかなりのものだった。私が三年次だった時の四年次の先輩方は文字通り“先輩”であり、誰からも慕われ、弓においても申し分ない知識と技術と面倒見の良さを持っていた。ほぼ大学3年から弓を始めたとはいえ、後輩に知識や技術指導を多く行えなかったのは誠に遺憾に思う。特に、最後の全九前にはスランプに陥り、先輩として振る舞えなかった自分には今では怒りさえ覚える。本当に申し訳ない。ごめんな

さい。

そんな過去の自分にアドバイスできるなら、^②つ言いたいことがある。「一つ目が、「自分の中のコンセプトは常に持て」ということだ。調子が崩れ、大事な引退試合を前にして私は焦りを覚え、弓の引き方に迷いがあった。そのために、^①、^③ヶ月あつても的中率が向上することはなかったのだろうと。私の場合は、弓道教本や道場内に保管されている多くの教材をベースにした中村先生の射がコンセプトである。もちろん他のコンセプトがあつてもいいと思う。自分の中でそれを揺るぎないものとして持つていけば、的中不信に陥つた際でも、それを信じ続けていればきつと路頭に迷うことなく弓を引き続けられたと思う。^④一つ目が、「もつと勝ちにこだわること」である。趣味、軽い運動で弓を引くのも悪くない。だが、我々がやっているのは弓道ではなく「学生弓道」であり、スポーツなのだと私は思っている。28メートル先にある的に他の人よりちよつと中たるからと言って生涯年収が増えるわけではない。社会的には何の意味も成さない。だからこそ、試合の中で勝ちにこだわり、勝つて学生弓道史に「九州大学弓道部」の名を残す必要がある。長期的にでも、短期的にでも、常に目標を持つて何かと戦つたほうが精神的にも技術的にも向上すると思う。勝ちにこだわることからこそ、何かをやり切つた時、いい思い出だったなと振り返ることができるピースが増えるんだと思う。^⑤一つ目が、「文字化け袴は穿くな」だ。ご存じの通り私の袴の名前の欄には「漣湍→漣九→漣九↓」と記載されている(これは某^⑥先輩から譲り受けたものなので私の名では無

い)。文字化けさせておいても特にメリットはない。後輩や他校から名前を覚えられにくくなり、「文字化け袴の人」としか呼ばれなくなる。そしてただ刺繍屋に迷惑をかけるだけである。まさか後輩にも自分の名を文字化けさせようなどと考える人はいないだろう。別に社会人になって弓を引くわけではないが、別に今後例会に参加したりすることなんてないが、「コンセプト」と「勝ちへのこだわり」(と「文字化け注意」)はこれからの原動力としても自分の中に残しておきたい。

少し長々と書いてしまったが、^⑦年次でたつた一人だけ残つた私が引退試合の全九まで続けられたのは紛れもなく後輩のおかげです。本当にありがとう。楽しい弓道人生でした。

末筆ながら、たとえ追い込まれたとしても、どんだけコッカラツスと思えるかどうかだと思えますので、コッカラツスを頭の片隅にでもしまいながら頑張つてほしい。九州大学弓道部の皆様のごからの活躍をお祈り申し上げます。

上間先輩へ

新田健人

上間先輩、この度はご卒業おめでとうございます。

先輩の第一印象は「熱血な人」でした。弓道に対してとても熱心で誰よりも勝ちたいという気迫が感じられました。それは今でも変

わっていませんし、四年生になられてからはより大人びた熱血な人になっていると感じます。実際、先輩のそのような一面に勇気づけられることも多くて、頻繁にアドバイスや激励の言葉をいただけて励まされたことも多かったです。また、私がいつ自主練習に行っても大体先に練習されていていつも驚かされたことを覚えています。たまに先輩より先に自主練習に行くこともあったのですが、私が引き始めたくらいで自主練習にいらっしやっついてすごく弓道が好きなんだと言うことが伝わってきました。ぜひ卒業した後も弓道を極めていってください。他にも同じOB局長という面でも色々世話になりました。正直、二年生から入ってOB局長という先輩方と関わる仕事に就くことが想定外でわからないことが多かったのですが、先輩に聞くとすぐに丁寧を教えてくださり毎回すごく感謝していました。新年射会が無事に行えたのも先輩が丁寧に教えてくれたからだと思います。今年は私が教える立場になりますが、全然わからないことだらけなので卒業後も連絡させていただくと思います。社会人になってもそのような持ち前の熱血さと器用さでたくさんの人を引っ張ってあげてください。

私は弓道にひたむきなところや責任を持って仕事をする先輩をととても尊敬しています。これから新しい環境に身を置くことになると思いますが、弓道部でも四年間を思い出して頑張ってください。最後になりますが、上間先輩のご多幸と更なるご活躍をお祈り申し上げます。

上間先輩へ

田中竣也

上間先輩、この度はご卒業おめでとうございます。

二年生から入部し、一年生なのか二年生なのかあやふやな状態ではじめていない私に初めて、射場で指導をしてくれたのが上間先輩でした。指導していただいた直後に先輩が大学から弓道を始めたというのを聞いて、とても驚いたことを覚えています。

部活の練習時間以外でも多くの時間を弓道に費やし、誰よりも弓道に対する探求心を持つ先輩は、あまり練習をしていない私にも、分け隔てなく何度も指導をしてくださり、そのたびにもう一度頑張ろうと前向きな気持ちになりました。

また、先輩にはコンパ局長のことでもお世話になりました。本来、コンパ局長である私がお店を探し、決めなければならぬところを、雰囲気の良い居酒屋を紹介してくれたり、コンパの日程大丈夫？と声をかけてくれたり、コンパの度に助言を頂きました。先輩の面倒見の良さを見習って、これからは自分が後輩をサポートしていく立場になりたいです。

三年ほど先輩と関わっていく中で、先輩の印象は私の中で大きく変わりました。最初はパリピで近寄りがたい人だと思っていましたが、時間がたつにつれ、先輩は自分自身のことにとストイックで、何事に対しても素直で、前向きな方だという印象になりました。そん

な先輩だからこそ、コロナ過という練習状況においても、あそこまでの結果を残せたのではないかと思えます。社会人になっても、持ち前の性格を生かし、これからもっといろんな人に尊敬されるようになっていく先輩と、もっと多くの時間をともに過ごしたかったです。

これから社会人となり、活躍される先輩には、弓道をする時間はあまりないかもしれませんが、ぜひ弓道が続けてほしいです。そして、またお会いできた際には、弓道の話で盛り上がりましょう。

最後になりますが、今までありがとうございます。上間先輩のご健勝をお祈り申し上げます。

上間先輩へ

中島佑太

上間先輩、ご卒業おめでとございます。

一年生の時、遅れて部活に合流して戸惑っていた私に一番初めに声をかけてくださったのが上間先輩でした。あの時は本当にほっとしたことを覚えています。

先輩とは部活の時だけでなく、部活動以外の時間でもとてもお世話になりました。一番印象に残っていることといえば、やはり一緒に原付を買いにわざわざ北九州まで行っていただいたことです。人の買い物のためにバイクで三時間もかけて連れて行ってくれる

人を私は先輩意外に知りません。あの時の往復六時間で先輩のことをさらに知ることが出来た気がします。

また、弓道に関しては四年生まで精力的に活動を続けられ、大会でも良い成績を残されてきました。大会だけでなく、その前の練習から気迫のこもった練習をされていて部活全体に良い影響を与えてくださったと思います。例会や班対抗リーグなどで同じチームで引いたという印象があるのですが、先輩と同じチームで引いたとき、私の中ではいつもより良かったように感じます。

三年ほど一緒に弓道をしてきて先輩の印象は「負けず嫌い」「ストイック」「行動力」などです。大学から弓道を始められたとは思えないほど中っているのを見て、先輩のストイックさを知りました。また、いろんなお話を聞いて行動力があるなども感じました。私にはないところがたくさんあって尊敬しています。そのストイックさと行動力があれば大抵はどんなことでも成し遂げられると思うので、これから先の先輩の人生がどうなるのか楽しみです。

大学を卒業されてからは弓道をされないかもしれませんが、個人的には続けてほしいと思っています。いつか一緒に弓を引ける機会があればうれしいです。

三年間本当にありがとうございます。上間先輩の益々のご活躍をお祈りしております。

【部員投稿】

○新幹部

鳥の風切り

第六十四代主将 兵藤凌央

鳥は飛行機と違いエンジンを持ちませんが、どのようにして空を飛ぶのでしょうか。植物は動物のように歩くことはできませんが、どのようにしてその分布範囲を広げるのでしょうか。国土の4分の1が海拔0メートル以下にあるオランダは、蒸気機関や電気のない時代に、どのようにして洪水や水没を乗り越えてきたのでしょうか。これらの問題には様々な要因や原理が絡んでいますが、答えの根底にはすべて「風」があります。

鳥や虫、飛行機など、空を飛ぶものはみんな翼(羽)を持っています。飛行の方法によってその形状や使い方は異なりますが、鳥にとって大切なのは風切羽(かざきりばね、かざきりば)という構造です。翼後方に整列する風切羽は向かい風を捉え、重力と反対向きの力である揚力を得ます。また、翼を下ろす際に空気を押し返すことで、進行方向への推進力を生みだします。これが飛行機で言うエンジンの代わりになるわけです。このように、翼を広げて捉えた向かい風を揚力と推進力に変換することで、鳥は飛行しているのです。毎年、春になると花粉症が大変騒がれます。これは、スギやイネ科の植物が風を利用して花粉を運ぶことが原因です。こういった植

物を風媒花といいます。運動性のない植物は、風の力によって繁栄してきました。

オランダ、もといネーデルラントは、低地という意味です。そのうえ海と隣接するため、昔から水害を多く経験してきました。しかし、風車の発明により、風の力で水を汲み上げ排水することが可能になったのです。技術が発展した今でも、干拓用だけでなく観光名物として、国に追い風をもたらしています。

これらの例を通して私が言いたいことは、人生には「風」が必要であるということです。風は私たちを取り巻く空気の流れであり、私たちの周りに起こる出来事です。家族や仲間の声であり、社会や世界の息です。秋の代替わりを経て、私には部をまとめる責任やリーダーシップが、今まで以上に要求されるようになりました。この役割は思っていた以上に難しいものです。いろいろな方向から、いろいろな強さの風が吹きます。しかし、向かい風だからといって、めげてはいけません。その風に立ち向かうことできつと強くなることでしよう。強い風だからといって、調子に乗ってはいけません。きつとさらに会が短くなることでしよう。どんな向きの風も、どんな強さの風も、捉え方次第では成長の機会なのです。鳥が風を切りどこまでも飛んでいくように、部全体がより高く遠くへと羽ばたけることを願い日々努力してまいります。

次に出会う大きな風は、やはり春風でしょう。出会いや別れ、決意など、この風が私のどこを撫でていくかはまだ分かりません。しかし、ひとつだけ確かなことがあります。それは、はるかぜとともに

にやってくる『星のカービィ』、『ドラッグス』です。十年以上前の作品が蘇りました。私と同年代であれば、きっとあなたの心にもこの風が届くはずですよ。

嗚呼、介添

第六十四代男子副将 和田宏之介

介添とは難しいものである。選手一人一人の射がどのようなかを把握し、どうすれば的中へと繋げることが出来るかを立中と考え、選手に伝えなければならぬ。そのため責任が伴う仕事であると私は思う。

904

これは私が昨年度に行われた大会で介添をした大体の本数である。なにより恐ろしいのは、この半分はたった4日間の本数で占められることである。

今までの介添としての自分を振り返ると出来の悪い介添であったと思う。曖昧なアドバイス、同じ内容の繰り返しばかりで何度選手の方々を混乱させたことか。そんな経験の浅い自分からのコメントをしつかり聞いてくれた方、その上で質問を返してくれた方、君が疲れた時、僕が近寄るだけで笑顔になってくれた吉田くん、ありがとうございます。それでも指名し続けてくれてありがとうございます。

そこで、今回は介添を沢山経験した私なりに思う介添テクニクを記そうと思う。

其の一『普段から人の射を見るべし』

これは当たり前ですね、次。

其の二『思ったこと迷わず言うべし』

これは意外とできないんです。今まで何度ひよったことか。特に先輩方にコメントする時はめっちゃくちゃ思うのです。ほんとに怖いんです。

しかし、あなた自身が今まで培った弓道の知識や普段からその人の射を見て感じていることを基に導かれたものなら何かしらの人のためになると思います。選手はそれを取捨選択してしっかりと取り入れてくれると思います。がんばれ。

其の三『空気読むべし』

これまじ大事ですね。迷わず言うべしとか言ったけどこれは守ってください。TPO?的な大事ですまじ。

これは介添をやる人だけが守ることではないと思います。観客席から試合を見てそれから言う人、大会後に結果を見て言う人、普段の練習の中で何か言う人へ、

余計なこと言っていないですか???????

余計なこと言ったことありませんか???????

私も選手として、他者に余計なこと言われて内心少々ブチ切れしたことが多々あります。これを読んだ方、何か選手にコメントする時は一度内容を頭の中で整理して、これ余計じゃないかなあとか、今話しかけない方がいいよなあとか少し考えて発言してみてください。

言葉には重みあるとよく言われますが、確かに振り返るとすぐそうだな思います。私に優しい言葉をかけていただいた方々、ありがとうございました。そして、これまで私の言葉で不快に思われた方すみませんでした。過去の自分含め、心当たりのある方は今なら間に合います、今、悔い改めるのです。誰かを幸せにしないと自分も幸せになれないからな、的なことを **ONEOK ROCK** の Taka さんも言っていました。

これから自分を含め介添をやる方、この三つを守れば多分大体何とかなります、多分。これからも介添 **LIFE 楽しんで** 頑張ってくださいませよう。指名お待ちしております。

そして、個人的な目標としては、残りほんの少ししかない弓道生活を満喫すると共に、尊敬する鳥羽周作氏のように料理のできるおいしいパスタが作れる男の子になりたいです。あと弟子と一緒に活躍していきたいです。

※これらは全て個人の感想です。

※効果には個人差があり、効果を保証するものではありません。

実行するのが大事

第六十四代女子副将 大下佳穂

弓道に限らず何かを学ぶにあたって、教えていただいたことを吟味し、取捨選択することは大切である。しかし、弟子入りするにあたり、師匠が言ったことを100パーセント聞いて実行しようとするのも同じかそれ以上に大切だ。というのも、部分的に言われたことを実践しても、師匠のイメージする理想の結果とずれるからだ。馬手に限らず弓手も、肩に限らず胴造りも、そして弓のことに限らず頂いたアドバイスは記憶の限り聞いて可能な限り実践すべきである。そして春休み入りたての現在、私は師匠に半年近く言われ続けているこの言葉を実践しようと考えている。

「大下は…私生活を何とかしなさい！」

何度かもう分からない程頂いたアドバイスであり、部分的には他の先輩、何なら同輩にも頂いたことのあるアドバイスである。師匠が中的のためには弓道以外のことも大切にすべしとよくおっしゃっているのに対し、現在の私はテスト勉強を言い訳に24時間の中に一日が2〜3回ある生活サイクルで、食事を摂ったかどうかはあまり覚えていない。改めて振り返ってみると、お前中てる気あるんか？ というような有様である。そこで春休みの目標として生活リズムの安定と、健康な食事を摂ることを設定しようと思う。

まず、生活サイクルの安定についてである。これについて考えた時、私の師匠の師匠のツイートを思い出した。

第六十四代主務 前田宗伯

趣味を通して思ったこと

「早起きは三文の徳というが、早起きできてる自分すごいっていう圧倒的自己肯定感が得られるので、一両ぐらい得してると思う」

これを見ると、自己肯定感はメンタルの安定にもつながることから、心・体両面で早起きは非常に的の中に影響を及ぼすようだ。これからは正練時の起床時間である7時を私の起床時間目標とし、24時間が一日となる生活サイクルをつくってほしいと思う。

次に、食事についてである。これに関しては伝え聞いただけではあるが、私の師匠の師匠の話思い出した。弓道のために体のどこにどの程度筋肉がつくのが適切かを判断したうえで栄養学を学び、自分の体をつくっていたという。正直今の自分はこの筋肉をどの程度使っているかも怪しいので、栄養学に手を出す以前の問題ではあるが、弓を引くための体をつくるのは大切なことであるのは変わらない。少なくともゼリー飲料でつくるものではないはずだ。ひとまず一日三食食べることに、一日の中で野菜とタンパク質を多少は摂ることを目標とする。

以上二つの目標を達成できるように努力する。最後に、私の健康を案じてお声がけくださった皆様、手料理をふるまってくくださった先輩、女子の食事を案じて管理表を作ってくださいくださった先輩、誠にありがとうございました。頑張ります。

この場でセンスのあふれる文章を書くのはどうやら難しそうなので、私の趣味の話しようと思う。私は高校生の頃、バレーボール部に所属していた。そのせいもあってかバレーボールの観戦が高校のころからの私の趣味の一つである。高校一年生の時にはわざわざ東京まで足を運び、春高バレーを見に行ったほどだ。私の所謂推しの高校は熊本の鎮西高校である。この高校は全国でも屈指の強豪校であり、全国大会の常連校である。今年の春高では毎試合決勝戦かと思うほど、全国の強豪と接戦を繰り広げていた。特に、準決勝の対東山高校戦は激アツであった。エースの舂本が得点をもぎ取っていくのは圧巻であった。舂本もとんでもない選手であるには間違いないが、私の一番の推しのプレイヤーは彼ではない(こんなことを言うのも失礼だが)。私があこがれる選手は荒尾怜音選手だ。彼はリベロの選手であるが試合の中で存在感をひときわ放っている。当時のエースであった水町泰杜選手とともに鎮西高校を勝利に導いている。彼はプレーでもメンタル面としても守護神であったと取材を読んで感じた。そんな姿に同じ高校生として強い憧れを抱いたことを今でも覚えている。

ここで少し弓道のことを踏まえると立や練習において私も彼のような縁の下の力持ち的な存在になりたいと思う。主務という役職もせつかく務めさせていただいていることですし。運営でも射の面

でもみんなを支えられるようになりたいと思った。まだまだ至らぬことが多すぎますが。まずは自分ができる努力をやつていこうという気持ちだ。守護神とまではいかなくてもいざというときに可能な限りみんなの力になれるような人間になりたいというのが私の今の目標である。私には人を引き付けるような魅力もカリスマもない。凡人らしく一つ一つ石を積み重ねるような作業を続けていくしかないと思うし、続けていきたいと思う。

呼吸するということ

第六十四代内務 松山実音

人間誰しも生きていけば呼吸をする。しかしながら、呼吸は私を苦しめ続ける呪縛であることもまた確かである。それは何故か？ 答えは非常に単純明快だ。そう、眼鏡のレンズが自分の吐いた息で曇るのだ。私は普段は裸眼で過ごしているものの、講義中や細かい作業中には眼鏡を掛ける。本来ならば眼鏡を掛けた瞬間クリアな視界が広がるはずなのだが、その期待も虚しく眼前はホワイトアウト。そんなことを毎冬繰り返し返している。

体温に近い温度の呼気に対して、冬の気温は10℃以下になることもめずらしくない。呼気に含まれる水蒸気が外気に触れることで急激に温度が低下した結果水滴へと変化して、同じく外気によって冷やされたレンズに付着するというのが眼鏡が曇る原理である

が、そのメカニズムを知ったところで自然法則に対して私になす術はない。所詮人間は自然現象には勝てないのだと、人間という存在の矮小さを嫌でもその身に思い知らされる。しかしここで黙って眼鏡のレンズを白く曇らせたままでは人類の敗北である。人類はその歴史の中で叡智を結集させ、眼鏡の曇り止めシートや曇り止めジェルなるものを開発してきたではないか。「眼鏡 曇り止め」と検索するとトップに「眼鏡用曇り止めおすすめも選」という記事が挙がることから人間は眼鏡の曇り止めに心血を注いでいることは一目瞭然である。藁にも縋る思いで私は早速とある一品を購入し、心躍らせながら講義中に曇り止めを施した眼鏡を掛けたものの、その甲斐もなく視界が白く染まった際には思わず溜息が零れた（溜息がまたレンズを白く曇らせた）。結局はレンズを曇らさないようにうまく工夫して呼吸するしかないのだ。

そう、すべてにおいて大事なものは呼吸である。弓道においてもそれは同様だ。射法八節どの動作をとつても息合いを考えることが必要となり、それが的中をも左右するという話も聞く。私は呼吸が浅く会で息が止まってしまうため、今後の練習の中で自分に適した呼吸法を見つけていきたいと感じている。

今日、BUMP OF CHICKENのライブに行ってきた。マリネットセ福岡A館で行われた。あいにくの雨で、この日のために温めておいたおニューのコラボスニーカーがめちゃくちゃに汚れて少し萎えている。あと普通に靴擦れがすごくて泣いている。

私はBUMP OF CHICKENというバンドが好きだ。理由は様々あるが、その中で最も大きいものは、歌詞の完成度の高さである。このバンドの作詞はほとんどボーカルの藤原基央によるものだ。この人書く唄には、私たちが抱えている孤独や未熟さを一度優しく抱きしめ、それから前へ進んでいけるよう背中を押してくれるものが多い。例えば、『何回迷ったっていいさ 血の跡を辿り 戻ればいいさ 目標なんか 無くていいさ 気付けば 後から付いてくる可能性という名の道が 幾つも伸びてるせいで 散々 迷いながらどこへでも行けるんだ』という歌詞である。これはダイヤモンドという曲の一部分である。この曲は2000年9月に発売されたものであるため、大変古い。しかしファンの間ではいまだに最高傑作のひとつとして知られている。私もこの曲には何度も救われている。

また、藤原さんが書く歌詞には、他のアーティストの曲では聞けないような独特なものもある。例えば『色褪せて霞んでいく記憶の中 ただひとつ 思い出せる 忘れられたままの花』や、『折れることなく揺れる 揺るぎない信念だろう』、『消えそうなくらい輝い

てて 触れようと手を伸ばしてみた』といった歌詞である。前半の二つはハルジオンという曲の一部分で、もう一つはプラネタリアムの一部分である。こういった歌詞に独特さを感じるのには、文面上は矛盾しているようにしか見えないものであるからだろう。しかし、この1フレーズ1フレーズに大切な意味がある。もし興味があったらぜひその意味について調べてみてほしい。また最近の曲では、アカシアの『透明よりも綺麗な あの輝きを確かめにいこう』そうやって始まったんだよ たまに忘れるほど強い理由』なども一見矛盾しているように見える歌詞である。

さて、ここまで私の好きなバンドについてたくさん語ったが、私が弓道が続けられている理由は、このBUMP OF CHICKENに出会えたからである。私は身体的にも精神的にも弓道などのスポーツには一切向いてないだろう。たまに的中たると嬉しいというくらいの情性でやっていることが割とある。しかしたまに藤原さんの歌詞を思い出し、背中を押されて少しやる気が出る時がある。その連鎖で今までぎりぎり弓道をやめないうた。そして今回初めてライブに行つて、過去一前向きな気持ちでいる。どうせあと一年もないんだし、最後まで全力で頑張ってみるかといった感じである。

的中率で一番になるとか、何かの大会で優勝するとかそういう大それたことは言えないが、せめて多少の戦力にはなつてやるくらい気持ちでこれからも努力していこうと思う。

自由投稿

小島功太郎

今年も弓弦作成の時期がやって来てしまった。弓弦の一、二年投稿の内容は、「弓道になるべく触れるような内容で、自由にエッセイを書く」とされている。去年の作成時も思っていたのだが、「自由」という題は一番難しいと感じる。自由が一番難しい、というのは、よく聞く例でいうと、晩御飯のおかずが何がよいかを聞かれた時に「何でも良い」と言われ、何を作ればよいのか分からずに困る、というものと同じであると思う。つまり、「自由」というものは、どこまで行けば良いのかが分からないから困るのである。広辞苑によると自由とは、「①心のままであること。思う通り。②一般的には、責任をもつて何かをすることに障害（束縛・強制など）がないこと。自由は一定の前提条件の上で成立しているから、無条件的な絶対の自由は人間にはない。この意味での自由は、自然・社会の法則の認識を通じて実現される。」とされている。つまり、「自由」とは、何のしがらみにも囚われていない状態を意味するのではなく、土台となる共通の認識の上で保障されるものである。

確かに、弓道においても、弓の引き方は射法八節によって規定されており、足踏み、胴造り、弓構え、打起こし、引分け、会、離れ、残心の八節が土台となっている。その他にも、立ち方や座り方、歩き方といった所作にも規定がある。これらの規定が存在することにより、一連の動きが揃って美しく見えるのである。そのため、弓道

において、弓や矢といった道具を選ぶ自由は存在するが、自分の思うままに振る舞う「自由」は許されていないのである。

しかし、弓弦にはそのような厳しい規定はない。あくまで「自由」にエッセイを書くように言われているのである。この場合、かの人類と巨人達の壮絶な戦いを描いたダークファンタジーにおいて、主人公達が巨人を全滅させ、初めて海を見た時に、海に向こうにいる敵を全て倒せば自分たちは自由になれるのか、と言う場面と似ている。もともと、巨人こそが自分たちにとつての最大の敵であると思つていた主人公たちにとつて、その巨人たちを送り込んでいた真の敵が存在すると知った時、どこまで進めば自分たちは自由になれるのかという戸惑いは必至だったのであろう。では、この弓弦の原稿を作成している現在における「自由」とは、どこまで行けば辿り着くことができるのか。自由投稿とは、どのような内容の文章を書くことで成立するのか。その答えは今なのである。文章を書き終えた「今」こそが自由なのである。

これからの挑戦

斎藤悠真

毎年、体感時間が短くなつていくのを感じます。今年で成人してしまつたのだと思うと、とても感慨深いものです

2022年。今年は、何を為したか。

弓道においては、一つだけ誇りに思える成果を残せました。指宿大会で、メンタルの作り方に成功し、ともすれば自分の実力以上の成果を出せたように思います。この経験を、ほんの少しの自信と、これからの糧として活かしていきたい、そう思える程でした。しかし、心残りもあります。せつかく日本の北の端から進学し、日本の南の端まで試合に行ったというのに、未だ九州のことをろくに知りません。

宿での風呂も、時間がなかったこと、そして色に抵抗を覚え、結局指宿で体感した温泉は足湯のみ…、このままで良いのでしょうか。もっと、様々なことをしてみたいものです。

今年は、保守的になりました。授業を受け、課題と部活に息切れし、家に帰ればスマホ片手にぐーたらと。さて何か刺激がなければ、骨まで溶けてしまいそうですね。

今年始めたいこと、まずは九州巡りです。行ったことがあるのはそれこそ、修学旅行で太宰府、長崎を廻った程度。南部は指宿に大会に行った程度。とても住んでいるとは思えません。

日常生活においては、料理に挑戦してみようと思います。

今でも簡単なものは作っていますが、もう少し、凝ったものを作りたいですね。それこそ白飯がいくらでも食べられそうですね。

料理をする時の片付けがとにかく面倒なのです。女子射会に差し入れを作った時も、料理そのものより片付けが面倒で引き延ばし、作り始めたのが深夜からでした。(結果、作り終えて爆睡してしまい、散々な弄られようでしたね。今思い出してもお恥ずかしい限り

です…)

普段からもつと慣れていけば、テキパキと動き、睡眠時間を確保できたのでは無いかと、反省です。

旅行と、料理。この二つを、今年は挑戦していきたいと思います。弓道も今年が最後ですので、先の大会の結果がまぐれ当たりで終わらせ無い様に、励んでいきます。

資さんうどんが弓道に与える弊害

吉田たくみ

ご存じの方も多いとは思いますが私は現在資さんうどんという超有名うどん店で夜勤のバイトをしている。基本のシフトは22:00であり、たまに23:00の時もある。3時まで働くときは、次の日朝から部活があっても基本的には大丈夫である。問題は5時までのシフトの時である。このときは次の日に練習がある時高確率で遅刻する。確率でいうと7割、いや、9割は遅刻しているだろう。それで一日弓を引けない日も多々ある。弓道の時間をたくさん取りたくて始めた夜勤のせいで弓道ができないのは何という皮肉だろうか。この遅刻が原因で試合に出られなくなったこともある。当時は、心から反省したが今となつてはいい思い出である。資さんうどんのバイトを辞めたいと思わないと言ったらうそになるが次のバイト先を見つ

けるのも新しいことを覚えるのも面倒くさいので、結局このままズブズの関係になるだろう。

しかし、生きていくうえで新しいことを受け入れずに行くのは無理なことである。わかりやすい例でいうと2月20日で11周年を迎える「PUZZLE & DRAGONS」というスマホゲームである。もともとパズドラのキャラは最高2つの属性しか持ち合わせていなかった。今回のアップデートで新たに第3属性というものが追加された。これは主属性の攻撃力の5%分の攻撃力を持ち合わせている。全然火力が出ないじゃないかと思われることだろう。しかし安心してほしい。昨今のパズドラはインフレが進んでおり簡単にカンスト値が出るのである。まことに面白いゲームである。ただこの第3属性は名前とは裏腹に攻撃の順番は2番目なのである。なんとも面白い仕様であり、このことは全国のパズドラの中で話題になった。

11周年で待ち望んでいることはほかにもある。コラボである。やはり11周年にもなると大型のコラボが期待される。それは僕だけでなく全人類が待ち望んでいることだろう。ここで10周年の大型コラボを思い返してみよう。それは「HUNTER×HUNTER」の約7年ぶりの復刻開催であった。これは大盛り上がりであった。しかし僕はハンターハンターについて知らなかったのであまり盛り上がりはなかった。ただここで大事なのは復刻コラボがあるということだ。パズドラが過去行ったコラボの中で一番復刻が望まれるのはやはり「ドラゴンボール」に違いない。最後に開催されたのは2015年の春である。ぜひ来てほしいコラボである。しかし、僕が心の底

の底から望んでいるコラボはもちろん言わなくても分かるだろう。そう、「NARUTO」である。私は今までゲームに課金をしてこなかった。それはなぜか。そう、NARUTOコラボでバカみたいに課金をするからである。全キャラを集めるのは当たり前のことだし、それぞれ30体ずつ集めていきたいと思っている。NARUTOは一番面白い漫画といっても過言ではない。本当にコラボしてくれたら僕は発狂しないだろうか、いや、するに違いない。

この願いがパズドラのプロデューサーである山本大介氏に届くことを心から願っている。

おもいで

吉野竜平

私は幸運にも第六十四代の文書局長に任命された。いやはや、なんと幸運なことであろうか。歓喜のあまり言葉が出ない。とても名誉なことである。元々文書局員であった私の優秀さを認めて下さったのか。将又、私以外には任せられないと思って下さったのか。任命して下さった第六十四代主将になんて御礼を申し上げたらいいか分からない。感謝の言葉が見つからないので感謝のコブシを主将にぶちかまして、御礼の言葉(物理)とさせていただけようと思います。

~~~~~閑話休題~~~~~



さて、一番重要なことはもう書いた。ここからは真面目に書いていこうと思う。いや、ほんと。マジで。

大学での弓道生活も早く二年が経った。去年度は試合のほとんどがオンラインで合宿もなかった。とても味気ない一年であった。今年度は去年度と比べて某コロナも収まり、対面での試合も復活してきた。合宿も再開する予定で計画が進んでいる。非常に喜ばしい。今年度は弓道部でいろんな思い出が出来た。

例えば、後輩ができた。先輩としての自覚が必要になった。そして部活を運営していく代となり、やるべき仕事が増えた。

例えば、九大祭があった。四年ぶりの開催で、「糸島金だこ」を開いた。たこ焼きを作るのは難しかったけど、それ以上にみんなでお店を経営した経験が楽しく感じた。

例えば、新人戦指宿大会。部活全体で目指していた射技優秀校に選ばせていただきました。とても光栄であります。

文書局長を経験させていただいたのもいい思い出となった。例会報や弓弦の作成で得られた経験は、今後の私の糧となり、血肉となり、どこかで活かせることでしょう。弓弦作成でお世話になった皆様に深く感謝したいと思います。ありがとうございます。

挙げ出すときりがないのでここまでにしよと思う。思い返してみても充実した一年を過ごせた。満足である。弓道部だけでもたくさんの人と関わりを持ち、大勢の人と友情を育めた。

私の実家の近くでは、毎年三月になるとコブシの花がきれいに咲いている場所があつてよく花見に行っていた。コブシはモクレン科の白くきれいな花で、三月から四月にかけて開花し早春を告げる花として有名である。とてもいい香りがしてお気に入りの花なのである。最近調べて知ったことなのだが、花言葉は「友情」らしい。なんだあ。主将をなぐるにはちょうどいい花ではないか。

引退する人のことを考えると、私たちの代の最後の年でもある。私は第六十四代のみんなが好きだ。九大弓道部のみんなが好きだ。残りの時間でもっといい思い出を作つて、楽しもうと思う。

ポッチ・ザ・弓

劉洵楷

「Be the first to the range, Be the last to leave! —Mike Schloesser (World Champion in compound bow archery. In2013, 2014 and 2018) Mr. perfect in 2021

これが自分が弓を始めてから気になった一句である。「朝一練習しに来て、夜一練習を終えて帰る」の意味であった。誰でもたまーに一日くらい道場においてそれを達成したかもしれないが、それをやり続けることが(あくまでも競技の面で)上達への早道だと思った。

私みたいな初心者、特に今まで弓を扱うこともなかったど素人が、この四年間（或いは三年間）で、如何にこの経験者ばかりの大学弓道で結果を残せるかが自分にとつての最大目標である。実際に、令和四年の終わり頃から上間先輩に弟子入りをし、初めて教わった事も「数を引け」というごく簡単な重複作業だった。しかし、それを一か月やり続けると、案外うまくいった、もちろん、それは正しい射の運行の下で果たした数の話。そして令和四年の夏頃から成果が少しずつ見えてきて、試合に出られるようになった。この一年間を振り返ってみると、自分の成長の速さは正に正練などがない日の始まりと終わりを書く回数多さに直結するものだ。

しかしながら、その過程も正にポツチな道だった。朝九時始まり書いて、誰も来ないの的を何個も付け、とてつもない速さで一ターン終了、矢取りをし、まだ一ターン：大体誰かが来るまえ既に四、五十本は引けた状態になった。そして朝一のエネルギーの源であるモンスターカレドブルを摂取し、それからちよこちよこ道場に姿を現した人と立をやり、昼食、夕食を想像するタイムをはさみながらずっと道場に居続けた。時には誰も来ない日もある、最初の頃はでっかい道場で一人でつまらないと感じたが、今はすっかり複数的を独り占めできる爽快感を楽しんでいる。

ポツチ感の正体は、時には弓をする時の孤独感でもある。打起しから自分の世界に入り、離れまで身の回りではしゃいでいる人が気にならなかったが、いざ射位から出てくると、周りの歓談する声が一気に襲い掛かってくる。日本語を短時間で大量を処理しきれない

ままの自分の脳が一瞬で OVER HEAT し、何の言葉も発せなくなつた。その誰に何を言えたいか分からない感覚と周りの場のはしゃいでいる雰囲気と関わりたい感覚が衝突した。そして当然のように何とかして自分の話を整理して話す前に話の話題が変わつた：結局何も言えずに練習が終わつた：

でもその孤独感の中で、いつも出口が残されている、そう！ 弓を引くんだ！ 引き分けから離れの数秒間、私は私である、雑念もない、外部世界への関心もない、ただ自分と弓と矢との勝負は如何に私を魅了するのだろう。ポツチになつたら弓を引く、孤独を感じたら弓を引く、そして上手くなる：虚無感と向き合いながら：

一年を通して、弓について学び、弓から学んだことは本当に数え切れないほどあるが、一番の醍醐味はやっぱ孤独と向き合う精神だった。道具、そして技術についてこの二年間で感じたことはまた今度で話そう。その時には、自分は今もとうまくなっているだろう。

（多分）

—— 完 ——

## ○新入生

### 天皇杯

第六十五代一・二年責任者 外山裕基

おもしろいことがしたい。と思い大学生生活を送っている。今回の弓弦でも面白い文章を書こうと思った。時間を有効活用するために、という内容でブラックホールの話と絡めようか、高校生の頃にハマった、座禅のことについて話そうか、と考えてみたがイマイチで、何も思いつかなかった。だから今回は振り切って、私の弓道への熱意を思い切りぶつけてみようと思う。

天皇杯に出たい。私が弓道が続けることの大きなモチベーションになっている。私が弓道を始めたのは、中学生からである。弓道を始めた理由は、かめはめ波にあこがれたからだと思う。小学生のころ、ドラゴンボールを見たことがある人ならば、誰しも一度はやったことがあるであろう、かめはめ波を打てないかと試行錯誤することを、私も例にもれず、したことがある。しかし、まだ齢十歳ほどの小学生の私には、物理法則を捻じ曲げることではできるはずもなく（年齢何歳であろうとできないと思うが）、かめはめ波は打てなかった。そこで見つけたのが弓道である。今では、始めたころの気持ちは微塵もないが、中学校から始めて、7年間も続けてしまった弓道を何の成果もなしで終えることはできないと思っている。弓道をここまで続けてきて、ドラゴンボールへの憧れから、本当の弓道の恰

好良さに憧れをもつようになった動画がある。それが、2016年の天皇杯の小原裕幸選手の射である。無駄な力がなく、キレイキレイで、特に残身に惹かれた。だから、どうせ成果を残すなら天皇杯で結果を残したい。あの弓道の恰好良さを凝縮したような会場で、大きな残身を決めてみたい。九大には、超えていきたいと思う先輩がたくさんいる。その先輩たちを超えて、天皇杯に向けて、加速する大学弓道にしていきたい。

### 一年生をおえての感想

第六十五代一・二年副将 松下飛海

陳腐な言葉ではあるが、一年生の時間はあっという間に過ぎ去った。もうすでに部活動で一番活躍できる二年生が始まるうとしている。朱熹も、このようになんとなく考え事をしているときに、光陰矢の如し、と思ったのかもしれない。

弓道は、精神面を大事にする。他のスポーツと比べてもこの傾向がひどく強いと思う。精神面と自身のパフォーマンスに強固なつながりを見出す。ゆえに、パフォーマンスの低下がしばしば精神面での反省を射手に強力に促す。精神面の反省は行き過ぎれば、人格の否定などパワハラとか呼ばれるものになる。射手自身だけでなくその周りの人も射手に対して精神面を語る人が多い弓道界では、自身の言動に気を付けなければと思う。

そもそも、他のスポーツでは、クスリでキマってるやつや、暴行

の罪を犯すやつが世界トップのプロ選手だったりするわけで、精神面が美しいからパフォーマンスが向上するとは言い切れなさそうだ。むしろ逆で、技術が高いからこそ、その人に精神面での良さを求めているのではないか。こんな鶏が先か、卵が先か、ごとき話はどうでもよい。弓道においては、射技と精神の両方が円熟した状態が理想であり、片方が欠けてもダメで、ゆえに両方が求められる。

技術の高い者は人の上に立つ。目上の人が屑なのはいやだ。技術は肉体とつながりが深く、老化が進めば技術も必ず衰える。もし、技術の習熟に精神の成熟が伴っていないければ、衰えたあとのみつともないだけだ。しかし、精神が成熟していれば、技術が衰えても気品がのこる。

弓道は伝統的だ。私はしばしばこの伝統によって思考が止まる。なんとなく、そういうものだからと、よく考えれば気づく、ともすればうすうす気づいている可笑しい部分から目をそらす。弓道は伝統的で、そういうものだから、そういうのが正しい。伝統は硬直している。しかし、変化がなければ発展もない。それに、伝統とは少なからず我々が作り出したものである。それなのに、思考を硬直させるとは、私は大学で、文学部で、一体なにを学んでいるのか。

弓道で学んだこと

第六十五代副務 下地恭太

弓道の門戸を叩いてもうすぐ一年が経とうとしている。まだまだ分からないことだらけで、大変なことでも多々あるが、それなりに成長を実感しながら、日々楽しく弓道に取り組んでいる。

私がこの一年で学んだことは大きく二つある。まず一つ目は基本の大切さだ。弓道では射法八節のように矢を中てる過程に基本となる明確な手本が存在しており、いかに癖のない基本に忠実な射ができるかが的中を求めるにあたって大切になる。そして何よりも驚きなのがこの弓道というスポーツでは筋力があまり重要視されないということだ。私の今までのスポーツ観だと多くのスポーツでは技術はなくてもフィジカルによって足りない部分を補完することが可能、その逆もまたしかりと考えていた。しかし私は弓道と出会ってその考えを根本から覆された。私が弓道を本格的に始めてまず思ったことは「なんだこのテクニク超重視のスポーツは！」である。かのビスケット・オリバでも弓道ではそうそう的中を出すことにはできないだろう。

私が弓道で学んだことの二つ目は精神面の重要性だ。弓道では筋力があまり必要ない代わりに強靱な精神力が求められる。私はカイジやデスノート、ライアーゲームといった心理戦の漫画は結構読んでいたので、精神面にはそこそこ自信があったのだが、2月16日現在、未だ皆中を出せていないことを考えると精神面はまだまだ未

熟なのだろう。また、私は一本中てるだけで未だにとめどない喜びを感じ、ニヤニヤを抑えることができない。とくに立ち中などは感情の起伏がより激しくなってしまうそれが少なからず的に影響しているように感じる。技術面はそれなりに様にはなってきたが、精神面はかなり改善の余地があるだろう。

この一年はことあるごとに初心者ということを理由にしてきたがそれもそろそろ終わりにしなければならぬ。二年生では更なる技術の向上、そして精神面の改善を意識して頑張っていきたい。

## 無我の境地

第六十五代会計補佐 高瀬圭哉

高校、大学と合わせて僕が弓道部に入って四年が過ぎた。ここでは僕が弓道部で経験してきたこと、そこから僕が考えたことについて書こうと思う。

高校で弓道部に入ろうと思ったのは中学生のころから弓に何となくのあこがれを持っていたからだ。弓道部に入ってから数か月間は徒手やゴム弓の練習、筋トレばかりで、思っていたのと違うと思っていた。僕の高校ではゴム弓試験というものがあり、合格しないと弓を持つことができなかった。合格し、素引きの期間を終えて実際に的前で引けるようになったのは十二月、今思えばよく八か月も我慢できたと思う。的前で引くようになってからは、弓を引け

るのがうれしくて、淡々と引き続けていた。だんだんと当たるようになり、二年の十月には最高潮になった。会がなくても当たるようになった。数校が集まり合同で練習したときの成績が良かった。調子に乗り早気になった。三年目は早気で思っていたように引けず、辛かった。大学で早気は治ったが、いまだに弓道がよくわからない。高校では体の仕組みや、何が悪くて引きづらいのかを考えることがなく、自分の感覚と友達からもらったアドバイスを弓を引いていたため、他人の射を見て何が違うのかなどがわからない。もつと言えれば弓を引いているときは何も考えられていないのかもしれない。これは無我の境地というものなのだろうか。弓道にとどまらず、日常生活でも何も考えていないかもしれない。だから、最終バスを逃したり、車の中に一万円札を忘れたりするのもかもしれない。まずこれからの目標は弓道で自分の射がどんなものか考えていくことから始めようと思う。なんとなくだけで引くのはもう卒業したい。試合にでて、当て続けられるようにこれからの弓道を頑張ろうと思う。

## 僕の忍耐力

第六十五代会計補佐 中島啓輔

弓道を初めてもう半年以上がたった。高校に弓道部すらなく、知り合いに弓道している人などいなかった自分が、大学でこんなにも弓を引くことになるのは、高校生や浪人していた当時の自分は予想

しなかつただろう。今こうして弓道をできているのも、浪人時代に通った某北〇州予備校のおかげだと思う。弓道について語れるほど経験も知識もないので今回は、北〇備について語っていききたいと思う。

まず、北予〇でのスケジュールを見ていこう。北〇備の授業は、週五日あり土日は休みだがまじめな予〇備生は基本予備校に自習をしに行く。もちろん祝日などはない。4月から7月の1学期は体育大会など楽しい行事などあるのだが、私が通っていた時期はコロナの影響でなくなり、ただ3か月間授業をして終わった。そして1学期、夏期講習を乗り越えた後、待ちに待ったリフレッシュウィークが訪れる。なんとこのリフレッシュウィークは1週間もあるのだ。自習室も開いてないので、ここで本番までの体力を養わなければならない。

次に、授業の様子を見ていこう。〇予備生の朝は8時20分の0限から始まり最大で12限目の21時40分まで続く。1限毎は40分で、合間に10分の休憩がある。また、北〇備はタイムカードを導入しており、朝登校して8限目の17時30分までは授業がなくとも下校できず勉強することができる(させられる)。授業の内容自体は有名予備校だけあってどの講師の授業も分かりやすく、合間に挟む雑談も面白かった。しかし、癖の強い講師も多く、授業中に肘をついただけで教室を追い出され直接謝るまで授業に出られなかつた生徒もいた。

まだまだ北〇備について語りたことはあるがただの愚痴にな

ってしまうので、この辺で終わっておこうと思う。確かに当時はきつく、その1年の記憶は飛んではいるが、そのおかげで忍耐力はつき、今良い環境で生活できているのは〇予備のおかげである。この北予〇に通って身についたことも、弓道に活かせるようにこれからも精進していきたい。

## 学問分野以外における勉強の有意性

宇都宮啓太

勉強には様々な価値があります。それはテストでいい点が取れるだとか友達に自慢できるといった学校の中での話だけではなく学問分野以外の部活などでも活かせる価値です。私は弓道部という活動の中でそれを深く感じました。弓道というのは動きがとても少ないため少しの動きが矢飛びに大きく影響します。そのため体の構造や弓の構造を知るだけでなく重力や風の抵抗などの物理学をも弓道に用いることが出来ます。また段位を取得する際には筆記試験があるのは勿論ですが審査体配を正確に記憶する必要がありますが欠かせません。このように何事も突き詰めていけば勉強は否応なく必要になってくるととても感じます。

ところで弓道と聞くと多くの人々は何を感じるでしょうか。私のようなゲーム好きさんは弓道といえば弓であり弓といえば「トラ

「イストリンガー」なのです。私はアルバイト戦士なのでスプラトゥーン「のサーモンランについて考察していきたいと思います。」

トライストリンガーは三つの矢を同時に飛ばすという弓道をしている身としては意味の分からない武器です。無チャージで $6.0 \times 3$ 、半チャージで $7.5.0 \times 3$ フルチャージで $150.0 \times 3$ のダメージを出すことができ、チャージ時間は $9F \sim 72F$ (一周 $30F$ )( $1F \approx 0.27$ 秒)、DPS  $310.3 \sim 300.0 \sim 342.9$ 、インク消費 $3.0\% \sim 4.0\% \sim 7.5\%$ 、全インク消費時の総ダメージは $3960 \sim 5625 \sim 5850$ となります。(範囲があるのはチャージ時間によってダメージなどが変わるため。)(<https://wiki.wiki.jp/splatoon3mix> 2023年2月13日) これを踏まえたうえでシャケたちの体力を見て立ち回りを考えると通常ウエーブ(昼)では体力 $400$ のドスコイの間引きと体力 $300$ のバクダ処理、遠距離でありチャージにそこまで時間がかからないことを鑑みると体力 $1200$ のテツキユウ処理を重点的に意識することが必要です。また特殊ウエーブ(夜)のラッシュでは少しチャージしダメージを $50$ 以上にしたうえで体力 $50$ の狂暴化シャケを処理、グリルではスタンに $400$ 以上のダメージが必要なためフルチャージを一発当て、グリルを止めることを意識することが必要です。

前半では部活と勉強を絡めて考えましたがそれはゲームにも同じことが言えます。ゲームの中の弓矢の多くは重力に概ね沿った運動をするため重力の存在を常に意識するべきであり、敵の処理をする際にも何をどれだけ当てれば敵は倒れるのか考えると同じ時間の中でもより効率的に物事を進めることが出来ます。

勉強というものは自分の知らない概念、考えを知ること、今をより上手に楽しく生きることのできる武器だと思えます。大昔の人々は敵を倒すための武器として弓を手に取りましたが今の私たちはそれを自分を磨くために用いることが出来ます。私はこれからも勉強という武器と弓という自分を磨くための道具を持ってこれからも弓道にまっすぐ取り組んでいきたいです。

これまでの弓道人生を振り返って

菅田晃仁

弓道始めて五年が経とうとしている。今一度、自分の弓道人生を振り返ってみたいと思う。

私は高校から弓道始めた。それまではずっと野球を続けていたのだが、中学野球部では部内でいざこざがあつて部内崩壊していたこともあり、三年の中総体の結果は惨憺たるものであった。そこで当時の私は、高校ではもう部活に入るまいと心に決めた。しかし、友人達に半ば強引に連れて行かされた弓道部の体験入部で、弓を引く先輩方の姿を見て自分も弓を引いてみたいと思い、勢いでその場で入部届を書き上げた。徒手やゴム弓、素引き、巻き藁を終え、初めての前立に立ったのは夏休みの終わりも近い八月末。あの時の、初めての前で弓を引いた時の興奮は今でも覚えている。勢いそのまま私は部活に打ち込んだ。矢数も一番多かつたし、弓道関連の書籍を

片っ端から読み込んだ。審査も一度も落ちることなく、二年の夏には二段まで進んだ。何もかもが順調に進んでいるように思えた。しかし高二の冬、コロナの流行で三カ月ほど全く活動がなくなった。一番楽しみにしていた冬合宿や春合宿も中止となった。三年の五月頃から少しずつ活動が再開されたが、もはや弓道の熱は冷めきっており、プライベートで部員と遊ぶことはあっても全く部活に顔を出さなくなった。そこから弓道からは離れる一方だった。受験期は勉強に集中するため弓を引くことはできなかったし、一年の浪人を挟んだため大学に入り弓道を再開するまでの二年弱は全く弓に触れることはなかった。

今の私は初心者頃ののように弓道と真剣に向き合えているのだろうか？高校時代と違い、刺激や誘惑の多い大学では、どうしても他のことに心が動いてしまう。弓道を始めた頃の熱狂は今や冷め、明確な理由も持たず、言ってしまうえば惰性で入部した弓道部。長期休みは自主練に全然行かず、一カ月以上弓を引いていないなんてこともあった。四月から二年生となり後輩も入部してくる。今こそ初心に立ち返り、弓道と向き合っていきたいと考えている。



令和四年度 弓道部会計報告  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[収入の部]

|          |           |
|----------|-----------|
| 前年度繰越金   | 2,843,716 |
| 学生後援会助成金 | 188,900   |
| 松陰弓友会支援金 | 250,000   |
| 寄付       | 30,000    |
| 部費       | 793,500   |
| 備品代回収費   | 156,824   |
| 弓弦広告     | 133,180   |
| 入部金      | 11,000    |
| 立替金返済    | 1,517,540 |
| 雑収入      | 54,113    |
| 計        | 5,978,773 |

[支出の部]

|            |           |
|------------|-----------|
| 備品購入費      | 251,584   |
| 試合参加費      | 236,260   |
| 試合広告費      | 346,000   |
| 連盟費        | 54,400    |
| 公認団体分担金    | 151,750   |
| 文書局・OB局関係費 | 173,625   |
| 主務関連費      | 2,324     |
| 補助         | 588,647   |
| 雑費         | 376,966   |
| 立替金        | 1,508,730 |
| 計          | 5,839,286 |

内訳

[試合参加費]

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 第66回西日本学生弓道選手権大会  | 44,000  |
| 第70回全日本学生弓道選手権大会  | 69,400  |
| 第60回九州学生弓道選手権大会   | 70,500  |
| 第58回九州学生弓道新人戦指宿大会 | 36,000  |
| 第60回福岡県女子弓道大会     | 16,360  |
| 計                 | 236,260 |

[立替金]

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 第66回西日本学生弓道選手権大会 交通・宿泊費 | 594,676   |
| 第70回全日本学生弓道選手権大会 交通・宿泊費 | 755,324   |
| 春季審査 受審料・登録料            | 95,800    |
| 秋季審査 受審料                | 41,930    |
| 福岡地区弓道連盟部員登録費           | 21,000    |
| 計                       | 1,508,730 |

[連盟費]

|               |        |
|---------------|--------|
| 福岡地区弓道連盟会費    | 5,000  |
| 福岡県学生弓道連盟会費   | 5,000  |
| 全日本学生弓道連盟連盟費  | 10,000 |
| 九州学生弓道連盟部員登録費 | 34,400 |
| 計             | 54,400 |

[文書局・OB局関係費]

|         |         |
|---------|---------|
| 弓弦印刷送付代 | 116,358 |
| その他     | 57,267  |
| 計       | 173,625 |

[補助]

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 遠征補助               | 539,075 |
| 令和3年度新幹部披露コンパ贈呈品補助 | 49,572  |
| 計                  | 588,647 |

上記の通り、会計報告いたします。

第64代会計  
松韻弓友会 幹事長

渡部 功大  
中村 拓三

## 九州大学松韻弓友会会則

東京、大阪、福岡

### 第一章 総則

### 第二章 会 員

#### 第一条(名 称)

本会は、九州大学松韻弓友会と称する。

#### 第五条 (会 員)

本会は、次の者をもって構成する。

#### 第二条(目的)

本会は、会員相互の親睦交流及び母校弓道部の援助後援を図ることを目的とする。

- (1) 九州大学弓道部卒業生
- (2) 理事会の承認を得た者

#### 第三条(事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

#### 第六条 (名誉会員)

- (1) 会員親睦行事

本会は次の者を名誉会員とすることができる。

- (2) 母校弓道部への寄付
- (3) 会員名簿の発行

- (1) 九州大学弓道部歴代弓道部長および歴代師範
- (2) 理事会の承認を得た者

- (4) 『弓弦』の編集作業を学生と共同で行う
- (5) 会報の発行

### 第三章 総 会

- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

#### 第七条 (通常総会)

本会は、毎年一回会長が招集して通常総会を開催する。  
通常総会は、次の事項を審議決定する。

#### 第四条 (所在地(拠点))

本会は、本部を福岡市西区元岡744番地九州大学弓道部に置く。

- 2. 本会は、次の地区に支部を設けることができる。  
九州、四国、中国、関西、中部、関東、東北、北海道、

- (1) 予算及び決算に関する事項
- (2) 役員の選任、会則の制定及び変更に関する事項
- (3) 本会の運営に関する事項

#### 第八条 (臨時総会)

会長または理事会が必要と認めたととき、または会員の四分の一の開催請求があつた場合、臨時総会を開くことができる。

#### 第九条 (総会の議決)

総会の議決は出席会員の過半数による。

### 第四章 役員

#### 第一〇条 (役員)

本会に次の役員を置く。

会長一名、副会長若干名、理事若干名

2. 役員は総会にて会員のうちより選出され、任期は二年とする。ただし、重任を妨げない。

3. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、

その職務を

代行する。理事は、理事会を構成し、本会運営上の重

要事項を審

議決定する。

#### 第一一条 (理事会)

理事会は会長、副会長、理事をもって構成し、本会運営上

の重要事項を審議決定する。

### 第五章 会計

#### 第十二条 (会計年度)

本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終わる。

#### 第十三条 (経費)

本会の経費は、会員の会費、寄付金その他の収入をもつてこれに

充てる。

#### 第十四条 (会費)

会員の会費は、理事会の定める規定による。

#### 第十五条 (寄付金)

寄付金は、理事会の定める規定による。

### 第六章 会則の変更

#### 第十六条 (会則の変更)

会則の変更は総会の議決による。

### 附則

#### 第一条 (会費、寄付金規定)

1. 会費は、一人年額三千円とする。

2. 会費は、年に一回徴収する。
3. 名誉会員および終身会員は会費を免除する。
4. 必要に応じて臨時経費を徴収することができる。
5. 会員およびこの会の趣旨に賛同する者は寄付をすることができ。
6. この規定は、理事会の議により変更することができる。

## 第二条 (会誌の配布)

1. 原則として前年度の会費の納入者には会誌を配布する。
2. 前項に関わらず、名誉会員及び終身会員には会誌を配布する。

平成二十二年四月一日 制定

平成二十九年四月一日 改定

令和4年度 松韻弓友会役員紹介

会長

山口 政俊（昭和四十六年卒）

本部副会長

中村 幸一（昭和四十六年卒）学生指導担当

本部副会長

松浪 榮（昭和五十三年卒）競技担当

本部副会長

吉田 隆一（昭和四十八年卒）関東支部代表

本部幹事長

中村 拓三（昭和四十六年卒）総務・財務担当（会計担当兼務）

## 2022年度 松韻弓友会 監査報告

(2022年04月01日～2023年03月31日)

### 【収入】

| 項目    | 金額(円)     | 備考     |
|-------|-----------|--------|
| 前年度繰越 | 493,550   |        |
| 会費    | 447,000   | 153名   |
| 寄付    | 346,000   | 80名    |
| 雑収入   | 43,870    | 繰越し調整金 |
|       |           |        |
| 収入合計  | 1,330,420 |        |

### 【支出】

| 項目       | 金額      | 備考                 |
|----------|---------|--------------------|
| 九大弓道部補助金 | 250,000 |                    |
| 支部補助金    | 50,000  | 関東支部               |
| 通信・印刷費   | 148,711 | 活動報告等 印刷・送付(キンコーズ) |
| 指導関連費    | 10,620  |                    |
| 会議費      | 3,600   |                    |
| 事務費      | 36,734  |                    |
| 交際費      | 30,000  |                    |
| 交通費      | 1,680   |                    |
| 雑費       | 0       |                    |
| 各種手数料    | 21,173  | 払込・振込等             |
| 支出合計     | 552,518 |                    |

**【次期繰越金】 777,902 円**

上記のとおり報告いたします

2023年4月1日

会計

中村 拓三 

上記のとおり相違ありません

2023年4月1日

会計監査

深牧 大 

## 2022年度会計報告

| 2022年度決算(円) |           |           | 2023年度予算(案)(円) |        |           |         |            |
|-------------|-----------|-----------|----------------|--------|-----------|---------|------------|
|             | 項目        | 金額        | 備考             |        | 項目        | 金額      | 備考         |
| 収<br>入      | 前年度繰越     | 493,550   |                | 収<br>入 | 前年度繰越     | 777,902 |            |
|             | 会費        | 447,000   | 153名           |        | 会費        | 330,000 | 130名       |
|             | 寄付        | 346,000   | 80名            |        | 寄付        | 250,000 | 60名        |
|             | 雑収入       | 43,870    | 前年繰越し調整        |        | 雑収入       | 0       |            |
| ①           | 計         | 1,330,420 |                | 計      | 1,357,902 |         |            |
| 支<br>出      | 九大弓道部補助金  | 250,000   |                | 支<br>出 | 九大弓道部補助金  | 250,000 | 2023年度分    |
|             | 支部補助金     | 50,000    | 関東支部           |        | 支部補助金費    | 50,000  | 関東支部2023度分 |
|             | 会員親睦会補助金  | 0         |                |        | 会員親睦会補助金  | 100,000 | 各地での親睦会へ補助 |
|             | 通信・印刷費    | 148,711   | 活動報告等印刷・送付外注   |        | 通信・印刷費    | 36,500  | 総会案内等印刷・送付 |
|             | 指導関連費     | 10,620    |                |        | 指導関連費     | 50,000  | 交通費、手土産含む  |
|             | 会議費       | 3,600     | 役員会            |        | 会議費       | 200,000 | 総会・役員会等    |
|             | 事務費       | 36,734    | 用紙、インク、封筒、ハガキ  |        | 事務費       | 30,000  | 用紙、インク、封筒等 |
|             | 交際費       | 30,000    | コンパ出席2人        |        | 交際費       | 50,000  | 親善射会等      |
|             | 交通費       | 1,680     | タクシー           |        | 交通費       | 10,000  |            |
|             | 雑費        | 0         |                |        | 雑費        | 10,000  |            |
|             | 手数料等      | 21,173    | 払込、振込等         |        | 手数料等      | 20,000  |            |
| ②           | 計         | 552,518   |                | 予備費    | 551,402   |         |            |
|             | 差引(次年度繰越) | 777,902   | ①-②            | 計      | 1,357,902 |         |            |

|              |         |   |
|--------------|---------|---|
| ゆうちょ銀行総合口座残高 | 700,045 | 円 |
| ゆうちょ銀行振替口座残高 | 77,857  | 円 |
| 現金           | 0       | 円 |
|              | 777,902 | 円 |

## 2022年度事業報告

| 開催日        | 行 事                       | 主 催    |
|------------|---------------------------|--------|
| 2022年6月11日 | 関東支部総会、懇親会 対面及びリモート開催     | 関東支部   |
| 2022年6月下旬頃 | 本部総会、懇親会 コロナ感染症対策で中止      | 本部     |
| 2022年9月下旬頃 | 福岡地区三大学親善OB射会 コロナ感染症対策で中止 | 本部     |
| 2023年1月2日  | 新年射会、新年会                  | 弓道部 本部 |
|            |                           |        |
|            |                           |        |

## 2023年度事業計画

| 開催日        | 行 事           | 主 催    |
|------------|---------------|--------|
| 2023年6月中旬頃 | 関東支部総会、懇親会    | 関東支部   |
| 2023年6月下旬頃 | 本部総会、懇親会      | 本部     |
| 2023年9月下旬頃 | 福岡地区三大学親善OB射会 | 本部     |
| 2024年1月2日  | 新年射会、新年会      | 弓道部 本部 |
|            |               |        |



## 2022年度会費納入者一覧

\* 寄付を頂きました    \*\* 終身会員、名誉会員

お気づきの点は松韻弓友会幹事長に問い合わせください

|    |     |       |     |      |     |     |   |
|----|-----|-------|-----|------|-----|-----|---|
| 川崎 | 優   | 赤松    | 宏一  | 台信   | 雄一郎 | *   |   |
| 坂本 | 洋志恵 | 市川    | 正隆  | 白坂   | 繁   | *   |   |
| 吉田 | 敦紀  | 洪田    | 康憲  | 深牧   | 大   | *   |   |
| 秋本 | 清志  | 永沼    | 久仁  | 本島   | 靖文  | *   |   |
| 川原 | 泰宏  | * 西本  | 寛治  | * 土橋 | 和之  | *   |   |
| 竹内 | 克己  | 永野    | 哲郎  | 山口   | 政俊  |     |   |
| 山口 | 瑛司  | 大住    | 峻市  | *    | 黒田  | 尚宏  |   |
| 井上 | 美公  | * 尾辻  | 秀孝  |      | 佐藤  | 普賢  | * |
| 岩元 | 節子  | * 許斐  | 裕丈  | *    | 佐藤  | 桂子  | * |
| 大住 | 峻市  | 坂本    | 龍吉  |      | 末永  | 勇作  | * |
| 中島 | 義郎  | * 坂本  | 弘子  | *    | 渡辺  | 孝道  | * |
| 中野 | 干治  | 新家    | 淑雄  | *    | 中本  | 弘治  | * |
| 原田 | 孝   | * 高野  | 清房  |      | 坂本  | 洋志恵 |   |
| 真島 | 裕子  | 竹内    | 克己  |      | 吉田  | 亮太  | * |
| 新家 | 淑雄  | * 恒富  | 邦彦  | *    | 関   | 秀徳  |   |
| 永沼 | 久仁  | * 西本  | 豊樹  | *    | 川崎  | 優   |   |
| 山崎 | 正法  | * 宮崎  | 尚介  | *    | 西島  | 直行  |   |
| 牛尾 | 弘子  | * 森   | 和彦  |      | 牛尾  | 弘子  | * |
| 西島 | 直行  | 伊東    | 暢雄  |      | 中村  | 幸一  | * |
| 永尾 | 宏臣  | 岩元    | 節子  |      | 上野  | しのぶ | * |
| 上野 | 祥彦  | * 上野  | 祥彦  | *    | 田中  | 宏輔  |   |
| 台信 | 雄一郎 | * 大塚  | 節夫  |      | 杉尾  | 賢二  |   |
| 麻生 | 圭介  | 小野    | 航一郎 | *    | 山口  | 瑛司  |   |
| 阿南 | 真太郎 | * 角山  | 正典  | *    | 岩崎  | 誠司  |   |
| 久恒 | 政雄  | 久保田   | 行雄  | **   | 小島  | 浩章  | * |
| 黒田 | 尚宏  | 関     | 千鶴  |      | 藤本  | 有紀  |   |
| 崎山 | 邦彦  | * 中   | 時雄  |      | 永尾  | 宏臣  |   |
| 上野 | しのぶ | * 中尾  | 彰浩  | *    | 森井  | 伸夫  | * |
| 吉富 | 博則  | * 中島  | 義郎  |      | 木村  | 欽一  | * |
| 佐藤 | 普賢  | * 蓮尾  | 徹夫  |      | 村山  | 博美  | * |
| 佐藤 | 桂子  | * 原田  | 孝   | *    | 安吉  | 寿美子 |   |
| 藤本 | 有紀  | * 平塚  | 強一  | *    | 山本  | 恭久  |   |
| 中本 | 孝治  | * 藤本  | 勝政  |      | 原田  | 勝史  | * |
| 西本 | 寛治  | * 向江  | 富士夫 |      | 金子  | 歩   | * |
| 八谷 | 滋   | 安武    | 昭典  | *    | 上田  | 恒久  | * |
| 長友 | 啓喜  | * 山口  | 文武  |      |     |     |   |
| 大和 | 洋正  | 吉本    | 広志  |      |     |     |   |
| 吉嶺 | 暢嗣  | 板部    | 克喜  |      |     |     |   |
| 古賀 | 康憲  | * 橋本  | 憲仁  | *    |     |     |   |
| 水城 | 俊   | * 日和佐 | 章一  |      |     |     |   |
| 小島 | 浩章  | * 本郷  | 寅男  | **   |     |     |   |
| 土橋 | 和之  | * 大草  | 一樹  |      |     |     |   |
| 仲里 | 貞義  | * 中川  | 智水  |      |     |     |   |
| 山本 | 恭久  | 中野    | 千治  |      |     |     |   |
| 南里 | 豪志  | * 加藤  | 芳弘  |      |     |     |   |
| 松浪 | 榮   | * 八谷  | 滋   |      |     |     |   |
| 下村 | 智子  | * 真島  | 裕子  |      |     |     |   |
| 関  | 秀徳  | 岩永    | 貴史  |      |     |     |   |
| 志手 | 俊二  | 山本    | 孝徳  |      |     |     |   |
| 三浦 | 晃代  | * 志手  | 俊二  |      |     |     |   |
| 岡村 | 耕二  | * 中村  | 拓三  | *    |     |     |   |
| 大貝 | 高士  | 中村    | 恵子  | *    |     |     |   |
| 岡部 | 健司  | 桃崎    | 悦子  |      |     |     |   |
| 湯田 | 幹治  | 山崎    | 正法  |      |     |     |   |
| 久永 | 光司  | 吉田    | 敦紀  |      |     |     |   |
| 原田 | 勝史  | * 古賀  | 康憲  | *    |     |     |   |
| 安吉 | 寿美子 | 西山    | 裕治  |      |     |     |   |
| 緒方 | 英彰  | * 宮前  | 利宏  |      |     |     |   |
| 中村 | 伊伸  | * 山口  | 賢二  | *    |     |     |   |

# 九州大学弓道部部則（傍線Ⅱ改定箇所）

## 第一章 名称

第一条 本部は、九州大学弓道部と称する。

## 第二章 目的

第二条 本部は弓道により心身を鍛錬し、団体生活を通じて部員相互の親睦を図り、ひいては本部自身の発展に寄与する事を目的とする。

## 第三章 部員

第三条 本部の部員は九州大学に籍を置く正式の学生で、かつ、他のサークルに属さない者に限る。ただし、幹部及び役員以外の部員で、幹部の承認を得た者については、この限りでない。

第四条 部員は総会その他において入部後直ちに議決権を有する。

第五条 最終学年にあるものは、新しく部員たることを得ない。

第六条 部員は次に掲げる場合には幹部の勧告を受け、これに従

わざるときはその資格を失う。

一 部費を三ヶ月以上滞納した場合

二 練習を正当な理由無く一ヶ月間怠った場合

三 例会に連続二回正当な理由の届け出なく欠席した場合

第七条 部員は本部則を守り、幹部及び役員への指示に従わなければならない。

第八条 部員は道場では、禁酒、禁煙を厳守しなければならない。

第九条 部員は本部を退部する場合、退部届を主将に手渡しし、未納の部費、備品購入費を会計に納入しなければならない。

## 第四章 幹部及び役員

第一〇条 本部には幹部及び役員を置く。幹部とは次に掲げる

一、二、三、四及び五を云い、役員とは六、七、八及び九を云う。

一 主将

二 副将

三 主務

四 副務

五 会計

六 一、二年責任者

七 一、二年副将

八 副務

九 会計補佐

第一条 新主将は旧主将がこれを推薦し総部員の過半数の賛成を必要とする。

第二条 副将、主務、副務及び会計は新主将がこれを指名し部員の承認を得なければならない。

第三条 新役員は幹部及び旧伊都主将がこれを指名し部員の承認を得なければならない。

第四条 削除

第五条 幹部は一月の定例総会で次期幹部を決定する。幹部の任期は二月より翌年の一月までとし、役員の任期は十月より翌年の九月までとする。

## 第五章 文書局及びOB局

第一六条 本部には第九条に規定する幹部及び役員のほか、文書局及びOB局を置く。文書局の長は文書局長とし、OB局の長はOB局長とする。ただし、文書局は会誌の編集、OB局はOBとの連絡を主な任務とし、その他幹部の委嘱に基づき、幹部と相協力してこれを行う。

第一七条 新文書局長及び新OB局長は新幹部がこれを推薦し、新文書局員は新文書局長がこれを指名し、並びに新OB

B局員は新OB局長がこれを指名して、部員の承認を得なければならない。

第一八条 文書局長及び文書局員並びにOB局長及びOB局員の任期は幹部と同一期間とする。ただし、文書局員又はOB局員に正当な理由があるときは、部員の承認を得て、任期満了前に辞することができる。

## 第六章 練習

第一九条 正規練習は原則として、本学、伊都地区ともに週三回とし、午後行う。

第二〇条 例会は原則として毎月一回第三日曜日とする。

## 第七章 選手

第二一条 選手の選抜は例会の成績、日頃の練習及びその成績、並びに射技その他を考慮の上、幹部がこれを行う。

第二二条 選手に選ばれた者は、特別の理由がある者を除いてはこれを引き受け、幹部の定めた練習方法により練習に励み、本部の代表として恥ずかしくない行動をとらなければならない。

第三条 選手たる者は、試合前日は飲酒その他の試合に支障を来たすような行動を厳に慎まなければならない。

## 第一章 会計

## 第八章 総会

第三〇条 本部へ入部する者は入部金として千円を会計に納入しなければならない。部員は部費として千五百円を毎月

会計に納入しなければならない。

第三一条 会計は毎年六月及び十二月に部員に対して会計報告を行う。

第三二条 九州外の遠征試合に参加する者に対しては、その費用の一割五分を遠征補助より負担する。

## 第一章 改正

第二七条 決議は出席者の過半数の賛成により成立する。

第三三条 本部則の改正は総部員の四分の一以上の発議により、

## 第九章 不信任

第二八条 幹部及び役員にその役職に適さざる行為があるとき

## 第二章 罰則

は、総部員の過半数の発議により、総部員の三分の二以上に当たる多数をもって、これを罷免することができる。ただし、本条に云う部員とは入部後三ヶ月を経た者を云う。

第三四条 本部員にあるまじき行為をなしたる者は、事情考慮の上、退部又は謹慎若しくは戒告に処する。

第二九条 幹部及び役員は部員に対し連帯して責任を負う。

附 則

第一条 本部則は昭和三六年六月一日より効力を發揮する。

第二条 昭和三七年六月三〇日改正条項は同七月一日より効力を發する。

第三条 昭和三八年六月一六日改正条項は同六月十七日より効力を發する。

第四条 昭和四〇年六月一九日改正条項は同六月二十日より効力を發する。

第五条 昭和四四年一月一九日改正条項は同一月二十日より効力を發する。

第六条 昭和四五年六月一八日改正条項は同六月一九日より効力を發する。

第七条 昭和三七年一月一四日改正条項は同四月一日より効力を發する。

第八条 昭和四八年六月九日改正条項は同六月一〇日より効力を發する。

第九条 昭和四九年一月一三日改正条項は同二月一日より効力を發する。

第一〇条 平成六年三月十七日改正条項は同四月一日より効力を發する。

第一一条 平成十六年六月二十七日改正条項は平成十六年度より効力を發する。

第十二条 平成二二年七月一日改正条項は同七月一二日より効力を發する。現在の部員並びに幹部、役員、文書局及びOB局は、改正後の部則による部員並びに幹部、役員、文書局及びOB局とする。

第十三条 平成二六年九月一日改正条項は同九月一日より効力を發する。

第十四条 平成二八年十月一日改正条項は同十月一日より効力を發する。

第十五条 平成二九年十一月二六日改正条項は同十一月二六日より効力を發する。

第三〇条 令和三年四月十八日改正条項は同四月十八日より効力を發する。

第三一条 令和三年四月十八日改正条項は同四月十八日より効力を發する。

第三二条 令和三年四月十八日改正条項は同四月十八日より効力を發する。

## 令和五年度 部員名簿

部長 岡村 耕二

名誉師範 久恒 政雄

師範 中村 幸一

本学弓道場 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744

| 氏名     | 学部学科        | 出身校       |
|--------|-------------|-----------|
| 四年生    |             |           |
| 大久保 朱音 | 理学部生物学科     | 鹿児島県立鶴丸   |
| 梶村 泰生  | 理学部数学科      | 長崎県立長崎西   |
| 川副 春翔  | 工学部電気情報工学科  | 福岡県立東筑    |
| 北山 玲衣  | 農学部生物資源環境学科 | 愛知県立岡崎    |
| 小泉 真凜  | 理学部化学科      | 福岡県立東筑    |
| 佐藤 魁帥  | 理学部化学科      | 佐賀県立致遠館   |
| 佐藤 鳴海  | 文学部人文学科     | 大分県立豊府    |
| 島津 有希  | 工学部地球環境工学科  | 愛媛県立松山東   |
| 田中 竣也  | 工学部物質科学工学科  | 福岡県立福岡    |
| 中島 佑太  | 経済学部経済工学科   | 熊本県立第一    |
| 仲築間 未歩 | 文学部人文学科     | 愛媛県立松山東   |
| 玉島 光士郎 | 理学部化学科      | 佐賀県立佐賀西   |
| 千綿 晃史郎 | 理学部化学科      | 佐賀県立佐賀西   |
| 新田 健人  | 理学部数学科      | 高知県立高知追手前 |
| 羽月 脩人  | 経済学部経済経営学科  | 福岡県立八幡    |
| 村上 一希  | 経済学部経済工学科   | 愛媛県立今治西   |
| 山本 陽基  | 経済学部経済経営学科  | 香川県立高松    |
| 吉光 俊輔  | 理学部生物学科     | 山口県立山口    |
| 渡邊 響   | 文学部人文学科     | 岡山県立倉敷青陵  |
|        |             |           |

|        |             |                                 |
|--------|-------------|---------------------------------|
| 三年生    |             |                                 |
| 大下 佳穂  | 工学部Ⅰ群       | 広島大学附属                          |
| 小島 功太郎 | 工学部Ⅲ群       | 長崎県立長崎東                         |
| 斎藤 悠真  | 農学部生物資源環境学科 | 北海道私立札幌第一                       |
| 兵藤 凌央  | 理学部生物学科     | 埼玉県立大宮                          |
| 前田 宗伯  | 工学部Ⅱ群       | 広島大学附属                          |
| 松山 実音  | 文学部人文学科     | 熊本県立玉名                          |
| 吉田 琢   | 工学部Ⅰ群       | 大分県立中津南                         |
| 吉野 竜平  | 工学部Ⅰ群       | 鹿児島県立甲南                         |
| 劉 洵楷   | 法学部         | 北京育英、Greenwood high school KCLL |
| 渡部 功大  | 工学部Ⅲ群       | 愛媛県立松山東                         |
| 和田 宏之介 | 工学部Ⅱ群       | 福岡県立三池                          |
|        |             |                                 |
| 二年生    |             |                                 |
| 宇都宮 啓太 | 工学部Ⅴ群       | 熊本県立済々黌                         |
| 高瀬 圭哉  | 工学部Ⅱ群       | 大分県立竹田                          |
| 下地 恭太  | 農学部生物資源環境学科 | 福岡県立修猷館                         |
| 外山 裕基  | 理学部化学科      | 宮崎県立延岡                          |
| 中島 啓輔  | 工学部Ⅲ群       | 大分県私立岩田                         |
| 松下 飛海  | 文学部人文学科     | 宮崎県立宮崎                          |
|        |             |                                 |

## 編集後記

今回の弓弦を制作するにあたって、大変編集に携わらせて頂きました。昨年の弓弦制作に関わらせていただいた時よりも作業量は増えていましたが、的確な指示のもと円滑に作業が進められ、良いものができたと感じております。おまたせしました。制作にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。このご時世なので、来年はぜひ完全電子化で!!!!

第六十四代文書局員 和田 宏之介

今回の弓弦を制作するにあたり、編集に携わらせていただきました。計画通りの発行とはいきませんでした。無事に発行できて嬉しく思います。来年度の文書局員には今年度の事情を教訓にしたいだけだと、円滑な制作が可能ではないかと思いません。制作にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

第六十四代文書局員 小島功太郎

この度は第六十一号弓弦を手にとって頂き誠にありがとうございます。多くの方々のご助力によって無事完成させることが出来ました。発行にあたり先生方や松韻弓友会の方々、先代の文書局長の渡邊先輩をはじめとする第六十三代文書局員の先輩方、現編集委員の小島と和田、あらぬ負担をかけてしまった後輩の皆さん、寄稿して下さった部員の方々、印刷所のキンコーズの方々、広告を出して下

さった企業の皆様、また弓弦制作に関わって頂いた全ての方に多大なご迷惑をおかけしてしまいました。この場をお借りして謝罪致します。大変申し訳ありませんでした。また、発行に向けてご尽力して頂きありがとうございます。御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症前の生活が戻りつつあり、オンラインではなく対面の試合が多くなってきました。コンパや合宿などの行事も再び行えるようになり、部活動が去年度よりもとても楽しく感じます。弓道はオンラインでも出来る数少ない競技の一つですが、やはり実際に大きな会場で実施される方が緊張感があっていいですね。人との関わりも増えて一挙両得です。部活動外でも楽しみが増え、それぞれの部員が大学生活を謳歌しています。そんなコロナを乗り越えた九州大学弓道部の活動を、弓弦を通して少しでも知っていただけましたら幸いです。

第六十一号弓弦を読まれて、ご意見・ご感想などございましたら、是非お聞かせ下さい。来年度以降の弓弦に反映させ、よりよいものにしていきます。

これからも弓弦をよろしくお願い致します。

第六十四代文書局長 吉野 竜平



編集委員

九州大学松韻弓友会

副会長

松浪

榮

九州大学弓道部

三年

吉野

竜平

和田

宏之介

小畠

功太郎

弓弦 第六十一号

二〇二三年十二月 発行

発行所 福岡市西区元岡

九州大学弓道部文書局

編集責任者 吉野 竜平

印刷所 福岡市西区

元浜一・二七・三

スペランサ元浜一階

株式会社ジーエークレアス

キンコーズ・九大伊都店

TEL 八三四・二五二七